

STUDY ABROAD GUIDE BOOK

海外留学

ガイドブック 2019-2020



松大生の
留学体験記

イギリス／ドイツ／フランス／マルタ
アメリカ／カナダ
オーストラリア／ニュージーランド／フィリピン
中国／台湾／韓国

2019-2020 MATSUYAMA University STUDY ABROAD GUIDE BOOK

CONTENTS

概要

- 2 海外留学プログラムについて
- 3 各留学プログラムの違い
プログラムの重複受講について
- 4 応募～許可者発表まで
各プログラムの年間募集スケジュール(参考)
- 6 松山大学の大学間協定校
イギリス/オーストラリア/カナダ
フランス/ドイツ/中国/台湾/韓国
- 13 短期語学研修講座の概要
- 16 長期英語研修講座の概要
- 18 学生海外語学研修助成制度の概要
- 19 派遣留学制度の概要
- 23 体験学習制度の概要

申込み

- 24 留学準備と計画

受講許可後(事前準備)

- 25 事前ガイダンスの実施
- 29 履修登録と単位認定について
(長期(半期以上)プログラム参加者)

留学中及び 研修後の手続き

- 30 留学中の手続き
- 31 海外での安全対策(危機管理と健康管理)
- 35 帰国及び帰国後の手続き
- 36 研修終了後の提出物について

研修報告書 短期語学研修講座

- 40 カナダ(ビクトリア)
- 42 ドイツ(フライブルク)
- 44 フランス(ディジョン)
- 46 中国(上海)
- 48 韓国(ソウル)

研修報告書 長期英語研修講座

- 50 イギリス(カンタベリー)
- 52 カナダ(ビクトリア)

研修報告書 学生海外語学研修 助成制度(春季・夏季)

- 56 オーストラリア
- 58 ニュージーランド
- 60 マルタ
- 62 フィリピン
- 64 ドイツ
- 66 韓国
- 68 イギリス
- 70 アメリカ
- 72 カナダ
- 74 オーストラリア
- 76 ドイツ

研修報告書 派遣留学制度

- 78 ドイツ
- 80 中国
- 82 台湾
- 84 韓国

巻 頭 言

約 150 年前、明治政府は、近代化を推し進める一環として、多くの留学生を欧米諸国に派遣しました。留学生たちは、様々な分野で当時の最先端の知識を身に付け、帰国後は、それぞれの分野で国家や社会の近代化に貢献しました。その一例として、法律学を学んだ留学生は、明治政府の中核で近代的な法制度を整備し、欧米諸国に匹敵する国家体制を作り上げました。新しい知識は、社会全体を発展させる原動力となるものです。

また現在、貿易は世界規模に拡大し、商品や人、情報が国境を越えて移動することがごく日常的なこととなりました。しかし交流の拡大は、時として衝突を生み出し、場合によっては国家間の武力紛争にまでつながることがあります。現在の世界も、決して平穏でないことは、毎日のニュースが報道するところです。しかし過去、多くの戦争を経験した人類が、お互いを知り、違いを認め合い、その上で共通のルールを作り、共存する方法を見つけ出そうとしているのも事実です。国連は、その代表的なものといえるのではないのでしょうか。遠回りのようですが、人と人との交流が相互の信頼を生み、その個人的な信頼関係を国家間の信頼関係につなげていくことが、求められていると言えます。

さて、この冊子を手にした皆さんは、人一倍、外国や留学に対する関心を持ってきていることと思います。関心を持ったきっかけは、人それぞれかもしれませんが、しかし動機はどうであれ、海外での生活は、これまでなかった経験を皆さんにもたらすことでしょう。実際に触れなければ知ることのできない、その国の人たちの考え方、文化、歴史等に接することは貴重な経験であり、その経験は、その後の人生に大いに役立つことでしょう。また留学は、複数の視点、客観的なものの見方を教えてくれます。現代社会においては、マスメディアやインターネットに多くの情報が溢れていますが、それらの中には誤ったものや偏見に満ちたものも少なくありません。外国の現実を自分の目で見ること、外国から日本を見ることは、現代社会で求められている、多くの情報の中から本質を見抜き、冷静かつ客観的な判断を下す力を養ってくれることでしょう。

外国から得られた新しい知識が社会を活性化させることは、今も昔も変わりありません。そして冷静かつ客観的な視点は、誤解や一方的な見方が原因となる紛争を予防し、相互理解を深めることにつながります。松山大学の海外研修プログラムをステップとして、これからの社会、そして世界を作っていく皆さんが大きく成長されることを、期待しています。

松山大学 国際センター
センター長 穴田 浩一

海外留学プログラムについて

海外留学プログラムには、夏季または春季休暇期間に実施される短期プログラムと半年または1年の留学期間でありながら4年間（薬学部は6年間）で卒業可能な長期プログラムがあり、皆さんのニーズ（言語、語学力、場所、期間、費用）に合ったプログラムを選択することができます。ただし、休学して留学する場合は、4年間（薬学部は6年間）で卒業することはできません。

国際センターでは、留学に関する情報提供をしていますので、気軽に相談してください。なお、プログラムの詳細はP.13からの『各種プログラムの概要』を参照してください。

1. 短期プログラム

短期語学研修講座 (助成金あり)

- ・夏季または春季休暇期間を利用し、研修校において約1ヶ月間、語学力の向上と国際交流を目的とした研修を行う制度です。
- ・研修を修了すると、単位の認定を申請することができます。
- ・研修に必要な費用は、全て自己負担となります。

学生海外語学研修助成制度 (助成金あり)

- ・夏季または春季休暇期間に、3週間以上8週間以内で60時間以上の研修を行うことを条件に、研修先や留学準備から帰国するまでの計画等すべてを学生自身がコーディネートし、外国語によるコミュニケーション能力の養成、異文化理解の向上と促進を目的とした制度です。
- ・海外に留学する学生に対して、30万円（地域によっては23万円）を上限とする助成金が支給されます。
- ・研修を修了すると、研修時間相当分の単位の認定を申請することができます。

2. 長期プログラム

派遣留学制度 (助成金あり)

- ・本学と単位互換協定を結んでいる外国の大学に留学し、そこで開講されている講義を現地の学生とともに受講し、その国の文化・社会を知ることにより、その国の言語による理解力と表現力を飛躍的に高めることを目的とした制度です。
- ・留学先の大学で取得した単位は、本学が教育上有益と認めるときは年間履修単位数を限度に卒業単位として認定されます。
- ・本学へ当該年度の学費（授業料・教育充実費）を納入することにより、一部の協定校を除いて協定校の入学金・授業料は免除されます。その他の往復旅費、生活費、教材費等については自己負担となります。

長期英語研修講座 (助成金あり)

- ・研修校において、12週間または30週間の修学の機会を与え、英語による理解力と表現力を飛躍的に高めると同時に、その国の文化・社会を通して国際理解の精神を養い国際化時代において活躍しうる人材を育成することを目的とした制度です。
- ・研修を修了すると、研修時間相当分の単位の認定を申請することができます。
- ・研修先の授業料は、当該年度の本学学費（授業料・教育充実費）に相当する額を限度として本学が助成し、助成金を超える額については自己負担となります。

3. その他の留学

私費留学 (助成金なし)

- ・本学の留学制度を利用しないで、海外の大学や語学研修機関に留学するケースを私費留学といいます。
- ・私費留学をする場合は、留学先の国選びから学校選び、願書の提出、留学の手続き、宿舍の手配等すべて自分で準備しなければなりません。自らの将来を見据え、長期的な展望のもとに計画を立ててください。
- ・休学して留学を考えている方は、休学手続きについては教務課へ、奨学金を受給している場合は学生課へ必ず事前に相談してください。

各留学プログラムの違い

	期間	本学への学費納付	研修校への授業料等の納付	単位認定申請	取扱窓口
短期語学研修講座	3週間～5週間	必要 (全額)	・自己負担 ・研修終了後に助成金支給あり	可 (※1)	国際センター課
長期英語研修講座	12週間または30週間		・当該年度本学学費相当分を超える額は自己負担 ・研修終了後に助成金支給あり		
学生海外語学研修助成制度	3週間～8週間		・自己負担 ・研修終了後に助成金支給あり	可 (※1)	
派遣留学制度	半年間または1年間		・原則として入学金・授業料は免除		
私費留学（休学する場合）	最大2年間 (薬学部のみ3年間)	在籍料※2	・自己負担	不可	教務課※3

※1 単位の認定については、P.29の「長期(半期以上)プログラム参加者の履修登録と単位認定について」を参照してください。
 ※2 詳細は学生便覧「学籍異動」を参照してください。
 ※3 休学願の取扱いは教務課です。

プログラムの重複受講について

	種別	言語	プログラム	略称	2回目の利用プログラム											
					V	G	F	B	S	K	CL	GL	VL	J	派	
初回利用プログラム	短期語学研修講座	英語	ビクトリア	V	※1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			グリフィス	G	○	※1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		ドイツ語	フライブルク	F	○	○	※1	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		フランス語	ブルゴーニュ	B	○	○	○	※1	○	○	○	○	○	○	○	○
		中国語	上海	S	○	○	○	○	※1	○	○	○	○	○	○	○
	長期英語研修講座	英語	カンタベリー	CL	○	○	○	○	○	○	×	×	×	※2・4	○	
			グリフィス	GL	○	○	○	○	○	○	×	×	×	※2・4	○	
			ビクトリア	VL	○	○	○	○	○	○	×	×	×	※2・4	○	
	学生海外語学研修助成制度	本学で開講している言語	春季・夏季	J	○	○	○	○	○	○	○	※3・4	※3・4	※3・4	×	○
	派遣留学制度	ドイツ語	フライブルク	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			復旦	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※5	○
			上海師範	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※5	○
上海財経			/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※5	○	
国立高雄			/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※5	○	
玄奘		/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※5	○		
韓国語		建国	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※5	○
	平澤	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※5	○	

※1 短期語学研修講座において、同プログラムを別の年度に再度受講することは可能ですが、単位認定については一度限りです。
 ※2 先に、長期英語研修講座を受講した場合は、助成制度を受講することはできません。
 ※3 先に、助成制度を受講した場合は、次年度以降に長期英語研修講座を受講することができます。
 ※4 同年度内において、助成制度と長期英語研修講座を受講することはできません。
 ※5 同年度内において、助成制度と派遣留学制度（半期）を受講することはできません。

応募～許可者 発表まで



海外語学研修・派遣留学合同オリエンテーションを開催後、各プログラムの実施時期に合わせて、次の手順でプログラム参加者が決定します。

① 募集要項の掲示

各プログラムの募集に関して、『募集要項』を2号館前と国際センター課前の掲示板及びホームページに掲載しますので、各プログラムの募集ガイダンスに参加してください。

② 募集ガイダンスの実施

プログラムの詳細や協定校の紹介の後、出願に必要な提出書類を配付しますので必ず出席してください。授業等で参加できない場合は、事前に国際センター課に相談してください。

③ 出願

申込書及び各プログラムによって必要な書類を期日までに提出してください。なお、研修参加には、保護者の承諾が必要です。

④ 選考

書類審査及び面接（個人または集団）の総合評価により可否を判定します。

⑤ 許可者発表

国際センター課前の掲示板等に許可者の学籍番号を掲載するとともに、許可者ガイダンスの案内をします。

●各プログラムの年間募集スケジュール〈参考〉

					2018年度			2019年度												2020年度												
□短期語学研修講座	国名	研修地	研修期間	募集時期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	詳細
① 短期英語研修講座 (ビクトリア)	カナダ	ビクトリア	約4週間	1月中旬・ 新入生のみ4月上旬				募★								募			募★												P.13	
② 短期英語研修講座 (グリフィス)	オーストラリア	ブリスベン	約5週間	10月上旬										募★												募★				P.13		
③ 短期ドイツ語研修講座 (フライブルク)	ドイツ	フライブルク	約4週間	1月中旬・ 新入生のみ4月上旬				募★								募			募★											P.14		
④ 短期フランス語研修講座 (ディジョン)	フランス	ディジョン	約3週間	1月中旬				※2018年度催行中止									募★														P.14	
⑤ 短期中国語研修講座 (上海)	中国	上海	約3週間	4月中旬				募★											募★											P.15		
⑥ 短期韓国語研修講座 (ソウル)	韓国	ソウル	約3週間	4月中旬				募★											募★											P.15		
□長期英語研修講座	国名	研修地	研修期間	募集時期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	詳細
① 長期英語研修講座 (カンタベリー)	イギリス	カンタベリー	30週間	10月中旬											募★													募★		P.16		
② 長期英語研修講座 (グリフィス)	オーストラリア	ブリスベン	30週間												募★													募★		P.16		
③ 長期英語研修講座 (ビクトリア)	カナダ	ビクトリア	12週間	前学期:10月上旬										募★													募★		P.17			
				後学期:10月上旬												募★													募★		P.17	
□学生海外語学研修助成制度	国名	研修地	研修期間	募集時期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	詳細
① 学生海外語学研修助成制度 (夏季)	各国 ※1	各地	3～8週間/各自の計画による	4月下旬				募★											募★												P.18	
② 学生海外語学研修助成制度 (春季)				10月上旬												募★												募★			P.18	
□派遣留学制度 (単位互換制度)	国名	研修地	研修期間	募集時期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	詳細
① フライブルク大学	ドイツ	フライブルク	約1年間	1月上旬 ～2月下旬																										P.19		
② 復旦大学	中国	上海	約半年間または約1年間																											P.19		
③ 上海師範大学			約半年間または約1年間																											P.20		
④ 上海財経大学			約半年間または約1年間																												P.20	
⑤ 国立高雄大学			台湾		高雄	約半年間または約1年間																									P.21	
⑥ 玄奘大学	新竹	約半年間または約1年間																											P.21			
⑦ 建国大学	韓国	ソウル	約4ヶ月間または10ヶ月間		7月下旬																								P.22			
⑧ 平澤大学		平澤	約4ヶ月間または10ヶ月間		～10月中旬																								P.22			
□体験学習制度	国名	活動場所	活動期間	募集時期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	詳細
① ミャンマー体験学習	ミャンマー	ヤンゴン近郊	約1週間	10月下旬										募★												募★			P.23			

※1 本学で開講されている言語を公用語とする国

募 = 募集ガイダンス 2019年度 ● = 出願期間 ★ = 選考・許可者発表 2020年度 ● = 留学期間

●各プログラムの詳細及び必要な申込書類については、募集ガイダンスでお知らせします。
●募集ガイダンスにて必要な申込書類を配付します。必ず出席してください。
●病気等のやむを得ない理由で出席できない者は、事前に国際センター課へ申出てください。
(アルバイトやサークル活動等の私的な理由での欠席は認めません。)

●派遣留学制度は募集ガイダンスを行いません。募集要項掲示時期と出願期間に注意してください。
●募集ガイダンス及び出願期間は年度により変更する場合があります。

松山大学の 大学間協定校

松山大学には、英語、フランス語、ドイツ語、中国語、韓国語を学ぶために協定を結んだ海外の大学が12校あり、これまでに多くの学生が語学力及び異文化理解の向上のために留学しています。興味がある言語から、留学先を探してみましょう。



英語 オーストラリア(ブリスベン) 短期語学研修講座・長期英語研修講座

グリフィス大学

Griffith University

グリフィス大学は、クイーンズランド州の州都でありオーストラリア第三の都市でもあるブリスベンとゴールドコーストにキャンパスを持つ大学です。その大学の附属英語学校であるグリフィスイングリッシュランゲージインスティテュート(GELI)では世界各国から来た留学生が学習しています。本学の研修生はブリスベンのキャンパスで学習します。大学の附属英語学校であるため、図書館やコンピュータ室等の大学施設も利用できます。



■ダイレクトエントリープログラム

レベル別に分かれたクラスで、読解、文章表現、聞き取り、会話、文法、語彙、発音等あらゆる英語の技能について学ぶことができます。また、参加者の英語力によってはよりアカデミックな知識を深めることが可能です。



▲キャンパス内バス停



▲リバーシティ

グリフィス大学 URL >> <http://www.griffith.edu.au/>

英語 イギリス(カンタベリー) 長期英語研修講座

カンタベリー クライスト チャーチ大学

Canterbury Christ Church University

カンタベリークライストチャーチ大学は、歴史ある都市カンタベリーの中心地に位置する大学です。メインキャンパスは、ショッピングや川下りなどが楽しめるシティセンターから徒歩数分のところで、大聖堂近くの城壁の外にあります。本学の研修生は、このキャンパスで学習し、図書館、カフェテリア、コンピュータールーム等の大学施設も利用できます。



■一般英語コース (General English Course)

高い資格と豊かな経験を持つ専門の講師陣から、英語を教わります。クラスは10名程度の少人数で構成されていますので、一人ひとりにまできめ細かい指導が行き届きます。イギリス文学、IELTS準備、会話練習、芸術等多様な科目が用意されていることが魅力です。



▲カンタベリー クライスト チャーチ大学内



▲カンタベリー大聖堂

カンタベリークライストチャーチ大学 URL >> <http://www.canterbury.ac.uk/>

英語 カナダ(ビクトリア) 短期語学研修講座・長期英語研修講座

ビクトリア大学

University of Victoria

ビクトリア大学のイングリッシュランゲージセンター(ELC)は、留学生向けの充実した授業内容とエキサイティングなプログラムで、世界中に知られています。1970年に設立されたセンターは、日本をはじめ、様々な国から生徒を迎え、多くの卒業生を世に送り出しています。異国で学ぶ留学生のニーズをよく理解した熱心でプロフェッショナルな講師陣は、すべてESL教授の特別訓練を受けた学位取得者です。フレンドリーで協力的な学習環境が用意されています。



■夏季日本人特別プログラム(短期) ■12週間英語集中プログラム(長期)

レベル別に分かれたクラスで、生徒の理解を深め、実社会で効果的にコミュニケーションが図れるよう、最新の教授法と教材が使われます。読解、文章表現、聞き取り、会話の他、文法、語彙、慣用熟語等を学習します。多くの学習施設やレクリエーション施設も利用できます。

夏季日本人特別プログラムは、特定の日本の大学の学生にのみ開講されるため、クラスメイトはすべて日本人になります。



▲UVic 構内



▲州議事堂

ビクトリア大学 URL >> <http://www.uvic.ca/>

ブルゴーニュ大学

University of Burgundy

ブルゴーニュ大学は、パリから電車で1時間40分程度のコート＝ドール県ディジョンにあります。ブルゴーニュ公国のかつての首都であったディジョンは、歴史的な建造物を含む豊かな文化遺産に恵まれ、美食とワインの街として世界的にも知られています。1722年に創立されたブルゴーニュ大学は、ブルゴーニュ地方に5つのキャンパスを持つ中規模の国立総合大学です。学生数は25,000人ほど、留学生は約60国籍から1,500人あまり在籍しています。本学では、2014年の夏に初めての留学生を送りました。

■短期フランス語研修講座

【CIEF】フランス語研究国際センター

経験豊かな講師陣が、フランス語及びフランス文化に関する授業を展開しており、フランス語教育については定評があります。クラスはプレースメントテストによって1クラス15人ほどのレベル別に分かれ、各国から来る留学生と共にフランス語を学びます。また、ブルゴーニュ地方独特の文化を知るための課外活動も充実しています。



▲ブルゴーニュ大学学生寮



▲ブルゴーニュ市内

ブルゴーニュ大学 URL >> <http://www.u-bourgogne.fr/>

フライブルク大学

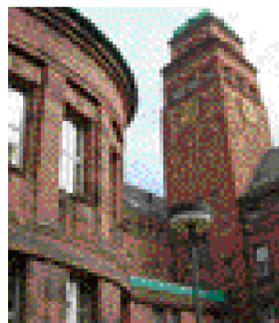
University of Freiburg

フライブルク大学は、ドイツ南西部バーデン＝ヴュルテンベルク州フライブルク市にあります。フライブルクの周辺には「黒い森」と呼ばれる有名な森林地帯があり、自然豊かな環境で過ごします。1457年創立のフライブルク大学はドイツで三番目に古い大学で、校舎の多くはフライブルク旧市街にあり、市内中心部にも容易にアクセスすることができます。現在は学生数21,000人以上、教員数5,000人以上の総合大学として多くの国から留学生を受け入れています。本学とフライブルク大学は2002年に大学間の交流協定を締結しました。

■短期ドイツ語研修講座

【SLI】言語教育インスティテュート

フライブルク大学の附属語学学校であるSLIによって行われるこのプログラムでは、参加者のレベルに応じて、各国から来た学生と共に学ぶインターナショナルクラスが用意されています。ドイツの文化や生活が理解できるよう、教室での授業と関連させた実地見学等を織り混ぜ、地域社会と学生との接触の場が提供されます。また、ドイツ文化に接することができる多彩なレクリエーションも用意されています。



▲フライブルク大学の校舎



▲フライブルクの街並み

フライブルク大学 URL >> <http://www.uni-freiburg.de/>

復旦大学

Fudan University

復旦大学は「北の北京、南の復旦」と称され、北京大学と双璧をなす中国の名門大学です。上海市に所在する全国重点大学で、創立以来百余年の歴史があります。復旦大学は、近代中国の著名な教育家・馬相伯によって、1905年私立の復旦公学として創立されました。校名は尚書の「虞夏伝」に見える「日月光華、旦復旦兮」の句に由来します。2000年には上海医科大学と合併して、医学部も有する国の総合研究型大学となりました。また、建国後一番早く留学生の受入を始めた大学の一つで、現在その規模は中国国内総合大学の中で一位を誇っています。毎年数千人の留学生が在籍しており、長期留学・交換留学・短期語学研修に世界各国より訪れています。広大でアカデミックなキャンパスは上海市の東北郊外にあり、喧騒を離れ落ち着いた環境は学習には最適です。本学と復旦大学は2005年に大学間の交流協定を締結しました。



▲復旦大学正門



▲復旦大学キャンパス



▲毛沢東主席像

復旦大学 URL >> <http://www.fudan.edu.cn/>

上海師範大学

Shanghai Normal University

上海師範大学は1954年に創立以来、上海の教育界に多くの人材を送り出し、教員養成において伝統ある大学として発展した歴史ある総合大学です。特に言語教育に関しては中国有数の大学のひとつで、早い時期から留学生に対する中国語教育を始めており、経験が豊富です。現在中国政府奨学金が設けられており、成績が優秀な留学生に各等級の奨学金が支給されます。大学のキャンパスは、ポプラ並木の間に煉瓦造りの校舎が並び静かで落ち着いた環境です。派遣留学生が学ぶ対外漢語学院は、留学生に中国語教育を専門に教授する学院です。レベル別にクラス編成がなされ、発音矯正やビジネス中国語、HSK対策授業等中国語に関する選択科目も充実しています。本学と上海師範大学は2004年に大学間の交流協定を締結しました。



▲上海師範大学キャンパス



▲対外漢語学院



▲上海師範大学の正門

上海師範大学 URL >> <http://www.shnu.edu.cn/>

上海財経大学

Shanghai University of Finance and Economics

上海財経大学は1917年に創立され、やがて中国教育史上一番早い商科大学となり、現在は財政学や会計学、金融学のほか、国際ビジネス、マネジメント、法学などの学部を擁する総合大学に発展を遂げています。上海財経大学に特設されている国際文化交流学院は、ビジネス中国語が堪能な人材と、中国経済とマーケットにも詳しい国際的な経済管理人材を育成しています。本学と上海財経大学は2011年に大学間の交流協定を締結しました。



▲上海財経大学 中山北一路キャンパス



▲上海財経大学 国定路キャンパス



▲留学生寮

上海財経大学 URL >> <http://www.shufe.edu.cn/>

國立高雄大学

National University of Kaohsiung

國立高雄大学は台湾南部に位置し、南部の高等教育・研究機関の充実を図るため国家政策により、2000年に設立された新しい国立大学です。人文社会科学部、法学部、経営学部、理学部、工学部などの学部で構成され、全国から優秀な学生が集まる名門総合大学です。日台間では産学官連携によるグローバルな国際協力関係の構築が進む中、本学と國立高雄大学は2010年に大学間の交流協定を締結しました。高雄市は台北に次ぐ台湾第2の大都市で、商業が盛んな港町です。年間を通して温暖な気候で、交通の便と住環境が良く、留学生が学ぶには理想的な環境です。



▲國立高雄大学正門前



▲國立高雄大学キャンパス



▲國立高雄大学留学生寮

國立高雄大学 URL >> <http://www.nuk.edu.tw/>

玄奘大学

Hsuan Chuang University

玄奘大学は、台湾新竹市にある1997年に設立された私立大学です。人文、社会科学、マネジメント、メディアという4つの大きなフィールドの中に、17の学科と8つの大学院研究科があります。広々とした学内は緑にあふれており、学びに適した好環境のもと、多くの学生が楽しいキャンパスライフを過ごしています。

工業都市として発展した新竹市は「台湾のシリコンバレー」とも呼ばれ、近代的な建物が立ち並んでいます。新竹駅から台北へは高速列車で30分程度と交通の便が良く、大都会・台北へも気軽に行き来できます。



▲玄奘大学キャンパス



▲中庭の湖



▲玄奘大学学生寮

玄奘大学 URL >> <http://www.hcu.edu.tw/>

建国大学

Konkuk University

建国大学は半世紀の歴史と伝統を誇っています。1946年に設立された朝鮮政治学館から1959年に今の総合大学に発展して以後、誠・信・義の教育理念のもと、国際化を目指す大学として成長してきました。ソウルと忠清北道忠州市に2つのキャンパスを持ち、充実した教育環境で有名な韓国有数の総合私立大学です。ソウルキャンパスには学校の中に湖がある等自然と調和したキャンパスが広がっています。現在、「ルネッサンス建国2031」という新しいビジョンを樹立。2031年までに世界100大大学への躍進を目指し、経済社会を先導するグローバルな人材の養成に力を注いでいます。本学と建国大学は1998年に大学間の交流協定を締結しました。



▲建国大学入口



▲キャンパス内の広大な湖



▲学生会館

建国大学 URL >> <http://www.konkuk.ac.kr/>

平澤大学

Pyeongtaek University

平澤大学は、韓国の京畿道平澤市に位置する、古い伝統と力強い若さを共に持つ大学です。1912年にピアソン博士のキリスト教精神を基に、母体となるピアソン記念聖經学院をソウルで創立。1980年に4年制大学の設立認可を受け、翌年1981年にソウルから平澤へ校舎を移設。初の新生を受け入れ、大学として本格始動しました。1992年に総合大学・平澤大学に昇格し、1996年に学校名が現名称である平澤大学に改称されました。こうして、長い歴史を持ちながら若い大学として現在に至るまで発展を続けています。地域で唯一の総合大学である平澤大学は、「キリスト教精神で大きな意味を成す大学」という発展ビジョンを掲げ、真理・正義・奉仕の教訓のもと、地域社会と連携しながら、人物性と専門能力を兼ね備えた人材を育成するための先端教育に取り組んでいます。韓国大学教育協議会において優秀大学として認定され、地域の発展は勿論、韓国の大学教育の発展にも大きく寄与しています。本学と平澤大学は2006年に大学間の交流協定を締結しました。



▲平澤大学正門



▲キャンパス風景



▲運動場

平澤大学 URL >> <http://www.ptuniv.ac.kr/>

ミャンマー体験学習

Experience learning in Myanmar

アジアにあって最貧国の一つであるミャンマーにおいて、主に初等教育分野の現状視察やボランティア活動を通してその実情を知ります。また、アジア有数の仏教国であるミャンマーで信仰されている上座部仏教に触れることにより、日本とは異なる仏教を始めとした異文化に対する理解をします。併せて東南アジア地域での体験を積むことにより、日本にとって歴史的、地理的、経済的、文化的にも密接な関係にある東南アジアに対する認識を深めます。



▲メッター イェイ ミョー小学校



▲鍵盤ハーモニカの弾き方を教えている。



▲珊瑚舎スコーレヤンゴン日本語学校

短期語学研修講座の概要

講座名	短期英語研修講座	
研修校	①ビクトリア大学 イングリッシュランゲージセンター	②グリフィス大学 イングリッシュランゲージ インスティテュート
研修地	カナダ ブリティッシュコロンビア州 ビクトリア	オーストラリア クイーンズランド州 ブリスベン
研修期間	8月上旬～9月上旬(約4週間) 60時間以上の研修を行います。	2月上旬～3月中旬(約5週間) 60時間以上の研修を行います。
滞在方法	ホームステイ	ホームステイ
対象	全学部生/全学年 短期大学生/2年次生以上	全学部生/1年次生から3年次生まで
定員	約20名	20名
選考	面接・書類審査	面接・書類審査
費用	全額自己負担 約550,000円(2018年度実績) (内訳 渡航費:約260,000円 研修費・滞在費:約290,000円) ※1日3食が含まれます。	全額自己負担 約590,000円(予測) (内訳 渡航費:約260,000円 研修費・滞在費:約330,000円) ※1日3食が含まれます。
助成金	100,000円 原則として、研修終了後に支給されます。	90,000円 原則として、研修終了後に支給されます。
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ビクトリアは、バンクーバー島にあるブリティッシュコロンビア州の州都であり、美しい入り江が多く、野鳥や野生の動物が生息する自然に恵まれた環境です。また、いろいろなアウトドアスポーツが楽しめます。 ・他の日本の大学の学生と共に構成されるクラス。能力別にクラス分けがあります。(クラスメイトは日本人のみです) ・午前中は英語クラスを受講し、午後は博物館・美術館の訪問・ハイキング等の各種文化活動を通して英語を楽しみながら学んでいきます。 ・ホームステイを通じて実生活から生きた英語を習得します。ビクトリアは、比較的生活水準の高い地域で、イギリス系の伝統を残した家庭的な雰囲気を持っています。その中で、楽しいホームステイが体験できます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Level1 (Elementary) から Level6 (Advanced) まで6レベルに分けられ、プレースメントテストの結果によりクラスが決定します。Level1 から Level4 では、日常のコミュニケーション能力(話す・聞く・読む・書く・文法・語彙・発音)の向上を図ります。Level5 及び Level6 では、さらに高度なコミュニケーション能力とアカデミックスキルのブラッシュアップを行います。 ・ホームステイを通してオーストラリアの生活・文化を実際に体験することができ、生きた英語に触れることでさらに英語を上達させることができます。 ・所定の成績を修めて講座を修了した者には、研修校より修了証書が交付されます。
認定科目	「海外語学研修 A カナダ」(4単位)	「海外語学研修 A オーストラリア」(4単位)
募集時期	1月中旬 (新生のみ4月上旬)	10月上旬
URL	http://continuingstudies.uvic.ca/elc	http://www.griffith.edu.au/

負担金額は、為替レートや授業料・航空運賃により、変動することがあります。

短期語学研修講座の概要

講座名	短期ドイツ語研修講座	短期フランス語研修講座
研修校	③フライブルク大学 言語教育インスティテュート (SLI)	④ブルゴーニュ大学 フランス語研究国際センター
研修地	ドイツ バーデン＝ヴュルテンベルク州フライブルク	フランス コート＝ドール県 ディジョン
研修期間	8月上旬～8月下旬 (約4週間) 60時間以上の研修を行います。	8月下旬～9月中旬 (約3週間) 60時間以上の研修を行います。
滞在方法	寮	寮
対象	全学部生／ 全学年 「ドイツ語1」の履修者または修得者 ※2年次生以上は、当該年度にドイツ語応用科目 またはドイツ語3の履修が必要です。	全学部生／ 2年次生以上 「フランス語1」の修得者 ※当該年度にフランス語応用科目の履修が必要 です。
定員	10名	20名
選考	面接・書類審査	面接・書類審査
費用	全額自己負担 約420,000円 (2018年度実績) (内訳 渡航費：約260,000円 研修費・滞在費：約160,000円) ※食費は含まれません。	全額自己負担 約450,000円 (2019年度予定) (内訳 渡航費：約200,000円 研修費・滞在費：約250,000円) ※食費は含まれません。
助成金	70,000円 原則として、研修終了後に支給されます。	80,000円 原則として、研修終了後に支給されます。
特徴	<ul style="list-style-type: none"> フライブルクは、ドイツ南西部の人口約20万人の都市で、面積の約40%は森に覆われており、自然に恵まれた中で研修が受けられます。 各国から来た学生の参加するインターナショナルクラスでドイツ語コミュニケーション能力養成をはかります。能力別にクラス分けがあります。 オプションで週末旅行や課外プログラムが受けられます。 	<ul style="list-style-type: none"> ディジョンは、フランス中部に位置し、パリから電車で1時間40分程度の場所にあり、プチパリとよばれるほど歴史的建造物が残る美しい街です。 各国から来た学生で構成するクラス (インターナショナルクラス)。プレイメントテストによるレベル別クラス分けがあります。 経験豊富な講師陣による、フランス語やフランス文化の授業を受けることができます。フランス語教育においては定評があります。 ブルゴーニュ地方独特の文化を知るための課外活動も豊富で、ディジョン近郊へのツアーもあります。
認定科目	「海外語学研修A ドイツ」(4単位)	「海外語学研修B フランス」(4単位)
募集時期	1月中旬 (新入生のみ4月上旬)	1月中旬
URL	http://www.sli.uni-freiburg.de/	http://cief.u-bourgogne.fr/

負担金額は、為替レートや授業料・航空運賃により、変動することがあります。

講座名	短期中国語研修講座	短期韓国語研修講座
研修校	⑤上海師範大学 対外漢語学院	⑥建国大学 言語教育院
研修地	中国 上海市	韓国 ソウル市
研修期間	8月上旬～8月下旬 (約3週間) 60時間以上の研修を行います。	8月上旬～8月下旬 (約3週間) 60時間以上の研修を行います。
滞在方法	寮	寮
対象	全学部生／ 全学年 言語文化科目「中国語1」の履修を問いません。	全学部生／ 全学年 言語文化科目「ハングル1」の履修を問いません。
定員	20名	20名
選考	面接・書類審査	面接・書類審査
費用	全額自己負担 約166,000円 (2017年度春季上海財経大学での実績) (内訳 渡航費：約79,000円 研修費：約52,000円 滞在費：約35,000円) ※食費及び上海近郊への旅行費用は含まれません。	全額自己負担 約248,000円 (2018年度実績) (内訳 渡航費：約68,000円 研修費：約114,000円 滞在費：約66,000円) ※食費・テキスト代、文化授業にかかる交通費は 含まれません。
助成金	30,000円 原則として、研修終了後に支給されます。	40,000円 原則として、研修終了後に支給されます。
特徴	<ul style="list-style-type: none"> 1954年に設立された総合大学です。言語教育に関しては中国有数の大学のひとつです。 交通の便がよく、自然豊かなキャンパスです。 月～金の午前中は中国語の授業があり、午後は文化講座や中国人学生との交流会があります。 週末にはオプションで研修校主催の上海近郊都市への小旅行があります。 大学内の留学生寮に滞在します。 	<ul style="list-style-type: none"> 建国大学言語教育院を基地に大都会「ソウル」の探索が思う存分できます。 研修日初日に、スクリーニングテストを行い、その結果を元にクラス分けを行います。 月～金の午前中は韓国語のクラスで研修し、午後は予習・復習・自由行動ができます。 毎週1～2回程度、午後に研修校主催の文化授業を行います。(韓国の伝統文化体験、伝統楽器体験、料理体験等) また、日帰りでソウル近郊へ研修旅行に行く見学授業を1回実施します。 滞在予定の大学構内の寮は、2名1部屋でエアコン、シャワー、トイレ、学習机、イス、ふとん、まくら、冷蔵庫、内線電話、インターネットは、各部屋に完備されています。 ミネラルウォーター (冷・温) は、各フロアに完備されています。洗濯室、テレビ、電子レンジは、各棟に完備され、寮の入退出はICカードにて管理されています。 寮では自炊はできませんが、大学周辺で安価で美味しいものが食べられます。
認定科目	「海外語学研修A 中国」(4単位)	「海外語学研修A 韓国」(4単位)
募集時期	4月中旬	4月中旬
URL	http://iccs.shnu.edu.cn/	http://kfli.konkuk.ac.kr/

長期英語研修講座の概要

講座名	長期英語研修講座	
研修校	①カンタベリー クライスト チャーチ大学	②グリフィス大学 イングリッシュ ランゲージ インスティテュート
研修地	イギリス ケント州 カンタベリー	オーストラリア クイーンズランド州 ブリスベン
研修期間 (予定)	General English (英語集中講座) 4月中旬～11月下旬 (実研修期間：30週間)	GELI (英語集中講座) 4月中旬～11月中旬または5月下旬～12月下旬 (実研修期間：30週間)
滞在方法	ホームステイ (空室があれば寮も可)	ホームステイ (空室があれば寮も可)
対象	全学部生 / 2年次生以上 ・学業成績については、出願時において原則として通算半期 18 単位以上を修得している者 (1 年次生は 15 単位) ・本学指定の語学検定試験において、出願資格に必要な成績*を修得している者 ※ TOEFL-iBT 63 点以上 (120 点満点) または TOEIC 600 点以上 (990 点満点)	全学部生 / 2年次生以上 ・学業成績については、出願時において原則として通算半期 18 単位以上を修得している者 (1 年次生は 15 単位) ・本学指定の語学検定試験において、出願資格に必要な成績*を修得している者 ※ TOEFL-iBT 63 点以上 (120 点満点) または TOEIC 600 点以上 (990 点満点)
定員	若干名	若干名
選考	面接 (英語力評価含む) ・書類審査	面接 (英語力評価含む) ・書類審査
費用	約 2,219,000 円 (2017 年度実績) 内訳 授業料：約 1,264,000 円 渡航費：約 250,000 円 滞在費：約 565,000 円 (朝食を含む) 査証取得費：約 50,000 円 海外旅行傷害保険料：約 90,000 円 ・教材費 ・食費 ・実地見学旅行代金 (オプション) ・その他の雑費 (健康診断費・現地交通費・通信費) 等	約 1,755,000 円 (2015 年度実績) 内訳 入学料：約 20,000 円 授業料：約 941,000 円 渡航費：約 114,000 円 滞在費：約 533,000 円 (朝・夕食を含む) 査証取得費：約 50,000 円 海外旅行傷害保険料：約 97,000 円 ・教材費 ・食費 ・実地見学旅行代金 (オプション) ・その他の雑費 (健康診断費・現地交通費・通信費) 等
助成金	研修先の授業料に対して、当該年度学費相当分 (授業料・教育充実費) を上限として支給されます。また、原則として研修終了後に 150,000 円が支給されます。	研修先の授業料に対して、当該年度学費相当分 (授業料・教育充実費) を上限として支給されます。また、原則として研修終了後に 150,000 円が支給されます。
特徴	・この研修はカンタベリー クライスト チャーチ大学のインターナショナルオフィスが提供する English Language Courses にて行います。 ・所定の成績を修めて講座を修了した者には研修校より修了証書が交付されます。 ・研修終了後、研修を受けたことを証明する書類を提出してください。 ・受講者には、研修終了後に受験した TOEFL または TOEIC のスコアを当該年度内に提出することを義務づけます。	・この研修はグリフィス大学のグリフィス イングリッシュ ランゲージ インスティテュート (GELI) が提供する English Language Intensive Courses for Overseas Students (ELICOS) において行います。 ・所定の成績を修めて講座を修了した者には研修校より修了証書が交付されます。 ・研修終了後、研修を受けたことを証明する書類を提出してください。 ・受講者には、研修終了後に受験した TOEFL または TOEIC のスコアを当該年度内に提出することを義務づけます。
認定科目	例) グリフィス大学・長期 (言語文化応用・自由) など	
単位認定申請	本人の申請により、所属学部教授会 (薬学部においては教授総会) が適当と認められたものについては、本学の卒業単位として、語学研修時間相当分の認定を受けることができます。	
募集時期	前年度の 10 月中旬	前年度の 10 月中旬
URL	http://www.canterbury.ac.uk/	http://www.griffith.edu.au/

負担金額は、為替レートや授業料・航空運賃により、変動することがあります。

講座名	長期英語研修講座	
研修校	③ビクトリア大学 イングリッシュ ランゲージ センター	
研修地	カナダ ブリティッシュコロンビア州ビクトリア	
研修期間	前学期：4月上旬～7月上旬 (12週間) 後学期：9月上旬～12月上旬 (12週間)	
滞在方法	ホームステイ等	
対象	全学部生 / 2年次生以上 ・学業成績については、出願時において原則として通算半期 18 単位以上を修得している者 (1 年次生は 15 単位) ・本学指定の語学検定試験において、出願資格に必要な成績*を修得している者 ※ TOEFL-iBT 52 点以上または TOEIC 500 点以上	
定員	若干名	
選考	面接 (英語力評価含む) ・書類審査	
費用	約 863,000 円 (2018 年度実績) 内訳 授業料：約 346,000 円 渡航費：約 250,000 円 滞在費 (食事付)：約 235,000 円 海外旅行傷害保険料：約 32,000 円 ・その他、電子渡航証取得費・教材費・実地見学旅行代金・雑費等	
助成金	研修先の授業料に対して、当該年度の半期学費相当分 (授業料・教育充実費) を上限として支給されます。また、原則として研修終了後に 90,000 円が支給されます。	
特徴	・Upper Beginner から大学入学準備クラスまで 6 レベルに分かれます。(プレイスメントテスト結果による) ・Upper Beginner から Low-intermediate クラスでは基本的なコミュニケーション能力 (特に speaking) を強化します。 ・Intermediate から Advanced クラスでは、学習目的 (一般英語またはアカデミック英語) を選択します。 ・週 16 時間の授業 (17 単位分に相当) を受講します。なお、選択制の追加授業も受講できます。 ・受講者には、研修終了後に受験した TOEFL または TOEIC のスコアを当該年度内に提出することを義務づけます。	
認定科目	例) ビクトリア大学・長期 (言語文化応用・自由) など	
単位認定申請	本人の申請により、所属学部教授会 (薬学部においては教授総会) が適当と認められたものについては、本学の卒業単位として、語学研修時間相当分の認定を受けることができます。	
募集時期	前年度の 10 月上旬	
URL	http://www.continuingstudies.uvic.ca/elc	

学生海外語学研修助成制度の概要

学生海外語学研修助成制度		
区分	①夏季休暇中	②春季休暇中
研修地	英語圏・ドイツ語圏・フランス語圏・スペイン語圏・中国語圏・韓国語圏	
研修期間(予定)	夏季または春季休暇中の3週間以上8週間以内、60時間以上の研修を行います。	
滞在方法	本人の計画によります。	
対象	全学部生 / 1年次生から4年次生 在学中に一度だけ利用可 ・学業成績については、出願時において原則として通算半期18単位以上を修得している者(1年次生は制限なし) ・本学指定の語学検定試験成績(下表1参照)を修めた者	全学部生 / 1年次生から3年次生 在学中に一度だけ利用可 ・学業成績については、出願時において原則として通算半期18単位以上を修得している者(1年次生は15単位以上) ・本学指定の語学検定試験成績(下表1参照)を修めた者
定員	22名	11名
選考	面接・書類審査 ※出願者は、「語学検定試験結果の証明書」「申込書」「志望理由書(本学所定のもの:1,500字)」を提出しなければなりません。	
助成金	300,000円(地域によっては230,000円)を上限として支給されます。出発前に研修費用及び交通費の請求明細書及び領収書を国際センター課に提出してください。助成金は、原則として研修の終了後に支給します。研修を終了できなかった場合または大学が求める書類を提出できない場合は、助成金を支給しません。	
特徴	・学生は、個人の責任で留学準備から帰国までの計画を自由に組むことができます。(ただし、研修前後の旅行は1週間で限度に旅行計画書を提出し、承認された場合のみ可能です。) ・研修先、研修期間、滞在方法についても、自由に選択することができます。(ただし、上記研修地に限ります。) ・外国人は母語の言語圏を選択できません。 ・研修国については、学生本人が選択し、国際センター運営委員会の承認を得なければなりません。 ・研修終了後、研修報告書の提出を義務づけます。	
認定科目	「語学助成研修」(4~6単位)	
募集時期	募集ガイダンス及び募集開始:4月下旬	募集ガイダンス及び募集開始:10月上旬

■表1 [出願資格]

	本学指定語学検定試験(いずれか1つでよい)	必要な成績	
英語	TOEIC Bridge (IPを含む)	150点以上	180点満点(英語英米文学科の学生は対象外)
	TOEIC (IPを含む)	470点以上(英語英米文学科の学生は505点以上)	990点満点
ドイツ語	ドイツ語技能検定試験	4級以上	5級(初級)→1級(上級)
フランス語	実用フランス語技能検定試験	4級以上	5級(初級)→1級(上級)
スペイン語	スペイン語技能検定試験	5級以上	6級(初級)→1級(上級)
中国語	中国語検定試験	4級以上	準4級(初級)→1級(上級)
	漢語水平試験(HSK)	3級以上	1級(初級)→6級(上級)
韓国語	「ハングル」能力検定試験	4級以上	5級(初級)→1級(上級)
	韓国語能力試験	1級以上	1級(初級)→6級(上級)

※ TOEIC Bridge のスコアと TOEIC スコアとの公式な換算表の上限が TOEIC Bridge スコアの 160 点であることから、TOEIC Bridge を以って本制度に申請する場合、160 点以上の取り扱いは一律となります。(詳細は TOEIC 公式サイトを参照 <http://www.toeic.or.jp/>)

※同一年度内に助成制度と派遣留学(半年)を重複して受講することはできません。

派遣留学制度の概要

派遣留学制度		
研修校	①フライブルク大学	②復旦大学
研修地	ドイツ バーデン=ヴュルテンベルク州フライブルク市	中国 上海市
研修期間	原則として8月上旬~翌年7月下旬(約1年間)	9月上旬~翌年1月中旬(約半年間) 9月上旬~翌年7月上旬(約1年間)
滞在方法	寮(市内にあります)	寮(構内にあります)
対象	派遣時において、学部または大学院研究科に1年以上在学している者として 学業成績については、出願時において原則として通算半期平均18単位以上を修得している者としてします。ただし、大学院生に関してはその限りではありません。 ※原則としてドイツ語技能検定試験3級以上の合格者	派遣時において、学部または大学院研究科に1年以上在学している者として 学業成績については、出願時において原則として通算半期平均18単位以上を修得している者としてします。ただし、大学院生に関してはその限りではありません。 ※原則として中国語検定試験3級以上または漢語水平試験(HSK)4級以上の合格者
定員	1名	1名
選考	面接(日本語及びドイツ語)・書類審査	面接(日本語及び中国語)・書類審査
費用	(免除される費用) ・入学金・授業料 (主な自己負担金) ・渡航費(査証取得費を含む。) ・海外旅行傷害保険料 ・滞在費(宿舍費・保証金・光熱費・食費を含む。) ・教材費 ・実施見学旅行代金 ・その他の雑費(健康診断費用・現地交通費・通信費)等 (備考) ・本学に当該年度の学費を納める必要があります。 同大学言語センターが提供するドイツ語講座については、留学生向けに特別に設けられた授業のみ授業料が免除されます。それ以外にかかる費用は自己負担です。 宿舍費(10月~7月)は自己負担:約3,300ユーロ(2017年度実績)。 フライブルク大学から10ヶ月間(10月~7月)奨学金(月額:600ユーロ(2018年度実績))が支給されます。	(免除される費用) ・入学金・授業料 (主な自己負担金) ・渡航費(査証取得費を含む。) ・海外旅行傷害保険料 ・滞在費(宿舍費・保証金・光熱費・食費を含む。) ・教材費 ・その他の雑費(健康診断費用・現地交通費・通信費)等 (備考) ・本学に当該年度の学費を納める必要があります。
助成金		原則として派遣留学の終了後に、留学期間が半年間では50,000円、1年間では80,000円が支給されます。
特徴	・1457年に設立された、ドイツで最も古い大学のひとつです。 ・100以上の研究所、学科を含む11学部を擁しています。 ・学生数は約21,000人。100ヶ国以上の留学生が在籍しています。 ・フライブルクは、ドイツ西南部の人口約20万人の都市で、面積の約40%は森に覆われており、自然に恵まれた中で学習できます。	・1905年に設立された重点大学。「北の北京、南の復旦」と称される中国の名門大学です。 ・上海の東北郊外にある広大なキャンパスは、喧騒を離れ落ち着いた学習するのに最適です。 ・併設の国際文化交流学院(ICES)で中国語を学びます。(本科生が受講する学部専門科目は履修できません。)
認定科目	所属学部開講の科目	
単位認定申請	本人の申請により、所属学部教授会(薬学部においては教授総会)が適当と認めたものについては、本学の卒業単位として認定を受けることができます。	
募集時期	2020年1月上旬~2020年3月中旬	2020年1月上旬~2020年2月下旬
URL	http://www.uni-freiburg.de/ http://www.sli.uni-freiburg.de/	http://www.fudan.edu.cn/

*派遣留学希望者は、募集要項掲示時期と出願期間に注意してください。

派遣留学制度の概要

派遣留学制度		
研修校	③上海師範大学	④上海財経大学
研修地	中国 上海市	中国 上海市
研修期間	9月上旬～翌年1月中旬(約半年間) 9月上旬～翌年6月下旬(約1年間)	8月下旬～翌年1月中旬(約半年間) 8月下旬～翌年7月上旬(約1年間)
滞在方法	寮(構内にあります)	寮(中山北一路キャンパスの構内にあります)
対象	派遣時において、学部で1年以上在学している者 とします。	派遣時において、学部で1年以上在学している者 とします。
	学業成績については、出願時において原則として 通算半期平均18単位以上を修得している者 とします。	学業成績については、出願時において原則として 通算半期平均18単位以上を修得している者 とします。
	※原則として中国語検定試験3級以上または漢語水平試験(HSK)4級以上の合格者	
定員	1名	1名
選考	面接(日本語及び中国語)・書類審査	
費用	(免除される費用) ・入学金 ・授業料 ・宿舍費(長期休暇中は有料。)	(免除される費用) ・入学金 ・授業料
	(主な自己負担金) ・渡航費(査証取得費を含む。) ・海外旅行傷害保険料 ・滞在費(保証金・光熱費・食費を含む。) ・教材費 ・その他の雑費(健康診断費用・現地交通費・ 通信費)等 ・長期休暇中の宿舍費	(主な自己負担金) ・渡航費(査証取得費を含む。) ・海外旅行傷害保険料 ・滞在費(宿舍費・光熱費・食費を含む。) ・教材費 ・その他の雑費(健康診断費用・現地交通費・ 通信費)等
	(備考) ・本学に当該年度の学費を納める必要があります。	(備考) ・本学に当該年度の学費を納める必要があります。
助成金	原則として派遣留学の終了後に、留学期間にかかわらず20,000円が支給されます。	原則として派遣留学の終了後に、留学期間が半年間では40,000円、1年間では60,000円が支給されます。
特徴	・1954年に設立された総合大学です。言語教育に関しては中国有数の大学のひとつです。 ・留学生に対する中国語教育の長い経験を有し、毎年多くの留学生が集い学びます。 ・交通の便がよく、自然豊かなキャンパスです。 ・教育設備も完備され、住環境も良く、留学生が学ぶには理想的な環境です。 ・併設の対外漢語学院で中国語を学びます。(本科生が受講する科目は履修できません。)	・上海財経大学は1917年に創立され、経済や会計、金融の他、国際ビジネス、マネジメント、法学等7学部を擁する総合大学です。 ・留学生を育成するために上海財経大学に特設されている国際文化交流学院は、ここを窓口、ビジネス中国語が堪能な人材と、中国経済とマーケットにも詳しい国際的な経済管理人材を育成しています。 ・教育設備も完備され、住環境も良く、留学生が学ぶには理想的な環境です。 ・併設の国際文化交流学院で中国語を学びます。(本科生が受講する科目は履修できません。)
認定科目	所属学部開講の科目	
単位認定申請	本人の申請により、所属学部教授会(薬学部においては教授総会)が適当と認めたものについては、本学の卒業単位として認定を受けることができます。	
募集時期	2020年1月上旬～2020年2月下旬	2020年1月上旬～2020年2月下旬
URL	http://www.shnu.edu.cn/	http://www.shufe.edu.cn/

*派遣留学希望者は、募集要項揭示時期と出願期間に注意してください。

派遣留学制度		
研修校	⑤国立高雄大学	⑥玄奘大学
研修地	台湾 高雄市	台湾 新竹市
研修期間	9月上旬～翌年1月下旬(約半年間) 9月上旬～翌年7月上旬(約1年間)	9月上旬～翌年1月下旬(約半年間) 9月上旬～翌年7月上旬(約1年間)
滞在方法	寮	寮
対象	派遣時において、学部または大学院研究科に1年以上在学している者 とします。	派遣時において、学部または大学院研究科に1年以上在学している者 とします。
	学業成績については、出願時において原則として 通算半期平均18単位以上を修得している者 とします。 ただし、大学院生に関してはその限りではありません。	学業成績については、出願時において原則として 通算半期平均18単位以上を修得している者 とします。 ただし、大学院生に関してはその限りではありません。
	※原則として中国語検定試験3級以上または漢語水平試験(HSK)4級以上の合格者	
定員	1～2名	1名
選考	面接(日本語及び中国語)・書類審査	
費用	(免除される費用) ・入学金 ・授業料	(免除される費用) ・入学金 ・授業料 ・宿舍費
	(主な自己負担金) ・渡航費(査証取得費を含む。) ・海外旅行傷害保険料 ・滞在費(宿舍費・光熱費・食費・保証金を含む。) ・教材費 ・その他の雑費(健康診断費用・現地交通費・ 通信費)等	(主な自己負担金) ・渡航費(査証取得費を含む。) ・海外旅行傷害保険料 ・滞在費(保証金・光熱費・食費を含む。) ・教材費 ・その他の雑費(健康診断費用・現地交通費・ 通信費)等 ・長期休暇中の宿舍費
	(備考) ・本学に当該年度の学費を納める必要があります。	(備考) ・本学に当該年度の学費を納める必要があります。
助成金	原則として派遣留学の終了後に、留学期間が半年間では30,000円、1年間では40,000円が支給されます。	原則として派遣留学の終了後に、留学期間にかかわらず30,000円が支給されます。
特徴	・台湾南部での高等教育・研究機関の充実を図るため、国家政策により、2000年に設立されました。 ・本科生と同じ授業を履修します。(使用言語は中国語) ・外国人留学生向けの中国語補習クラスが開講されます。 ・留学生1人1人に台湾人学生チューターが付き、生活及び学習サポートをしてくれます。	・台湾新竹市にある1997年に設立された私立大学です。 ・「台湾のシリコンバレー」と呼ばれる工業都市で、新竹駅-台北駅間は、高速列車で30分程度の距離です。
認定科目	所属学部開講の科目	
単位認定申請	本人の申請により、所属学部教授会(薬学部においては教授総会)が適当と認めたものについては、本学の卒業単位として認定を受けることができます。	
募集時期	2020年1月上旬～2020年2月下旬	2020年1月上旬～2020年2月下旬
URL	http://www.nuk.edu.tw/	http://www.hcu.edu.tw/

*派遣留学希望者は、募集要項揭示時期と出願期間に注意してください。

派遣留学制度の概要

派遣留学制度	
研修校	⑦建国大学 ⑧平澤大学
研修地	韓国 ソウル市 韓国 平澤市
研修期間	2月下旬～6月下旬(約半年間) 2月下旬～12月下旬(約1年間)
滞在方法	寮(構内にあります)
対象	派遣時において、学部または大学院研究科に6ヶ月以上在学している者としてします。
	学業成績については、出願時において原則として通算半期平均18単位以上を修得している者としてします。なお1年次生は原則15単位以上とします。ただし、大学院生に関してはその限りではありません。
定員	若干名 2名
選考	面接(日本語及び韓国語)・書類審査
費用	(免除される費用) ・入学金 ・授業料 (主な自己負担金) ・渡航費(査証取得費を含む。) ・海外旅行傷害保険料 ・滞在費(宿舍費・光熱費・食費・保証金を含む。) ・教材費 ・実施見学旅行代金 ・その他の雑費(健康診断費用・現地交通費・通信費)等 (備考) ・本学に当該年度の学費を納める必要があります。
	(免除される費用) ・入学金 ・授業料 ・宿舍費(光熱費を含む。) (主な自己負担金) ・渡航費(査証取得費を含む。) ・海外旅行傷害保険料 ・滞在費(保証金・食費を含む。) ・教材費 ・実施見学旅行代金 ・その他の雑費(健康診断費用・現地交通費・通信費)等 (備考) ・本学に当該年度の学費を納める必要があります。
助成金	原則として派遣留学の終了後に、留学期間が半年間では60,000円、1年間では100,000円が支給されます。
特徴	・1946年に設立された朝鮮政治学館から発展し、1959年に総合大学へと発展。韓国有数の総合私立大学です。 ・キャンパスはソウルと忠州市の2ヶ所にあります。 ・経済社会を先導するグローバルな人材の養成に力を注いでいます。
	・1912年にピアソン博士のキリスト教精神を基に設立。1980年に4年制大学の認可を受け、1981年から本格始動。1996年に現・平澤大学へ改称、発展。 ・地域社会と連携しながら、人物性と専門能力を兼ね備えた人材を育成するための先端教育に取り組んでいます。 ・韓国大学教育協議会において優秀大学として認定されました。
認定科目	所属学部開講の科目
単位認定申請	本人の申請により、所属学部教授会(薬学部においては教授総会)が適当と認めたものについては、本学の卒業単位として認定を受けることができます。
募集時期	2019年7月下旬～2019年10月中旬
URL	http://www.konkuk.ac.kr/ http://www.ptu.ac.kr/

*派遣留学希望者は、募集要項掲示時期と出願期間に注意してください。

体験学習制度の概要

体験学習制度	
講座名	ミャンマー体験学習
訪問先	メッター イエイ ミョー小学校 珊瑚舎スコーレヤンゴン日本語学校
活動場所	ミャンマー ヤンゴン近郊
活動期間	3月上旬(約1週間)
滞在方法	ホテル
対象	全学部学生(全学年) 外国語能力は問いません。
定員	約10名
選考	面接・書類審査
費用	(2018年度) 約150,000円(全額自己負担) ①航空運賃:約110,000円 ②海外旅行傷害保険料:約3,000円 ③滞在費:約23,000円(2人一部屋) ④食費 ⑤現地での移動に必要な交通費等:約10,000円
	20,000円 原則として、体験学習終了後に支給されます。
特徴	・ミャンマー最大都市ヤンゴンの北約30kmのHlegu(レグー)県Gazutaung(ガーストン)村にあるNGO運営のMyittar(メッター)Yeik(イエイ)Myeme(ミョー)小学校を訪問し、ボランティア活動を行います。またヤンゴン市内にある珊瑚舎スコーレヤンゴン日本語学校(日本のNGO運営)を訪問し、日本語学習者(主に大学生や勤労青年)との交流を行います。
事前研修	2月中に5回程度の事前研修・準備を行います。
認定科目	なし
募集時期	2019年10月下旬

負担金額は、為替レートや航空運賃により、変動することがあります。

留学準備と計画

あなたは留学の目的を聞かれたらなんと答えますか？外国語によるコミュニケーション能力を高めたい、専門分野の知識を深めたい、国際的な視野を広げたい等、留学の動機と目的を明確にすることが大切です。留学に際しては、将来を見据えた上で、留学先（国・地域）や留学期間、学習内容や習得したいこと等により、自分に合ったプログラムを選択し、計画を立ててください。

1 留学準備

留学の目的は？

留学の動機や目的を考えてみましょう。

- 語学の習得
- 視野を広げたい
- 専門分野の知識を深めたい
- 世界各国の文化を知りたい
- 留学後は？

留学プログラムの検討

留学オリエンテーションへ参加しましょう。

- 希望する国・地域は？
- 留学時期や期間は？
- 留学先の受講科目は？
- 予算は？

準備を始めよう

出願資格取得に向けて

- 日々の学習（学業成績）
- 語学力の向上（TOEFL、TOEIC、各種語学能力試験等）
- 留学資金計画（保護者と相談）
- 情報の収集

2 留学出発の約6ヶ月～1年前

留学プログラムの選択

各種留学募集ガイダンスに参加して情報収集をしましょう。

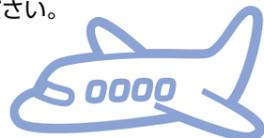
- 必要な申込書類を配付するので、必ず出席してください。
- 国際センター課では、いつでも相談を受付けています。

出願・選考

参加プログラムが決まったら、募集要項に基づいて、必要な提出書類を準備し、締切りに注意して提出してください。

- 面接選考は、プログラムにより個人または集団面接となります。

※出願までに学業成績・語学能力試験の出願資格を満たしてください。



3 留学決定後～出発直前

留学手続き

プログラムへの参加が決定したら、事前ガイダンスに出席。パスポート取得やビザ申請等留学に向けた手続きの開始です。

- プログラムによっては、事前研修等の受講が義務づけられています。

留学に向けて

このガイドブックや事前ガイダンスで配付する資料を熟読してください。

- 留学中は楽しいことばかりではありません。想定外のような出来事が起こることもあるため、自分で乗り切るための情報収集や語学力等、十分な準備と心構えが重要です。

4 留学中

留学

日々の学習を充実させるためにも健康、安全に気を付けて留学生活を送るよう心掛けましょう。定期報告を忘れずに！

- 大学では、留学期間中の不測の事態に備え、緊急時の学生支援や危機管理体制の強化に取り組んでいます。

5 帰国

帰国準備・帰国報告

- 修了書を必ず研修機関で発行してもらってください。
- 単位認定を希望する場合は、研修機関の成績証明書を発行してもらってください。
- 帰国後1週間以内に、国際センター課に来課してください。

- 学習成果をまとめた「研修報告書」（本学所定）を作成し、提出してください。

留学経験を今後の学生生活において活かしてください。

単位認定の申請

- 単位認定申請書及び成績証明書を提出してください。単位が認定されれば、卒業単位として認められます。

- 詳しくは、P.29を参照してください。

事前ガイダンスの実施

各プログラムの参加許可者に対して、3～4回程度の事前ガイダンスを行います。留学までの準備や提出書類等について、順次説明します。留学準備から帰国までのスケジュールは各プログラムにより異なりますが、共通した主なスケジュールは下記の通りです。

私費留学の場合にも参考にしてください。

1.許可後のスケジュールについて

留学準備（各種手続・携行品、お土産、外貨の準備）

情報収集・語学学習

体調管理（治療・再検査）



夏季留学 ← 4月 → ← 5月 → ← 6月 → ← 7月 → ← 8月 → ← 9月 →

← 10月 → ← 11月 → ← 1月 → ← 2月 → ← 3月 →

2.パスポートの取得申請について

パスポートは、海外において国籍・身元を証明する唯一の公文書です。研修中は絶対に他人に預けず、自己責任により厳重に管理してください。

愛媛県内の旅券申請窓口は、**住所（住民登録）のある市役所・町役場**となります。ただし、松山市では住民票が松山市にない場合でも申請可能な場合があります。詳細は松山市パスポートセンターに確認してください。市町によって旅券窓口の受付時間が異なりますので、詳細は市町のホームページで確認してください。

申請手続きは、「一般旅券発給申請書」（所定用紙）と、旅券申請に必要な書類と一緒に旅券窓口へ提出してください。申請書は、旅券窓口においてあります。

パスポートの有効期限を必ず確認し、留学期間に有効期限が切れる場合は、速やかに更新手続きをしてください。

3.健康診断について

各種語学研修プログラムの参加者全員に対し、年度初めの「定期健康診断(胸部レントゲン検査を含む)」と「追加項目(心電図、血圧、血液検査等)の健康診断」の受診を義務付けています。それらの結果を基に、学校医が留学の可否について総合的に判断(メディカル・チェック)します。メディカル・チェックの結果によっては、受講許可を取消す場合もあります。

大学のプログラムを利用して海外留学を予定している方は、年度初めの定期健康診断において、希望者のみ実施する胸部レントゲン検査(定期健康診断では大学が費用負担・無料)を必ず受診してください。

海外研修参加のための健康診断(追加項目)

- 定期健康診断とは別に、募集ガイダンスや事前ガイダンスで指示された期間内に受診してください。
受診費用：4,000円～6,000円(自己負担)
- 定期健康診断で、胸部レントゲン検査を受検していない場合には、追加で受検していただきます。
- 既往症がある場合には、必ず診断時に医師に申出てください。
(申出がない場合、海外旅行傷害保険が適用されない場合があります。)
- 健康診断結果は保健室宛に直送されるため持ち帰る必要はありません。写しはガイダンスで渡します。



愛媛県総合保健協会 <TEL:(089)987-8202>

- 健診期間：各プログラム別の募集ガイダンス時に案内する指定期間に必ず受診してください。
- 受付時間：8:30～11:30
13:00～14:30
- 診察時間：9:30～12:00
13:00～15:00
- 備考：どのプログラムに参加するにも受診は必要です。所要時間は約30分。食事は取って受診しても結構です。金具のついていない下着を着用してください。

4.ビザ(査証)について

プログラムによっては、留学先の政府機関に留学ビザ(査証)を申請し、入国(滞在)許可を取得することが必要となります。ビザの要・不要や申請手続きは留学先の国によって異なりますので、必要に応じて、各国の在日大使館または領事館等に問合わせた上で手続きを行ってください。

5.海外旅行傷害保険について

① 個人契約によるもの(掛金自己負担)

語学研修プログラムに参加する場合は、本学指定の海外旅行傷害保険に加入することを義務付けています。この保険は、留学中の不測の事態において、治療・救援費用、賠償責任、携行品損害、傷害死亡、疾病死亡、傷害後遺障害及び偶然事故対応費用が補償される保険です。ただし、留学前からの既往症については、原則として保険の対象とはなりません。既往症がある場合は、自身で一切の責任を負うことを承諾の上、参加してください。

また、私的な活動時間を除いて学生教育研究災害傷害保険が適用されます。

② 大学契約によるもの(掛金大学負担)

本学では、留学中の不測の事態に備え、緊急時の学生支援と危機管理を目的として、学校法人松山大学が契約者となる保険に加入しています。

外務省旅券申請案内

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/>

松山市パスポートセンター

<http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/kakukaichiran/siminbu/passport.html>

パスポートの申請準備から取得まで

申請に必要なもの A～Dすべて原本 ※コピー不可

A. 戸籍抄本または謄本…1通

- 申請日前6ヶ月以内に発行されたもの
- 戸籍謄(抄)本は、本籍地のある市町村で手に入ります。
※本籍が遠く離れている場合は郵送で請求することもできますので、市町村に問わせてください。

B. パスポート用の写真…1枚

- 申請日前6ヶ月以内に撮影したもの
- 正面、無帽、無背景、背景は白色
- 縦45mm×横35mm(縁なし)
- カラーでも白黒でも可

C. 本人確認書類 ※(1)か(2)のいずれか

- 1点で良い書類…運転免許証
 - 2点必要な書類…(ア)健康保険被保険者証 (イ)写真が貼ってある学生証
- ※本人確認書類は、必ず有効な原本を提示してください。(コピー不可)

D. 一般旅券発給申請書…1通

申請書には、10年用と5年用があります。申請日に20歳以上の方は、10年か5年のパスポートを選択できます。20歳未満の方は、5年用のみです。
※申請者が未成年者の場合は、申請書裏面の法定代理人署名欄に、親権者または後見人の署名が必要です。

パスポートの受領について

パスポートは、通常申請後から受領まで標準で7日程度を要します。指定された受領日以降に次の点に注意し受取ってください。

- パスポートの受取りは申請者本人のみ可(代理人による受取りは不可)
- パスポートの受取りは申請窓口へ
- 受取りの際に必要なもの
 - 申請時に渡される旅券申請受理票(一般旅券受領証)
 - 手数料 5年旅券：11,000円 / 10年旅券：16,000円

パスポートを受取ったら

- 受取り次第、パスポートの最後の頁にある「所持人記入欄」を記入してください。

6.外貨の準備について

現地で利用する外貨への換金方法については、留学先を考慮し下記の①現金と併せて、②～④を参考にしてください。

①現金

- ・銀行（ゆうちょ銀行含む）、空港や市中の両替所等で両替可能です。
- ・場所によって両替レートや手数料が異なります。
- ・金融機関や支店によっては取り寄せる必要がありますので、すぐに外貨が手に入らない場合があります。
- ・一定の金額でのパック販売を行う場合があります。

②クレジットカード

- ・クレジットカードの申込み方法・使用方法等は下記サイトを参照してください。
【一般社団法人日本クレジット協会（クレジットの基礎知識）】
URL：http://www.j-credit.or.jp/customer/basis/index.html
- ・申込みから発行まで約1ヶ月かかることがあります。
- ・海外で通用度の高いクレジットカード会社を選んでください。
- ・ICチップ内蔵カードの場合、支払いにはサインの代わりに申込み時に設定した暗証番号が必要です。番号を忘れた場合、基本的に電話によるクレジットカード会社への問い合わせは不可です。
- ・クレジットカードの「番号」、「有効期限」、「名義人名」、「暗証番号」等を安易に第三者へ教えないでください。
- ・希望者は保護者に相談の上、申込みを行ってください。

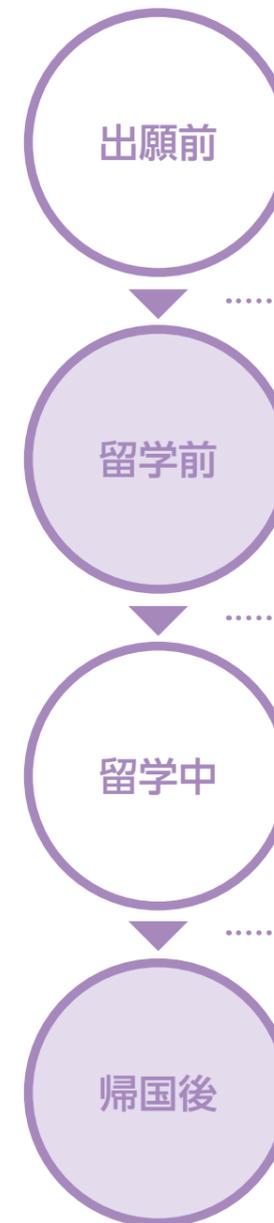
③海外専用トラベルプリペイドカード

- ・代表的なものに、「キャッシュパスポート（http://jpcashpassport.jp）」や「Money T Global（www.jtbmoneyt.com/g）」などがあります。
- ・WEBサイトから申込み可能ですが、申込みから受取りまで約1週間かかります。余裕をもって申し込んでください。
- ・渡航前にあらかじめ日本円でチャージしておけば、現地のATMから現地の通貨で引出したり、加盟店での支払いに利用することが可能です。
- ・対象となる通貨は限られています。
- ・現地で使用できるATMはカードによって決められています（MasterCardマーク、VISA、plusマークなど）。

④その他（注意事項）

- ・予定外の出費等を含めて余裕を持って予算を組んでください。
- ・多額の現金を持ち歩かないでください。

長期（半期以上）プログラム参加者の履修登録と単位認定について



入学時に配布された学生便覧を参照し、単位の修得状況と履修状況、留学によって修得が可能な科目を念頭に置き、4年間で卒業所要単位を満たすことができるか検討してください。専門科目、ゼミや卒論等、所属学部のカリキュラムによっては、留学予定年次に影響が出る可能性もあるため、必ず事前に教務課に相談してください。

履修登録

- 前期出発** 1年間の留学の場合、前学期・後学期共に本学での履修登録はできません。ただし、前学期のみ留学する場合は、後学期の履修登録が可能です。
- 後期出発** 4月に在学年次の履修ガイダンスを受けてから、前学期科目と集中講義の履修登録が可能です。通年科目と後学期科目の履修登録はできません。

単位認定に必要な書類（シラバス、時間割、教科書、その他配付資料等）を保管し、帰国時に確実に持ち帰ってください。

単位認定申請

単位認定を希望する場合は、所定の期日までに以下の書類を国際センター課へ提出し、所属する学部教授会により単位が認定されることがあります。

※プログラムによっては、派遣先の大学に成績証明書（本学所定）を申請する必要がありますので注意してください。その際は、事前に申請し、記載事項を確認した上で受取り、帰国時に持ち帰ってください。

必要書類例

- ①単位認定申請書（所定様式）
- ②留学先大学の公式英文成績証明書
- ③留学先の科目のシラバス
- ④時間割
- ⑤留学先の学事暦
- ⑥各科目の授業内容説明書（任意様式）

単位認定は、留学先での修得科目の講義内容及び授業時間数を勘案して判断します。なお、認定対象として申請できる科目は所属学部で開講されている科目に限ります。

留学中の手続き

到着／帰国の報告・ 定期連絡

現地に到着したら、速やかに家族と国際センター課に到着の報告と滞在先を連絡すると共に定期連絡をするように心掛けてください。また、メールのチェックも怠らないようにしてください。

なお、住所を変更した場合や寮・ホームステイ等の宿舎を一時的に出なければならぬ場合、留学中の旅行等の場合も必ず滞在先の連絡をしてください。

全員、定期的にメールにて近況報告を行ってもらっています。(詳細はガイダンスで説明) これにより、現地での状況を把握しますので、必ず連絡を滞らせないようにしてください。

大学でも海外旅行傷害保険に加入していますので、その加入期間内に帰国をしてください。また、帰国日については、事前に国際センター課まで連絡してください。

松山大学国際センター課

TEL : +81-89-926-7148 / FAX : +81-89-926-7151
E-mail: mu-international@matsuyama-u.jp



在留届の提出など注意事項



① 在留届

留学先に着いたら、直ちにインターネットを通じて領事館に「在留届」を提出してください。領事館は邦人の保護を第一の任務としています。何かあればすぐに領事館に連絡するようにしてください。法律により外国に3ヶ月以上滞在する場合は「在留届」の提出が義務付けられていますので、「長期英語研修講座」及び「派遣留学制度」は必ず手続きを行ってください。インターネットから在留届を提出する場合は「在留届電子届出システム (ORRnet)」
<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/>

② 留学期間の変更／延長について

各年度の新規応募者が優先されるため、留学期間を延長することは原則として認められません。

海外での安全対策 (危機管理と健康管理)

近年、海外では暴動や内乱、テロをはじめ、大規模な地震・台風、伝染病や交通事故といった様々な事件・事故が多発し、日本人留学生がそのトラブルに巻き込まれる事件・事故が増えています。

留学先での自分の安全確保は、自分自身による「危機管理能力 (情報収集力・判断力)」で左右されます。

そのことを踏まえた上で、出発前に十分な調査と心構えをしておいてください。留学先でトラブルに直面した場合は自分の判断・責任で対応しなければならないため、個人としてできる予防策を講じておく必要があります。留学前に情報を収集したり、出発前のガイダンスや危機管理セミナーに参加したりして、「危機管理能力」を高めておいてください。また、身の回りに起こりうるトラブル (事件・事故) に対してだけでなく、「健康管理能力」も高めるよう心掛けましょう。

有意義な留学生活を送るためには、日本にいる時とは異なる「知識」と「意識」が必要です。

情報収集の重要性

出発前に安全管理マニュアル等の書籍を読んで理解していれば、海外での80%の危険が防げるといわれています。例えば留学先の緊急時連絡先 (救急車や警察等) を知っているか、知らないかでは安全度が大きく違ってきます。

事前に留学先の状況について情報を収集し、分析しておくことが重要です。海外での安全管理に関する書籍を購読し、説明会があれば必ず参加しましょう。

また、外務省「たびレジ」に渡航日程・滞在先・連絡先を登録しますので、滞在先の最新の海外安全情報や緊急事態発生時の連絡メール、また、いざという時の緊急連絡などを受取ることができます。

外務省海外安全ホームページ (外務省)

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

たびレジ (外務省)

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index>

世界の医療事情 (外務省)

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/index.html>

【安全面】留学先の治安、犯罪の傾向、政治情勢、衛生状況、自然災害の頻度等

【文化面】習慣・国民性・歴史やその国の過去の報道内容等

【生活面】大学と住居の距離、通学手段や要する時間、生活用品の購入環境、病院・薬局、IT環境等

世界各国 (研修地・派遣留学先) の緊急電話番号一覧

国名	連絡先	警察	救急車	消防署	交通事故	備考
イギリス		999 または 112				2006年より緊急を要しない場合の警察への通報先として、イングランドとウェールズの一部地域で101が供用開始されました。ガス漏れ: 0800-111-999, NHS ダイレクト (医療相談): 08-45-46-47
カナダ		911 (国内共通)				緊急を要しない場合 (一部地域): 311 地方の一部では911 サービスが不十分な地域も存在します。
アメリカ		911 (国内共通)				緊急を要しない場合 (一部地域): 311 携帯電話から: 112 地方の一部では911 サービスが不十分な地域が存在します。
オーストラリア		000 (国内共通)				携帯電話から: 112, 000 または 08, テキストフォン・TTY (テレタイプライター) から: 106 (National Relay Service)
ドイツ		110 または 112	112			
中国		110	120 ※1	119	122	
台湾		110	119			緊急事件・事故の場合 02-2556-6007 (台北市)
韓国		112 ※2	119 ※3			事件・事故に遭った場合には、大使館領事部や総領事館にも連絡してください。 (助言や可能な範囲での支援等を受けることができます)
ミャンマー		199	192	191		192 (緊がらないことが多い) その他、基本的に受診先の病院に救急車を依頼します (有料)。

※1 北京は999も使用可 携帯から112

※2 電話通訳サービスあり 7時~22時まで

※3 救急医療センター1399 日本語可

海外旅行傷害保険 (留学保険・医療保険) への加入

十分注意しているつもりでも事故にあたり病気がかかったりする可能性があります。現地の病院で受診・治療すると非常に高額になり、思わぬ出費となります。

留学に際しては、必ず海外旅行傷害保険に加入してください。

クレジットカードに付帯してある海外旅行傷害保険は、保険範囲や担保内容が限られていたり、保険金額や補償額が小さかったりする場合がありますので、このような保険のみに頼らないようにしてください。

信頼できる 相談相手を見つける

安全管理は、情報を共有、交換できる友人や世話人を見つけることが第一の方法です。一人で悩まず、留学（語学研修）先大学の国際センターのスタッフやアドバイザーに何でも相談してください。また、人との付き合いの中で情報収集に努めると共に、異常や問題が起こった時にはすぐに相談してください。また、緊急の場合は松山大学国際センター課へ連絡をしてください。

日本人や日本語を話せる人が住んでいたり、地域によっては日本語の新聞が発行されていたりするところもあります。留学先では所在を常に明確にし、在外公館（大使館、領事館）の連絡先や助けを求めやすい日本人会や日本企業の現地支店等も確認しておく、緊急の際には、援助を依頼することができます。

「もしもの時」の 対応について

万が一、強盗等に遭った時は絶対に抵抗してはいけません。相手は興奮している場合もあり不用意な行動は大変危険です。

海外犯罪者から見た日本人の印象は、金持ち（現金を携行している）、警戒心が欠けている、現地の言語が下手、性格がおとなしい、被害に遭っても反撃をしない等のことから、狙われやすい対象であるといわれています。危険地帯には立ち入らない、夜道を一人では歩かない、現金を多く持ち歩かない、現金を人前で見せない等、危険を回避するよう常に心掛けましょう。

事件が起こってからでは遅すぎます。

事前の健康診断 について

本学では、全てのプログラムの参加者に留学前の健康診断を義務付けています。本学で4月に行われる「定期健康診断」は勿論のこと、追加項目（心電図、血圧、血液検査等）を受診することも義務付けています。それらの結果をもとに、学医に留学の可否について総合的に判断してもらうメディカル・チェックを行います。普段から健康には留意して、栄養バランスの取れた食事、適度なスポーツ等、規則正しい生活を心掛けてください。

留学前からの既往症がある場合は、研修参加申請時に提出する問診表にて必ず申告してください。

現地の医療事情 について

留学先によっては医療情報や病状の意思疎通が不明確な患者については、誤診の際の損害賠償が厳しい等の理由で、医師が適切な医療を行ってくれない場合があります。既往症があり治療や経過観察をしている場合は、主治医に相談のうえ、その病気や治療法に関する「英文診断書」を依頼して持参しましょう。（留学先の言語、または英語で書くことが望ましいですが、日本語のものでも役に立ちます。）

また、医療機関が見つからない場合に備えて、常備薬を多めに持参するようしましょう。ただし、海外へ大量の医薬品を持ち出すときは、出入国時（検疫）等で問題が起こらないように必ず医師の「英文薬剤証明書」が必要です。世界各国で薬の取締りに関する厳格な法律があります。

海外で歯が痛むと、予約が直ぐに取れなかったり、高額な治療費を請求されることもありますので、**留学2ヶ月前までには歯科検診を受診し、必要な治療を終わらせる**ようしましょう。

日本旅行医学会 <http://www.jstm.gr.jp/>

病気にかかって しまったら…

海外では気候の違い、生活リズムや食生活の乱れ、ストレス等から体調を崩しやすくなりがちです。また、抵抗力が下がり、病気にかかりやすくなります。病気になった時にはすぐに医者に診てもらおうとともに、重大な疾病の場合には帰国する勇気も必要です。また、風邪薬・鎮痛剤等は慣れているものを持参しましょう。

病気や怪我をした時のために、予め信頼できる医療機関を確認しておきましょう。留学先の大学の医療機関や大学指定の病院もありますが、日本語のわかる医療機関を確認しておいてください。（海外旅行傷害保険に加入すると日本語で受診でき、キャッシュレスが可能な医療機関が記載された小冊子が配付されます。）

感染症 (SARS・新型インフル エンザ等)について

海外で発生・流行している感染症に、自分自身及び周囲の人達への感染を予防するため、事前に留学先の感染症情報を収集しましょう。必要であれば予防接種を受け、健康な留学生活を送れるよう留意してください。

新型インフルエンザに対して、ヒトは免疫をもっていないため、世界中で大流行（パンデミック）するといわれており、人命や社会経済活動に多くの被害をもたらすことが懸念されています。

感染症関連情報（外務省海外安全ホームページ）

http://www.anzen.mofa.go.jp/kaian_search/index.html

海外渡航者のための感染症情報（厚生労働省検疫所 FORTH ホームページ）

<http://www.forth.go.jp>

現地の法律について

日本の喫煙・飲酒可能年齢は共に20歳ですが、例えばアメリカでの喫煙可能年齢は18歳、飲酒可能年齢は21歳と異なります。また、1ヶ国の中でも州ごとに法律が異なることも多々見受けられます。

海外に留学の際は、生活に関わる現地の法律を必ず事前に調べ留意してください。

自動車・オートバイの 運転について

留学中は現地での自動車・オートバイの運転は認めていません。慣れない海外での車の運転は大変危険です。道路標識や法律が異なるため、本人がいくら注意しても避けられない交通事故やトラブルに巻き込まれる可能性が高くなり、交通違反・事故を起こして警察に身柄を拘束されたり逮捕されたりする場合があります。賠償責任、保釈金や弁護士等は膨大な費用となる上、法的な手続き等も留学生活に大きな負担を与えてしまいます。

麻薬・覚醒剤 について

若者を中心に麻薬・覚醒剤がかなり広まっています。タバコより害が少なく常習性が低いと考えられている国もあり、日本人旅行者の中にも気軽に手を出す人がいます。

しかし、あらゆる麻薬・覚醒剤は違法な薬物です。また、麻薬の売買には凶悪な犯罪組織が背後で糸を引いていることもあり、犯罪に巻き込まれる可能性が大きくなります。気軽な好奇心から手を染めないよう、海外生活の安全を第一に考え、十分に気をつけなければなりません。

通信手段の 確保について

海外に留学中は、日本にいるご両親をはじめとして大学関係者や友達等を安心させるためにも次のことを実行してください。

まず現地に着いたら「無事到着しました」と家族及び大学に連絡し、その後も定期的に現況連絡を忘れないようにしてください。また、大きな災害や事件・事故等が発生した場合は、いち早く「無事です」という連絡を必ず入れてください。緊急時の安否連絡は重要なため電話・ファックス・電子メール等の通信手段を確認・確保することが大切になります。

留学中の旅行 について

留学中の国内旅行や移動の際は下記の点に注意してください。航空機利用の際には、航空会社の選定等にも十分考慮して、安全を最優先させてください。「対策・予防」こそが最良の危機管理・健康管理 → 留学前・後の留学先の「情報収集」を心掛ける。

① 最悪の事態に備え、あらゆるトラブルを解消するための手段や連絡先を常時携帯する。

1. パスポート (日本大使館もしくは総領事館)
2. 航空券 (購入先の航空会社・旅行会社)
3. 各種クレジットカード (カード発行会社)
4. 海外旅行傷害保険証書 (保険加入会社)
5. 救急や警察署の電話番号 (松山大学生協: CO-OP デスク)
6. 各大学の担当者と連絡先 (松山大学・研修校)

② 現地では、行動三原則を徹底する。

1. 『目立たない』・・・派手な行動や身なりを慎み、軽率な行動は取らない。
2. 『持ち歩かない』・・・多額の現金を持ち歩かない。高価な物品を身につけない。
3. 『用心を怠らない』・・・普段と違う環境の中、警戒心を忘れない。安易に他人を信用しない。

安全を脅かしそうな地域に立ち寄らない。

* その国での法令遵守は勿論、常に自己責任の意識を持つことが安全対策に繋がる。

③ 普段から、規則正しい生活と健康管理に気をつける。

1. 留学数日前には、現地での生活に準じ、体を慣らす事が大切である。(食習慣、時差や気象の変化に伴い、体調不良になることがある。)
2. 言葉・文化や慣習等の環境の変化に伴い、ストレスを感じたり、問題が起こったりした場合は、一人で悩まず、自分の身の回りにいる友達や留学先大学の国際センター課スタッフ、アドバイザー等に相談をして、ストレスをためないようにする。

基本的な心構えとして一番重んじるべきことは、『自分の安全は自分自身で守る！』

帰国及び帰国後の手続き

帰国の報告

帰国後、到着時に国際センター課に報告をしてください。

成績証明書

① 派遣留学制度

派遣期間が終了したら、それぞれ派遣先の大学より成績表が送付されますので、派遣留学生本人が成績表を持ち帰る必要はありません。

修得した科目の単位認定を希望する場合は、帰国後に所定届出用紙にて申請してください。

② 長期英語研修講座及び 学生海外語学研修助成制度参加者

研修期間が終了したら、大学から持参した所定の用紙に成績及び受講時間等を記入してもらい持ち帰り、国際センター課に提出してください。

③ 短期語学研修講座参加者

研修期間が終了したら、それぞれ派遣先の機関より大学が送付した所定の用紙に成績表が記載され、国際センター課に送付されますので参加者が成績表を持ち帰る必要はありません。

語学試験の受験 (長期英語研修講座のみ) 【帰国後】

長期英語研修講座の場合は、帰国した当該年度末までに語学試験を受験し、スコアを提出してください。

留学終了月以降に受験したスコアの提出に限ります。(英語: TOEFL もしくは TOEIC)

最新の研修機関案内 (学生海外語学研修助成制度のみ)

授業の内容や講義時間、単位数等を記した資料があれば持ち帰るようにしてください。

研修報告書【帰国後】

研修参加者には「研修報告書」の提出を課しており、それらを参加希望者用参考資料として「留学ガイドブック」や「松山大学オフィシャルサイト」等に掲載しています。

各種募集ガイダンス (OB/OG 懇談会) 等への参加 【帰国後】

現地で体験した「生の声」は、研修に参加する学生にとって一番の情報になりますので、次年度の事前研修ガイダンスにおいて、体験談等の発表をお願いすることがあります。

研修終了後の提出物について

研修報告書は以下の要領に基づいて、期日までに提出してください。

研修報告書と写真6枚は、今後の参加希望者のために「留学ガイドブック」や「松山大学オフィシャルサイト」に掲載される場合があります。

1 印刷物提出

(②の写真台紙は配付されます。)

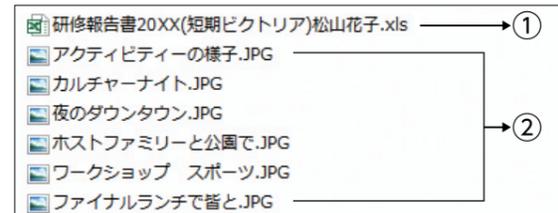
① 研修報告書 … A4・3枚 (雛形あり)

② 写真6枚 … 写真台紙・1枚

2 データ提出

(①と②をUSB等に保存して提出)

※データ移行後その場で返却



提出方法

① 研修報告書 (Excel ファイル)

- オフィシャルサイトから該当する雛形(エクセルファイル)をダウンロードした上で入力してください。
オフィシャルサイト⇒国際交流(国際センター)⇒各種提出物(所定様式)
- 記入する内容は、次のページの「作成のポイント」を参考にしてください。

(1) 印刷物提出

必ず印刷したもので誤字や脱字を確認してください。

(2) データ提出

ファイル名を変更して提出してください。(上図参照)
⇒「研修報告書 年度(研修プログラム名)※氏名」
例:「研修報告書 2019(短期ソウル) 松山花子」

② 写真6枚 (JPEG ファイル等)

- 撮影した中から様々な場面の写真6枚を選び、提出してください。

(1) 現像済写真提出

台紙にファイリングし、それぞれのタイトルとコメントを台紙の罫線部分に記入してください。

(2) データ提出

台紙に書いたタイトルをファイル名にして提出してください。(上図参照)

(注) デジタルカメラではなく、フィルムカメラで撮影した場合は、(1)のみ提出してください。

研修プログラム名

- 短期ピクトリア ●短期グリフィス ●短期フライブルク ●短期ブルゴーニュ ●短期上海 ●短期ソウル
- 長期カンタベリー ●長期グリフィス ●長期ピクトリア
- 助成夏季 ●助成春季
- 派遣フライブルク ●派遣復旦 ●派遣上海師範 ●派遣上海財経 ●派遣高雄 ●派遣玄奘 ●派遣建国
- 派遣平澤
- 体験学習マンマー

「研修報告書」作成のポイント

「研修報告書」は、次の項目別に記載し、全てのシートを完成させてください。
(空欄がある場合や記載内容が少ない場合は再提出となることがあります。)

① この研修で必要とした費用について

- ・わかる範囲内で留学にかかった費用を記入する。

② 研修機関及び授業内容について

- ・研修機関(大学)の概要、構内、施設、周辺の様子等の感想を記入する。
- ・具体的な研修内容が分かるよう、実際に行われたことを記載。

【例】

クラス分けテストの内容、どのようなクラスに分けられたか。
授業では何を目標にどんなところに重点がおかれて行われていたか。
時間割について。
特徴的なプログラムや、講師の教え方の特徴について等。

③ 生活全般について (衣・食・住等)

- ・ホームステイ、寮(間借り)、ホテルの場合は、その様子や現地での生活等。
- ・その国の食事や季節に応じた服装についても記入。

④ 休日・余暇の過ごし方

- ・放課後や週末等の休みの過ごし方、研修校企画の課外活動等。

⑤ この研修で得たもの・学んだもの

- ・この研修ならではの特色やポイント、研修を通して得た所感等。

⑥ 後輩へのアドバイス・参考になった文献紹介

- ・今後、参加を希望する後輩へのアドバイス等。
- ・事前に参考にした資料や研修先に持参した文献等の紹介。

⑦ 受講した授業及び語学研修コース

- ・受講した授業や語学研修コースについてできるだけ詳細(科目名、時間数、期別等)に記入してください。

⑧ その他

- ・①～⑦までに記入できなかった感想、意見、提案等。

留学に興味はある！でもあと一歩が踏み出せない人必見！

プチ留学体験 (英語圏) 参加者大募集!!

3日間、気軽に留学の雰囲気を経験できる「プチ留学体験」を実施しています。語学力を磨くことはもちろん、アクティビティワークを取り入れたプログラムにより、海外留学をより身近なものに感じ、渡航への自信を深めることを目的としています。

英語漬けの2泊3日!!
講師は全員ネイティブ!!



Marin先生



Sam先生



Ralph先生



Nat先生



David先生



Caleb先生

■対象：全学部学生（4年次生以上は除く）及び短期大学生（2年次生以上は除く）

■内容及び特徴

1. 英語圏のネイティブ講師と共に県内で合宿研修を行い、この中で「プチ留学体験」プログラムを実施し、期間中英語を使った実践的日常生活を体験する。
2. 米国、豪州、シンガポールなど様々な英語圏出身のネイティブスピーカーが指導にあたるので、様々なエリアの英語にふれることができる。講師以外の英語圏外国人ともアクティビティを通して交流する予定。
3. 外国人が集まる観光地（道後温泉など）にて、英語を使った観光案内等のフィールドワーク、ボールゲームスポーツ・英語の歌・ゲーム等のアクティビティを通して、楽しみながら英会話のスキルアップをねらう。
4. 英語運用能力に応じて複数のグループを作るので、無理なく効果的に英会話力を伸ばすことができる。
5. 合宿期間中の使用言語は、原則として英語のみとする。

■留意事項

1. 英語運用能力は問わない。
2. 受講意欲が低い、または、協調性を著しく欠くと判断される場合は受講許可を取り消すことがある。
3. 薬学部の学生は必ず薬学部事務室に相談し、自身のアドバイザーにプログラムへの参加許可を得た上で申込みのこと。
4. 参加人数により、プログラム内容の変更、または中止となる場合がある。
5. 参加者は本学所定の「誓約書」を提出しなければならない。
6. 定員を上回る申込みがあった場合は、当該講座の未経験者を優先する。

詳細は学内掲示板もしくは国際センター課まで

センパイの留学体験を覗いてみよう！

研 修 報 告 書

短期語学研修講座 P.40

長期英語研修講座 P.50

学生海外語学研修助成制度(春季・夏季) P.56

派遣留学制度 P.78

あなたはどのような留学生活を送りたいですか？

知らない土地での生活は不安もあるでしょう。

しかし、それ以上にかげがえのない体験が生まれるはずですよ。

先輩たちの留学体験を参考に、

自分自身の留学生活を考えてみましょう。

※掲載されている学年は、研修出発時のものです。

カナダ

ビクトリア大学

University of Victoria



人文学部
英語英米文学科
3年次生(研修時)

山本 和奏

Wakana Yamamoto



研修機関や授業

楽しい授業で表現能力が伸びる。

ビクトリア大学ではまず初めに日本人コースを受けるすべての研修生が能力別に分けられるクラスを判断するための簡単なテストを受けます。内容としてはSpeakingとWritingです。Speakingでは簡単な質疑応答、提示された写真について話したり、ほかの生徒とディスカッションしたり。これは最終日にも似たような形でテストして最終成績の点数となります。クラスは3つのレベルに分けられました。どのクラスの先生方もフレンドリーでにぎやかで常に楽しい授業が受けられました。授業中はもちろん常に英語です。私のクラスではクラスの扉をくぐると日本語禁止というルールが設けられ、休み時間の間でも教室内ではみんな常に英語を使うように気を付けていました。常に英語をしゃべると意識があるのでSpeakingの能力向上はもちろんのこと自分の考えを相手に伝えたり、逆に相手の考えを読み取ったりと表現能力も伸ばせられたと感じました。日本の大学のような堅苦しい雰囲気はなく先生も常に盛り上げようと楽しいクラスを目指していました。歌ったり、外を探索したり、映画を見たり、絵を描いたり様々な授業形態でした。



▲もう一つの家族

衣・食・住

水に関するルールの確認が必要。

カナダに着いて一泊ホテルに泊まります。そのあとはすぐにホームステイ開始です。私のホームステイ先のホストファミリーは50代半ばのご夫婦と犬と猫合わせて4匹というとても可愛らしいおうちでした。さらに中国からきていた3ヵ月コースのルームメイトもいてにぎやかでした。ファミリーは長年ホストファミリーを経験していることもあっておうちのルールやおうちの中で自分が使うところ(トイレやお風呂、部屋など)がはっきりしていて最初から混乱したり気負うことなく快適に過ごせました。食事については家庭ごとに本当に様々でそれも楽しみの一つと言えます。着るものについてですがビクトリアは本当に寒く朝と夜は上着が必須です。昼は半そでで過ごせるとありますが常に上着一枚携帯しておくとう便利です。『住』については各家庭のルールの相違により様々ですが、ほとんどの家庭が水を大切にしています。シャワータイムは特に注意で、それに関するルールが多いことがあります。きちんとファミリーに確認しておくトラブルなどは事前に防

げられると思います。家庭にほかのルームメイトがいる場合は事前にきっちりとそれぞれの持ち物の置き場などを決めておきましょう。

STUDY ABROAD DATE

- 都市名：ビクトリア
 - 研修期間：2018年8/7～8/31【25日間】
 - 研修講座・コース名：Japanese Summer Program
 - 宿泊形態：ホームステイ
 - 費用概算
- | | |
|---------|----------|
| ＜必要な経費＞ | |
| ・研修費 | 273,000円 |
| ・旅費 | 302,000円 |
| ・その他 | 44,000円 |
| ＜合計＞ | 619,000円 |

休日・余暇の過ごし方

小旅行や楽しいバスでの探検。

休日や余暇にはたくさんのOptional Toursが組まれているのでお金は必要ですが参加して損はないと思います。どのプログラムも本当に面白かったです。一番のおすすめはやはりバンクーバーへの小旅行です。ビクトリアとは違うカナダを楽しめると感じます。しかし、夜は本当に治安が悪いので一人での行動は絶対に避けてください。街中やチャイナタウンなどへ出かけるときはビクトリア以上の注意を欠かさないように。ビクトリアでの余暇はたくさんの場所に探索に行くことをお勧めします。ダウンタウンは絶対に行き飽きると思うのでダウンタウンの中でも特に好きなお店やスポットを事前に絞ったり、探しておいたりすると無駄なく楽しめると感じます。ダウンタウンのみでなくアップタウンやほかにも観光スポットは多々あるので行ってみると良いでしょう。バスでの探検は本当に面白いです。自分の学校の生徒だけでなく他大学の学生さんたちともコンタクトを取り一緒に行動することで沢山の出会いを得られ、連絡を取り合うことでかけがえのないものを得られるはず。余暇や休日、さらには放課後など様々なスポットをぜひたくさんの人と行ってみてください。



思い出スナップ

▼クラスみんなで森探索



▲大好きな3Aクラスのみんな

得たもの・学んだもの

当たって砕ける精神で積極的に。

私自身、3回目の留学でしたが期間が一番長いこともあり、一緒に行った研修仲間とは本当に良い関係を築くことができました。海外に行くときは、自分のシャイな性格や自分の考えを積極的に述べられないようなネガティブな思考はすべて通用しません。捨てるべきです。何事も『積極的に』です。今回の留学でもひしひしと痛感しました。自分を出すことを恐れてはいけません。絶対に受け入れてもらえます。それほどカナダは大きい国でした。同じ学校に通う他大学の学生さんたち、クラスの先生方、ACの方々、ホストファミリー。全員と仲良くなるぞくらいの勢いが大切です。私は今回それを学べたと思います。自分から積極的に何かをするというのは勇気がいることですが損はないので当たって砕ける精神で行きました。結果としては良いことづくめだったのでよかったです。英語の能力向上だけでなくほかにたくさんの事を学べました。



▲みんなで考えた変なポーズ

後輩へのアドバイス!

長袖は多めに、パーティードレスも必要。

気を付けてほしいことの1つ目は着るものです。私は長袖を上着として1枚だけ薄手のものを持っていったのですが足りません。半袖と長袖の服は半々でいいと思います。朝は11～12℃だったので厚めの上着は1枚は必須です。最終日近くになるとフェアウェルパーティーというものがあり、フォーマルな格好を求められるのでパーティードレス、男性ならばスーツを荷物になりますが持って行くといいです。最悪現地で買えるのですが物価が高いので日本で安く買うのを勧めます。2つ目に物の紛失には要注意です。パスポートや携帯などの貴重品は常に携帯しておくべきですがそうすると紛失の危険性が高まります。現に携帯を失くした人、バスパスを失くした人がいます。結果見つかったからいいもののカナダでの生活に慣れ始めて気が緩み失くすということのないように常に気を付けておいてください。



▲フォトジェニックなメープル

もう一言!

ポケットWi-Fiを早めに予約しよう。

ポケットWi-Fiはほとんどの人が持っていました。街中や大学にはほとんどの場所にWi-Fiはありますが、無いところももちろんあります。そこでファミリーに連絡などできるようにWi-Fiを持っておくのはお勧めです。行くことが決定して、日にちが確定したら早めに予約を入れるといいです。会社によっては早割などでだいぶ安くWi-Fiを借りられます。直前に慌てないように余裕をもって準備しましょう。パソコンは研修期間中に成績開示、履修変更の手続き期間がかぶっていたのでパソコンとともに持って行きましたが、PCやタブレットなどは手荷物になり、飛行機に預けられないのでできれば持って行かないほうが荷物を少なくできます。しかし、授業中にプレゼンを作ったりもしたのでやっぱりあると便利です。Wi-Fiがあると問題なくラインなどは使えるので日本との連絡は簡単につきますが時差が16時間と大きいので連絡を送るときは日本時間を考慮してから送るといいかもしれません。



▲カナダの大自然で

概要

申込み

受講許可後(事前準備)

留学中及び研修後の手続き

短期語学研修講座

長期英語研修講座

学生海外語学研修助成制度(春季・夏季)

派遣留学制度

ドイツ

フライブルク大学 SLI インターナショナルクラス

University of Freiburg



人文学部
英語英米文学科
2年次生(研修時)

大垣 馨瑚
Keigo Ohgaki



研修機関や授業

基本的にはグループ活動がメイン。

ドイツ到着日の8月3日にフライブルク大学へ行き入学手続きや1ヵ月間生活する寮の設備などの説明を受けました。説明をしてくださったフライブルク大学の先生はドイツ語はもちろん、わからないところは英語で説明してくれました。この日のうちに授業以外の生活のほとんどについて教えてもらいました。授業自体は週が明けた8月6日から始まりました。事前にインターネット上でクラス分けのためのテストを受け、6日にはそのクラスで勉強することになっていました。クラスは1~11まであり、僕はクラス5でした。僕のクラスは半分が日本人、半分が日本人以外の生徒でした。日本人以外の生徒の中にはスペイン人や中国人、エジプト人やブラジル人など様々な国籍の人がいました。クラスでの授業は20人ほどの生徒と1人の先生で行われ、基本的にはグループ活動がメインでした。教科書にそって単語やフレーズなどを覚えて生徒同士で会話をする事で自分のものにしていくことができました。1ヵ月で2回テストがあり、そのテストの成績と出席日数で最終成績が決まりました。



ケルン大聖堂▶

衣・食・住

寮では朝と夕は自炊、昼は学食を利用。

留学期間の1ヵ月間フライブルク大学の寮で生活しました。寮は5階建てで1階には寮の生徒が共同で使える洗濯機、乾燥機がありました。使用するには大学カードが必要で洗剤なども持参しなければいけません。私たちの部屋は2階、3階、4階それぞれの両端の部屋でした。通常は1人部屋でしたが、両端の部屋のみ5人での共同ルームとなっており、入口の扉を開けると5つのそれぞれの部屋、共同で使うお風呂、トイレ、キッチン、冷蔵庫などがありました。僕たち以外の他の4部屋にもルームメイトがいて、共同ルームの設備の使い方を教えてもらったり、一緒に夕食を食べたりしました。一緒に松山大学から来た他の生徒たちの共同ルームではルームメイトがすでに帰省してしまっていたり、旅行などへ行っていたり、元からだれも住んでいなかったりもしました。中にはルームメイトが誰もいない生徒もいました。服装は8月前半は30度を超えたりするため、夏の服装で過ごし、8月後半は20度ほどまで下がったため薄めの長袖でも生活することができました。食事は朝と夜は自炊でバーガーを作ったりパスタを作ったりして、お昼はフライブルク大学の学食を利用しました。

STUDY ABROAD DATE

- 都市名：フライブルク
 - 研修期間：2018年8/3～8/28【26日間】
 - 宿泊形態：寮
 - 費用概算
- | | |
|---------|----------|
| ＜必要な経費＞ | |
| ・研修費 | 88,000円 |
| ・旅費 | 207,000円 |
| ・宿泊費 | 20,000円 |
| ・食費 | 26,000円 |
| ・現地交通費 | 28,000円 |
| ・その他 | 39,000円 |
| ＜合計＞ | 408,000円 |



思い出スナップ



ノイシュバンシュタイン城▼



▲チョコレート博物館

休日・余暇の過ごし方

中心街のショッピングモールを満喫。

平日は午前中まで授業があり、基本的に午後は自由時間でした。午後の自由な時間のうちに朝食、夕食のための食材の買い出しやフライブルク市の観光などを行いました。基本的には最寄りのスーパーマーケットへ行きました。日によってはフライブルク市の中心街にある大きなスーパーマーケットへ行って寮の近くのスーパーマーケットにはないような商品を買ったりもしました。僕は主にパスタなどを作っていたので、様々な野菜や肉を買っていろいろ試しました。日本にはないいろいろな食材が置いてあるので、食材の買い物だけでなく新鮮さを感じました。同じ買い物でいうと、フライブルク市の中心街にはたくさん大きなお店やショッピングモールがあり、平日の学校の後や、休日に行くとずっと満喫することができました。女の子たちはデパートでコスメを見たり、日本にはないブランドの服を見たりしていました。僕も基本的に女の子たちと一緒に行動していたので、一緒のところを見て回りましたが、男の子でもたくさん楽しむことができました。また、アイスクリーム屋さんが多くあったのでいろんなお店のアイスを食べ回りました。



▲寮

得たもの・学んだもの

ドイツ語の上達や異文化を学ぶことができた。

この研修で僕は語学力はもちろん、異国の友達や異国の文化、食事などを学んだ。自分はドイツ語の上達と実際にドイツの生活はどのようなものなのかを知るためにこの留学プログラムに参加しました。最初はドイツ語のレベルもそこまで高くなく、ドイツに対しての知識も少なかったため、かなり不安でした。しかし、一緒に行ったメンバーや、ルームメイト、同じクラスの子たちの支えもあって、自分から積極的に行動することができ、様々なことを学んで帰ることができました。例えば、僕は日本は先進国だから、公共交通機関や、カード社会などはドイツはそこまで進んでいないだろうと思っていましたが、実際は、電車やバスも大手の会社のものでほとんど時間通りに来て、大半のお店がカードを使えるようになっていました。実際に行ってみないとわからないこともたくさんあるんだと思いました。

後輩へのアドバイス!

8月後半は上着と長袖が必要。

服装の面になるんですが、僕たちの出発前に先輩から、ドイツは8月後半になると寒くなるから上着や長袖の服などを持って行ったほうがいいよと言われていました。僕は最初それを聞いて寒くなるのはいいけど長袖まではいらないうらなうと思いましたが、長袖の服は持っていかず、上着も薄めのものを一枚だけ持って行きました。8月前半は日本と同じで気温は30度くらいまで上昇し、逆に、湿度は全くなく、日陰に入ると涼しいと感じるほどでした。そのため、ほとんどの時期を半袖で過ごすことができました。しかし、8月後半になると、だんだんと気温が下がってきて、20度くらいまで下がってきました。すごく涼しく、快適でしたが、やはり半袖では厳しかったです。行ってみないと実感することはできませんが、上着と長袖を持っていくことは大事だと感じました。



街並み▶

もう一言!

概念を捨てて自分の可能性を広げよう。

今回の研修で、ドイツの様々な面を知ることができ、また自分のドイツ語の語学力を高めることができました。第2言語として学んでいただけのドイツ語に関して、自分の可能性を大きく広げることができました。自分は英語英米文学科なのでどうしても自分の頭の中に英語を勉強しなければならぬという概念が常にありました。しかし今回の留学を経て、ドイツのいろいろなことを知り、実際に将来ドイツで生活がしたいと思いました。そのうえで、英語を勉強することもドイツで生活するうえで必要となってくるうえに、自分の好きなドイツ語も勉強することで、今自分がしていることが、将来の自分に生きてくというふうにも実感しました。今まで自分は将来何がしたいのかと考えていましたが、今回のドイツへの留学を経て、ようやく自分の目標を見つけることができました。



▲キシュトルテ

概要

申込み

受講許可後
(事前準備)

留学中及び
研修後の手続き

研修報告書
短期語学研修講座

研修報告書
長期英語研修講座

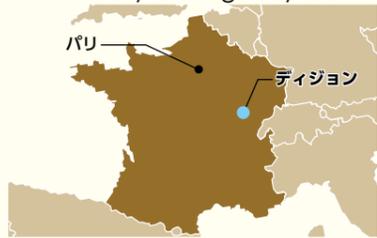
研修報告書
学生海外語学研修
助成制度(春季・夏季)

研修報告書
派遣留学制度

フランス

ブルゴーニュ大学 フランス語研究国際センター

University of Burgundy Centre International d'Etudes Françaises



人文学部
英語英米文学科
卒業生
松浦 悠



Haruka Matsuura

STUDY ABROAD DATE

- 都市名：ディジョン
 - 研修期間：2015年8/24～9/11【19日間】
 - 宿泊形態：寮
 - 費用概算
- | | |
|------------------|----------|
| ＜必要な経費＞ | |
| ・研修費(滞在費含む)..... | 430,000円 |
| ・食費..... | 30,000円 |
| ・交通費..... | 6,000円 |
| ・その他..... | 90,000円 |
| ＜合計＞ | 556,000円 |



思い出スナップ

トラム▶



▲Lyon旧市街 ▲2Bクラス

研修機関や授業

優しい先生で、気軽に質問することが出来た。

ブルゴーニュ大学は1つ1つの校舎が大きく敷地は広がったです。寮から大学までトラム(市内電車のようなもの)を利用しましたが、大学内に駅があるので便利に感じたと共に、感動しました。初日にクラス分けのためのレベルチェックテストを2時間ほど行いました。テストはかなり難しく、終わった人から退席可能でしたが、ほとんどの人が終了時間まで解答していました。文法問題があまり出題されなかったため、文法重視で勉強をする日本人にとっては苦戦する試験だったように思います。長文読解やリスニング、作文などが出題されました。クラスは1人の先生が毎日ずっと授業を担当してくれる形でした。辞書は禁止で、そのかわり分からない単語や表現があれば先生に質問し、こちらが理解するまで丁寧に教えてくれました。すごく優しい先生で、気軽に質問することが出来ました。4技能万遍なく学ぶことが出来ました。クラスには夏休みということもあって、日本人がほとんどの割合を占めていました。ほかにもブラジル人や、台湾人、ナイジェリア人のクラスメイトがいました。授業が開始されてから3日くらいで、先生がクラス替えをした方がよさそうな生徒には(上げる場合も下げる場合も)提案をしていました。

衣・食・住

カフェなどで昼からお酒を飲むことが出来る。

寮は過ごしやすく快適でした。1階に皆が集まれる場所があり、涼しい日は中庭に出て過ごすこともありました。部屋には冷蔵庫、シャワー、トイレが備わっており、台所だけが階ごとに共有でした。昨年イギリスに同じ時期に滞在したときに寒かった記憶があり、今回長袖を多く持っていきましたが、最初の1週間は30度前後で暑くて失敗したなと思いました。しかし2週目からはやはり冷え込んだので、半袖と羽織るパーカーやカーディガンを持っていくのがベストだと思いました。朝は日本から持って行った白ご飯を温めて食べたり、現地で購入したシリアルを食べたりしました。昼は学食に行きました。夜はスーパーで美味しそうなものがあれば購入していましたが食べない日もありました。毎日料理をしっかりしている他大学の生徒もいましたが、私や私の友人はあまり食費や調味料などにお金をかけたくなかったのと、料理に時間をとられなくなかったので簡単に済ませていました。フランスの料理はおいしかったです。またカフェなどで昼からお酒を飲むことが出来ることに贅沢さを感じました。モノコという真っ赤なビールは甘くて飲みやすいのでおすすめです。



モノコ▲

休日・余暇の過ごし方

買い物をしたりカフェを満喫。

平日の学校が終わってからは、最初の1週間くらいは日本の他大学で出来た友達と外出していました。学校から少し遠いですが、Darcyという駅でトラムを降りて買い物をしたりカフェを満喫しました。ショッピング街のような感じで毎日賑わっていました。寮の近くにあるスーパーにない食材などは、Darcyにあるmonoprix(モノプリ)という少し大きめのスーパーで買っていました。休日はDijonから出てParisやLyonやBeauneに行きました。他大学の友達は泊りしていましたが、私はすべて日帰りの旅行にしました。大きな都市に行くときは財布を持って行かず、封筒に現金を入れたり、パスポートはコピーを持って行ったり、るぶを広げるときは、本を持っている人を残りの人が囲って守るようにしたり十分注意しました。謎な署名活動など、観光名所では怪しい人たちもいました。アジア人はわりと少なく目立つので声をかけられやすかったです。皆で注意しながらもたくさんの観光をすることが出来ました。Lyonはるぶに載っているすべての名所を回ることが可能でした。また日曜日は飲食店以外はすべてお休みになるので日曜日にお土産を買うことは出来ません。買い物は放課後か土曜日に計画することをおすすめします。

得たもの・学んだもの

毎日知らない単語や表現に出会えた。

第2言語でしか勉強していないフランス語だったので、毎日知らない単語や表現に出会いました。ほとんどのクラスメイトが日本人でしたが、彼女らはフランス語学科など、専門で勉強している人たちだったので、逆に彼女たちよりもたくさん勉強してやろうという強い気持ちで毎日授業に臨みました。たくさんのお新出単語が出てくるのですごく楽しく、毎日の授業はあっという間でした。フランスに行く2か月くらい前から、フランス語で日記をつけていました。いろんな表現を知ることが出来て、留学前にやっておいてよかったなと心から思います。授業ではノート丸々1冊使い切るほど書き込みをしました。フランスが恋愛にオープンな国であることは既知でしたが現地に行って強くそれを実感しました。広場でダンスを踊ったり、パートナーに呼ぶ愛称がたくさんあったり、日本とは違う文化を楽しむことが出来ました。



▲フランスパン

後輩へのアドバイス!

学食はクレジットが使えず必ず現金で支払い。

るぶは観光する際に必須です。メトロの駅など詳しく記載されているのでどこで降りたらいいのかがわかりやすいです。支払いは基本的にカードで行っていました。学食はブルゴーニュ大学の生徒であれば、メイン、デザート、前菜の3つで一律3.25ユーロですが、クレジットが使えず必ず現金での支払いでした。そのためお札を学食で崩し、自動販売機で飲み物を購入するときや、寮内のコインランドリーを利用するときのためにコインをある程度ためていました。コインランドリーは洗濯で3ユーロ、乾燥で2ユーロ必要になります。私は同じ寮にいる仲良くなった友達と日にちを決めて5日に1回くらいの間隔で一緒に洗濯していました。洗濯機も乾燥機も大きめであることと、お金を節約することから誰かとシェアすることをおすすめします。洗剤は現地でも購入できますが、日本の洗剤を使いたかったため持参しました。

もう一言!

ポケットWi-Fiを持参することを強くおすすめ。

最初の方は色々な場所に行ったりして帰ったら宿題をして寝るという生活のリズムでしたが、だんだんと慣れてきて落ち着くと寮で過ごす時間が多くなります。私は他の国に留学をしたときに毎回勉強道具を持参するにもかかわらず1回も問題集を開けないまま帰国していたので、フランスに行く際荷物を減らすべく、何も持っていきませんでした。しかし寮で暇な時間が出来た時することがなくて困りました。他大学の友人で仏検の問題集を持ってきて毎日一生懸命勉強しているのを見ていたら、自分も持って来たらよかったなと感じました。何かフランス語を勉強するための問題集を持参すべきだと思いました。学校では基本的にWi-Fiが通らないので、個人でポケットWi-Fiを持参することを強くおすすめします。数人で共有していましたがすぐに速度制限がかかってしまいあまり使えませんでした。



◀有名なディジョンマスタード

中国

上海财经大学国際文化交流学院

Shanghai University of Finance and Economics
International Cultural Exchange School



法学部 法学科
2年次生(研修時)
浮田 沙綺恵
Sakie Ukita



STUDY ABROAD DATE

- 都市名：上海
- 研修期間：2018年2/26～3/16【19日間】
- 宿泊形態：寮
- 費用概算
- <必要な経費>
- ・研修費(滞在費含む)……157,000円
- ・渡航準備・査証取得費……55,000円
- ・食費……7,000円
- ・交通費……6,000円
- ・通信費……4,000円
- ・その他……25,000円
- <合計> **254,000円**



▼上海動物園のパンダ



▲上海财经大学



▲元宵節の豫園

研修機関や授業

中国語だけでなく英語の準備も必要。

クラスは初級の1、2、3に分けられ、授業はReading、Listening、Speakingで構成されています。私は初級2を实际を受けて、Reading、Listeningは中国語検定の4級、3級レベルで、比較的簡単だと思いました。しかし、Speakingは、実際の会話のシチュエーションを想定して実演するなど、日本ではあまりやったことのない授業に最初は苦戦しました。クラスは、はじめの1週間は変更ができます。Readingの授業は簡単でも、Speaking、Listeningの授業が難しいと感じるようなら、Listening、Speakingのレベルに合わせてクラスを変更するのが良いのではないかと思います。授業は100分(授業45分+休憩10分+授業45分)で比較的ゆっくりと進みます。どの授業も頻繁にあてられるので、事前に読めない単語などは予習しておくことと安心です。授業では、先生が中国語で説明した後、英語でも説明がなされます。私は英語が苦手だったので、中国語の説明の方が楽に感じました。しかし、クラスの人はほとんど英語で交流するので、英語の大切さを改めて実感しました。英語が話せないとクラスメイトと上手く会話ができず、もどかしさを感じると思います。もし、たくさんのクラスメイトと交流をしたいと思って留学をする人は、簡単な聞き取りと、相槌がうてるだけでもいいので絶対英語を話せる準備をしていくべきです。中国語だけでなく英語の準備もしておく、留学がもっと意味のあるものになると思います。

衣・食・住

綺麗好きな人は衛生用品を多めに準備。

中国の生活で一番覚悟しておかなければならないことは、空気や水、道などが汚いということです。最初のうちは臭いがかかり気になりました。綺麗好きな人はマスクを着用する、除菌のウェットティッシュを多めに持参するなど万全の準備をすることが良いと思います。食事は、中華料理独特の味付けや脂っこさに合う場合、合わない場合や飽きてしまったり、たくさん食べられなかったりすることがあります。日本からフリーズドライのスープやパックご飯などを持参しておく、朝ごはんや小腹のすいたときに食べることができるので便利です。最初は中華料理の豊富なバリエーションに夢中になりましたが、1週間もたないうちに白いご飯が恋しくなりました。大学近くの地下鉄の構内には、すき家や味千ラーメンなど日本の飲食店もあるので、毎日、中華料理ではしんどい時には、日本の味を食べるのも良いと思います。日本の飲食店でも日本にはない現地ならではのオリジナルメニューもあるので必見です。服は、中に着る服を5着、上に着るセーターなどを3着くらい持っていきまし。洗濯を何日に1回するか計算して自分に必要な量を持っていくのが最適です。ファブリーズなど消臭スプレーも非常に便利です。上海の服はたいして安くはないので、現地で調達するのはあまりお勧めしませんが、もし現地で購入場合はあらかじめ先生に安い店を聞いておくのが良いと思います。



▲雷峰塔

休日・余暇の過ごし方

交通カードを作ってチャージしておくのが便利。

休日はなるべく午前中に移動するように計画を立てていました。午後に移動する計画を立てると、地下鉄が異常に混んでいて思い通りに回れなかったり、疲れが次の日に残ったりしてしまいます。最初の1週間の平日は、授業の準備や近くの観光、生活に必要なものの買い出しがメインでした。その後は、遠い場所での観光の計画を立てました。計画を立てる際は天気を考慮しつつ、予定を入れ過ぎないようにするのがポイントです。予定を入れ過ぎてしまうと、行けなかったときに達成感が得られないし、休養する日も必要です。移動手段としては地下鉄やバスが最適です。上海の地下鉄は路線が色分けされており、車体に路線番号も書かれているので、分かりやすいです。最初に交通カードを作ってチャージしておく、地下鉄でもバスでも使えるのでとても便利です。ただ、最初に大きい金額を入れないとお金が余って勿体ないし、結構な金額を入れていて落としてしまった人もいたので、こまめにチャージするのが良いと思います。また、上海の乗り換え検索アプリ、「百度地図」を事前に入れておくことで移動がスムーズにできます。しかし、中国ではGoogleが使えないのでAndroidを使っている人は、予め日本でアプリを入れておくのがいいでしょう。

得たもの・学んだもの

意思疎通を図るためにあきらめないことが大切。

日本語が全く通じない環境でどのように言いたいことを伝えるか、意思疎通を図るかということの大変さを身に染みて感じました。私は、英語も話せないし、中国語も聞き取れないのではないかと考えていたのですが、伝えようとする意思を持っている限り、コミュニケーションは取れるということが分かり自信になりました。日本に比べると、正しい文法なのか、発音はあっているのかなどが気になり、思い切って中国語を話すことができませんでした。しかし、実際に上海に行ってみると、正しい文法か否か気にすることは全くありませんでした。大切なのは、今自分の目の前にいる人との会話であり、なるべく沈黙しないように心掛けました。最初の2、3日は、中国語が聞き取れなくて慌てふためきましたが、すぐに聞き取れれば、もう一度ゆっくり話してもらえばいいだけだと気づきました。日本で中国語の授業を受けているときは、言葉が出てこなくても誰かがフォローしてくれるだろうと思い、中国語を話すのをあきらめてしまっていたのですが、誰も助けてくれる人がいないからこそ、自分自身で乗り越えていくうちにあきらめないことの大切さを実感しました。



▲中華料理

後輩へのアドバイス!

無料通話アプリや海外用のWi-Fiの準備を。

留学では、中国語の勉強はもちろん、観光もしっかりするのが良いと思います。授業とは別に実際に中国語に触れることで気づくことも多くあります。上海の観光地を知るには、「地球の歩き方 上海」が良いです。観光名所からグルメ、ショッピングなどを網羅していて事前に調べしておくことと良いと思います。上海の地下鉄の路線図、研修旅行でいく都市の地下鉄の路線図なども事前に用意しておくことと安心です。また、中国語の一言会話集や「百度翻訳」など翻訳アプリを入れておくと、分からない言葉に遭遇したときに活用できます。全体の検索アプリとしては「百度」が実用的です。Yahoo!が使えると聞いていたのですが、実際に中国に行ってみると、Yahoo!ニュースは閲覧できても、検索エンジンが使えないという不具合がありました。特に、Google、Gmail、Googleplayなどは使えないので、注意が必要です。さらに、LINEやTwitterも使えないので、事前に「Yahoo!mail」や「ウィチャット(微信)」という無料通話アプリを入れておく必要があります。大学の外に出る時は、Wi-Fiが必要になるといいます。何人かで1台をレンタルするとお金を節約できます。海外用のWi-Fiでは「ワイホー」が一番安いし、使いやすかったのをお勧めです。

もう一言!

中国語で数字を読むことに慣れておこう。

中国で日用品を買うには「龍之夢」の中にあるカルフルが安く何でも揃うのでお勧めです。歩いて近いし、地下鉄ではひとりで乗れます。買い物の際は、中国ではお金の種類が多い上に分かりにくいので、予めお金の種類を頭に入れてから買い物に行くのが良いと思います。お金の読み方も違うので注意が必要です。留学前から中国語で数字を読むことに慣れていると、実際に留学したときに楽に数字が聞きとることができます。必ずしも、購入した金額が画面に表示されたり、伝票を渡されたりするわけではないので、数字の聞き取りは重要です。観光地の土産物店では自分がどれだけ買い物したかを把握しておかないと、間違ったお釣りを渡されても気が付かないこともあります。また、豫園などの観光地では値引交渉してみるとかなり安く購入することができる場合があります。値札が貼られていない店などでは値引交渉しやすいように思いました。

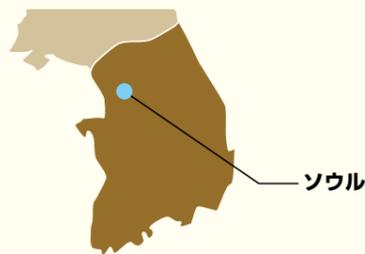


▲上海博物館

韓国

建国大学言語教育院

Konkuk University language education school



ソウル

人文学部
英語英米文学科
2年次生(研修時)
仲田 いずみ
Izumi Nakata



研修機関や授業

文法を重点にした授業で予習と復習が大切。

研修中は、建国大学語学教育院で韓国語の授業を受けました。韓国に行った3日目にクラス編成テストが行われました。テストは筆記と面接でした。筆記テストはTOPIK2～3級程度のもので、面接では主に留学中の目標について質問されました。クラスのレベルは、下から1～6クラスあって、私は4クラスでした。クラスメイトは日本人が多かったのですが、流暢に韓国語を話せる人が多く、最初はクラスのレベルが自分に合っているのか不安でした。授業では、文法に重点がおかれて行われました。その日の授業で習ったことは問題集を解いて繰り返し復習したので、覚えることが出来ました。毎回の授業で、習った文法を使いペアの子と会話文を作るというものもありました。私には、授業内容が少し難しく感じたので、授業の前日に分からない単語を調べるなどの予習をしていました。また、クラスの先生は、丁寧にゆっくりと喋ってくれたのでちゃんと理解することが出来ました。時間割は、午前中に授業があって、午後から文化研修が入る日もありました。文化研修ではロッテワールドや、ハンブル博物館に行きました。どの文化研修も楽しく、韓国の文化を学ぶ良い機会となりました。



▲望遠市場



▲野球場



衣・食・住

近くにスーパーやコンビニがあり便利。

建国大学内の学生寮で生活をしました。私は二人部屋で部屋もあまり広くはなかったのですが、Wi-Fiが設置されていたのが良かったです。シャンプーやドライヤーなどの現地で購入出来そうなものは荷物を軽くする為に日本から持って行きました。大学の近くにはスーパーやコンビニがあったので便利でした。韓国のスーパーは大容量で売られているものが多いので友達と一緒に買うようにしていました。毎回の食事は、寮では自炊が出来ないので友達と外食をしました。皆でシェアして食べたので値段もそれ程高くありませんでした。やはり、全体的に辛いものが多かったのですが、野菜が多くて、どれも私好みで美味しかったです。私は韓国料理が好きで日本でも良く食べていたので、和食がそれ程恋しくはなりません。また、韓国はコンビニと同じぐらいカフェが多いので放課後は涼しいカフェに行ってお喋りしたり、授業の復習をしていました。研修中、ソウルは毎日が猛暑日で、扇風機が手放せませんでした。熱中症対策の為にスポーツ飲料を飲むなど注意していました。

休日・余暇の過ごし方

松山大学でお世話をした韓国の学生と観光。

授業の無い時は、友達と一緒に服や日用品を買いに行ったり、地下鉄を使ってソウル市内を観光しました。研修中、連日猛暑日が続いて屋外に居るのは大変だったので、カフェなどの涼しい場所に行くこともありました。また、私は日本でコンピューターの活動をしていた時に仲良くなった、お兄さん、お姉さんと一緒に出掛けることが多かったです。美味しいご飯屋さん、カフェ、野球場、漫画カフェ、映画館などに連れて行ってもらいました。韓国の野球場は、今まで行ったことがなかったのでとても新鮮だったし、3回も行ったので最後は応援歌も少し覚えることが出来て一緒に応援出来たのが嬉しかったです。映画を観た時は、韓国語を理解出来るのか心配でしたが、耳が慣れてきていたのか大体は理解できたので楽しく観ることが出来ました。また、ナミソンという少し遠い郊外に連れて行って貰ってバーベキューをしたり、のんびりと過ごしたのも良かったです。1人だったら、場所を探すのも時間がかかって大変だったと思うので、優しいお兄さん、お姉さんが案内してくれて助かったし、韓国で再会出来たことが本当に嬉しかったです。

STUDY ABROAD DATE

- 都市名：ソウル
 - 研修期間：2018年8/3～8/21【19日間】
 - 宿泊形態：寮
 - 費用概算
<必要な経費>
- | | |
|-------------------|-----------------|
| ・研修費 | 178,871円 |
| ・旅費 | 67,190円 |
| ・食費 | 45,000円 |
| ・現地交通費 | 15,000円 |
| ・その他 | 32,840円 |
| <合計> | 338,901円 |



思い出スナップ

▼ロッテワールド



▲建国大学

得たもの・学んだもの

楽をするのではなく難しいことにも挑戦する気持ち。

最初は、4クラスが自分にとって少しレベルが高く、授業についていけるかどうか不安を感じたので、3クラスに下がろうかと悩みましたが、楽をするのではなく難しいことにも挑戦しないとけないと思ったので、授業で理解出来なかったところは、先生や韓国の友達に質問して解決し、自分で予習、復習をして遅れを取らないように頑張りました。毎回の授業はとても難しかったのですが、長文をスラスラと読んで理解出来たり、先生に褒められた時は嬉しかったし、達成感を感じました。また、研修中は、日本人の友達と居ることが多かったのですが、せっかく語学留学に来たのに、日本語だけを使って会話するのはもったいないと思ったので、分かる単語や言葉は、なるべく韓国語を使いました。今では、メールも韓国語を使ってすることが出来るようになったので嬉しいです。日本では大学でハングルの授業を受けるだけでなくチャットルームに積極的に参加したり、卒業するまでには必ずTOPIK 6級を取得することが出来るように勉強を続けていきたいと思いました。



▲トッポギとスンデ

後輩へのアドバイス!

日本で韓国の友達を沢山作っておいて欲しい。

授業のレベルが1～6まで幅広くあるのですが、大学でハングルの授業を履修している人は、松山大学では習わない専門的な文法や内容を勉強できる良いチャンスだと思うので、留学に行く前に自分でTOPIKやハングル検定の勉強をしてから行くことより良いと思います。勉強を1人で続けるのは自信が無いという人は、韓国ドラマを観たり、KPOPを聴いたりすると楽しいし、リスニング力が鍛えられると思います。私は、朝起きた時と寝る前に韓国のラジオを聴くようにしているのですが、ニュースなども流れるのでお勧めです。聴き流すだけでも全然違うと思います。また、クラスには日本人がほとんどなので、あまり韓国の人と仲良くなれる機会がありません。(トウミもあるのですが人によって会えるペースが違います。)なので、日本で韓国の友達を沢山作って欲しいです。松山大学にもチューター制度やハングルのチャットルームなどがあるので是非参加してみてください。

もう一言!

移動はタクシーより公共交通機関がお勧め。

韓国は日本と似ているところが多いし、気を付けることはあまりないと思うのですが、移動の際はタクシーより公共交通機関を使うことをお勧めします。地下鉄やバスは料金も高くないし、トラブルも発生しにくい。驚いたことが、地下鉄の中で商品を買ったり、座っていたら膝の上にお知らせの紙を置いてくる人がいることです。もし、話しかけて来ても、聞き流して無視したほうが安全だと思います。あと、韓国のバスは日本と比べてすごく揺れるのですが、すぐに慣れると思います。Tmoneyカードを作って是非利用してみてください。食事の面で、私は大丈夫だったのですが、和食が恋しくなっている人もいます。寮では、自炊が出来ないのですが、お湯は利用出来るので、日本からインスタント食品を持って行くのもいいかなと思います。服は、沢山持って行かなくても、韓国には安くて良いものが多いので買って下され。



▲オンニとの交流

イギリス

カンタベリー クライスト チャーチ大学

Canterbury Christ Church University



ロンドン
カンタベリー

人文学部
英語英米文学科
3年次生(研修時)
井久保 浩輝
Koki Ikubo



STUDY ABROAD DATE

- 都市名：カンタベリー
 - 研修期間：2017年4/18～12/15【約8ヶ月間】
 - 宿泊形態：ホームステイ
 - 費用概算
<必要な経費>
- | | |
|-------------------|-------------------|
| ・渡航費 | 284,000円 |
| ・授業料・滞在費 | 1,765,000円 |
| ・保険料(個人加入分) | 90,000円 |
| ・渡航準備・査証取得費 | 91,000円 |
| ・食費 | 200,000円 |
| ・その他 | 143,000円 |
| <合計> | 2,573,000円 |



思い出スナップ



▲ゼミの先生のご両親を訪ねて



▲Japanese Society

研修機関や授業

自分にあったクラスで楽しんで英語を学べた。

学校は朝の9時から午後3時までであり、朝休憩30分、お昼休憩は1時間あります。1限目の授業は教科書を使って単語、文法を学び、2限目はイギリスの歴史や文学などのトピックを先生が用意してくれます。午後の授業は曜日毎に Speaking, Reading, Writing, Listening に集中して学ぶことができ、IELTS のクラスも希望することが出来ます。私は途中から IELTS のクラスを選びました。IELTS のクラスでは模擬テストの練習をするので、TOEIC 対策や、英検の練習にもなります。私はそのおかげで、ロンドンで英検準1級に受かりました。クラスは少人数12人程度で、レベル別に分けられます。始めに受けるテストによって分けられるのですが、私の時は、将来の夢について作文を書いたのと、面接では大学生活について聞かれました。クラスに不満があればクラス替えも出来ます。私の場合、初め Upper intermediate にいたのですが、授業が遅く感じたので、一番上の Advanced に変えてもらいました。先生は優しく熱心で、ユーモアのある授業なので、楽しんで英語を学ぶことが出来、英語力が上がりました。



▲初ロンドン

衣・食・住

ホームステイ先は、事前に希望を伝えた。

私は8か月間ホームステイをしました。なぜかという、英語を話す機会を増やしたかったのと、イギリス人の生活を体験したかったからです。そして、実際にイギリスと日本の家から、生活習慣の違いまで知ることが出来たし、ホストマザーとは家族と言えるくらいまで仲良くなりました。Catering Level は Bed & Breakfast+Kitchen を選びました。なので、夕食は自炊か外食をしなければならなかったのですが、自炊中心でホストマザーが夕食をくれる時もお金を節約することが出来ました。カンタベリーにはアジアの食材を売っている店もあるので日本食も作ることが出来ます。ホームステイで夕食つきを選んだ友達は夜7時頃の夕食のため家に帰っていたので、夜出かけた時は少し不便かもしれませんが、ホストファミリーによって、あまり会話をしない家族もあったり、ルールに厳しい所もありますが、ホームステイの生活を決めるのは自分次第です。ホームステイを決める際、家族構成、ペットがいる所、家族のように扱ってくれる所など、自分の希望に沿った家族を事前に絞ることが出来るので、快適にイギリス生活を楽しめると思います。



▲Lovely host family

休日・余暇の過ごし方

ロンドンへの観光や、Global Caféなどに参加。

私はロンドンに10回以上行きました。カンタベリーからロンドンへはバスで1時間で行けます。ロンドンには観光スポットがたくさんあるので、1回では回り切れません。また、マーケットも週末にはやっているのでお土産や、イギリスの骨董品を買いたい人にはお勧めです。それ以外はパブ、クラブや Global Café というインターナショナルスチューデントが集まる所へ行きました。Global Café は毎週土曜日午後7時からあり、会話を楽しんだり、日によってイベント、旅行に行くこともあります。主にキリスト教徒の人達が主催しているのですが、キリスト教を勧められることもなく、外国の友達を作るのにはいい場所でした。6月には2週間の休みがあります。私はこの2週間ホストマザーのガーデニングを手伝い、どこへも旅行に行かなかったのですが、ヨーロッパを回れるチャンスです。Airbnb という個人が宿泊部屋を貸すサイトがあります。これを使えば、安く泊まれることが出来るし、現地の人も交流することが出来ます。私は1回使って、シェアハウスに泊まりましたが、宿泊代1日15ポンドくらいで、ルームメイトとも仲良くまりました。

得たもの・学んだもの

間違っても自分の考えを言うことが大切。

英語力はもちろん、自分に自信が付き、何事にも、もっと積極的になりました。イギリスではディベート、プレゼンテーションをする機会が多かったです。日本では反対意見や、少し違ったことを言うと周りから批判されたりしますが、イギリスでは反対です。初めは、英語を話す自信がなく、思うように話せませんでした。何も言わないよりも、間違っても、とにかく何かを言うことが大事とディベートをするたびに学びました。私は周りと違ってもいいということに気が付き、自分の思ったことは正直に言えるようになり、疑問に思った事はすぐ聞くようになりました。また、健康に気を付けるようになりました。日本食は体にいいせいか、日本にいる間は健康について1回も考えたことがなかったのですが、イギリスでは健康についての話をよく聞きました。私自身も、イギリスにいる間、揚げ物を摂ることが多くイギリス料理はレポートリーが少ないことに気が付きました。将来をいろいろな方向からもっと意識するようになり、食生活も気を付けようと思うようになりました。



▲フリケット初体験

後輩へのアドバイス!

ネイティブが話す英語を学ぶ。

留学中に英語のスピーキングの伸びで悩むかもしれません。しかし、スピーキング、リスニングはイギリスにいて自然に上がるので気にしないでいいです。でも、リーディング、ライティングはそうはいきません。なので、洋書を読んだり、英語で日記をつけたりする習慣をつけたいと思います。教科書の英語は Controlled English といって、文法や表現を教えるように作られていて、ネイティブが話すような英語ではありません。なので、普段から英字新聞や記事、本などネイティブように作られたものを読むと教科書の英語は簡単を感じるし、もっと英語力を伸ばせると思います。また、ライティングも大切です。ライティングはアウトプットの点でスピーキングと似ているので、スピーキング能力も上げることが出来るし、単語や文法を実際を使って使い方の確認も出来ます。継続力をつけるという意味でも読書、日記を書いてみるのもいいかもしれません。



▲The British Museum にて

もう一言!

自分なりの成長方法を見つける。

Christ Church 語学学校は日本の生徒が多いです。英語しか話したくないという人にはお勧めしません。私もそれが嫌で、初め日本人を避けていましたが、途中から人と人との出会いを大切にしようと思い、話してみると優しいし、面白い、国籍、年齢関係なく話すこと自体が楽しく感じるようになりました。今では、日本全国に友達を作ることが出来ました。また、私は日本語と英語の頭の切り替えの大切さにも気付きました。日本人である以上、日本語は話さないといけません。私はこのまま英語しか話さなかったら、逆に日本に帰った後、直ぐに自分の英語を失うと思いはじめました。なので、ひたすら友達と話す中で、日本語と英語を話す相手によって交互に使い分け、練習をしました。そして、さらに英語力が定着、向上することが出来ました。留学を通して得られるものは、自分の姿勢が変わってきます。この機会に自分だけの留学を体験し、自分なりの成長を遂げてみてはどうでしょうか。

カナダ

ビクトリア大学

University of Victoria



人文学部
英語英米文学科
3年次生(研修時)
三好 裕大
Yudai Miyoshi

研修機関や授業

週1回のプレゼンテーションで英語力をつける。

ビクトリア大学は松山大学と比べ物にならないくらい非常に広いキャンパスになっています。なにより私が一番気に入ったポイントはキャンパスが多数の木に囲まれていて、天気の良い日には友達とピクニック感覚で芝生でお昼寝などもできたりしたこと。私が受講したプログラムでは初日にプレイメントテストが行われ自分の英語力にあったクラスに分かれ、会話を中心とした授業が行われます。授業時間は午前クラスと午後クラスがあり自分で選択をすることができません。あとなぜかは分かりませんが日本人比率は非常に高かったです。どのクラスでも日本人は最低3人はいる程でした。ですが、そこでいかに他の国の人と関わっていくのか自分の行動力が問われたと思います。授業は主に2種類でメインクラスとelectiveクラスがあり週1回だけelectiveクラスがあります。授業内容としてはネイティブが使う生きた英語を4技能全てを用いて展開されています。特にプレゼンテーションが毎週1回くらいのペースで課題として出されるので慣れていない人に関しては自分の力に繋がると感じます。毎日課題も出され、毎日家、または図書館などを利用しての勉強が必要です。

衣・食・住

ホームステイ先のお父さんの手料理が楽しみに。

まずビクトリアの気温と気候ですが、比較的暖かいですが、10月に入ると急に寒くなったなと感じていました。雨は3か月でほとんど降らなかったです。降ったとしても一日中降ることは少なかったです。日本と比べて非常に乾燥しているので、ハンドクリームなどは必需品だと思います。雨季は現地の人によると2週間、その時期だけ折り畳み傘やwaterproofのジャケットがよいと思います。私のホームステイ先では子供2人を含め4人家族でした。毎週日曜日は、カナダ人では珍しいアメリカンフットボールの試合を観戦していました。食に関しては毎日、お父さんが非常においしい料理を作って下さり、毎日supperの時間が楽しみでした。中でも、日本とは少し違う種類のカボチャを使ったスープが一番でした。家に関しては、2階建てで各部屋には、電気ヒーターなどがあり快適に暖かく、快適でした。洗濯は基本的に週1回でしていました。シャワーなどの時間はビクトリア大学のホームステイ規約により22時までのためそこは注意が必要です。ですが3か月生活をしていく中でカナダ人のリアルな生活を体験することができ、貴重な思い出になりました。



▲友人とスケート

STUDY ABROAD DATE

- 都市名：ビクトリア
 - 研修期間：2018年9/7～12/7【約3ヶ月間】
 - 宿泊形態：ホームステイ
 - 費用概算
- | | |
|---------|----------|
| ＜必要な経費＞ | |
| ・研修費 | 75,000円 |
| ・旅費 | 216,000円 |
| ・宿泊費 | 288,000円 |
| ・食費 | 54,000円 |
| ・交通費 | 30,000円 |
| ・その他 | 63,884円 |
| ＜合計＞ | 726,884円 |



思い出スナップ



▲ドイツ人の友達と城探索



▲UVICの学生とハイキング

得たもの・学んだもの

日本のことを勉強していないと説明できない。

私 はこれが二度目の英語圏の留学でした。前は大都市であるトロントに行っていました。ビクトリアではまずバスが時間通りに来ません。その点はいかに日本が優れている事がわかりました。あと一番学んだことでは、日本のことを知っているようで全く知らないんだなと感じました。特に歴史であったり政治面であったりヘルスケアシステムなどいろいろなことを聞かれても知識不足でうまく説明できない面が多数ありました。もう一つ得られたのは、語学面だけではなく、国籍豊かな友達がたくさんで、もっと英語だけではなくもう一つの言語にも挑戦したくなったことです。友達が各国にいて、政治にも、もっとフォーカスもでき言語面でももっと飛躍できる様になると感じました。今回の留学でネイティブと対等に話すにはまだまだ勉強が足りないと感じたのでバネにして頑張りたいと思いました。



▲友達とdinner

後輩へのアドバイス!

聞き取れない言葉は遠慮せずに聞き返そう。

長期留学する人はキャッシュパスポートを持っていくと本当に便利です。チップや、キャッシュなど行く場合は、いざというときに現金が必要になったりしたので、クレジットカードプラスで持っていき便利で安心だと思います。洗濯ネットもとても役に立ちました。カナダは特に洗濯機と乾燥機が家にあり服がダメになった人もいました。私も乾燥機にそのままジャケットをかけるとファスナー部分が2回壊れました。洗濯ネットを持って行って損はないと思います。留学中絶対やるべきことは、聞き取れなければ絶対に聞き返すことが大事だと思います。分からないまま流してしまわずと分からないままになってしまい自分の力にならないと思います。そしてわからない単語が絶対出て来ると感じます。携帯はみんな持っていると思うので、携帯にメモして家に帰って意味を調べ覚えて実際に使ってみようと思うと、とてもいい勉強になると感じます。

もう一言!

留学は楽しく自分を成長させてくれる。

大学生生活は長いようであつという間に過ぎます。大学生でしかできないこと、留学がそのうちのひとつだと思います。大学生活全然と過ごすより目標を立てると、4年間でいろいろな挑戦できると思います。もし何かの言語が好きで勉強しているのであれば、留学は想像しているものより楽しく、自分を成長させてくれるものであると思います。それだけではなく、留学後も新たな目標が絶対できると思います。言語ができなくても自信を持って、一歩踏み出すことが一番大事だと思います。もし大学に入ったけれど、目標もやりたいことも見つからない人は特に留学してみるのも一つの手段だと思います。もし長期留学は金銭的にもきついと感じるのであれば、松山大学では助成金制度で奨学金として利用できると思います。英語だとカナダはアメリカより安く治安も比較的いいと思います。カナダに滞在すると研修期間の祝日を利用しての旅行でアメリカにもいけます。個人的にオススメです。



▲メキシコバージョンのハロウィン

カナダ

ビクトリア大学

University of Victoria



人文学部
英語英米文学科
4年次生(研修時)
清家 拓也
Takuya Seike



研修機関や授業

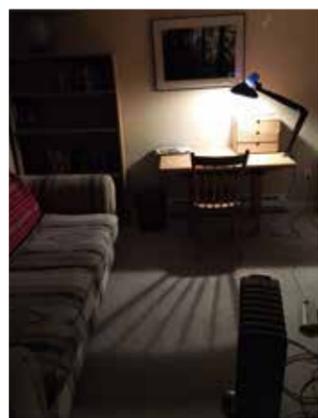
ディスカッション形式の授業で日常会話も学べる。

僕に通っていた学校はビクトリア大学の中にあるランゲージセンターでした。自然豊かで学校にはシカがいました。クラスは最初にテストを受けて、自分のレベルにあったクラスに振り分けられます。自分の入ったクラスは韓国人、中国人、タイ人、メキシコ人、日本人の17人でした。授業はディスカッション形式のものが多く、話す時間がとても多かったです。授業で学ぶ文法は日本ですでに学んでいたものが多かったのですが、わからない生徒にわかるように自分の言葉で説明したり、先生の英語を集中して聞き自分でも使えそうな表現があったときはメモしたりして、工夫して授業を受けていました。このクラスが通常のクラスで、このクラス以外に選択授業として1つか2つ授業を選ぶことができました。僕はそのほかにイディオムを学ぶクラスと会話表現を学ぶクラスを選択していました。特にイディオムクラスでは自分より上のクラスの人たちと同じ授業を受けることができたので刺激になりました。ネイティブの先生に普通の会話で使える表現を学ぶことができたのでよかったです。大学内には食堂やパブなどがあり、クラスの友達と授業終わりによく行っていました。

衣・食・住

10月になると一段と気温が下がる。

住んでいた家は地下、1階、2階のつくりになっていて、僕の部屋は地下にありました。部屋は一人で過ごすには十分なほどでした。僕が行った時期は冬でストーブを部屋においてくれたので寒さの心配はありませんでした。ご飯は、朝と昼は自分でキッチンにあるものを使って用意をし、晩御飯はホストが作ってくれたものを食べていました。日本では親がすべて用意してくれるので親のありがたみをここで感じました。僕の家では日本の米やインスタント麺を用意してくれていたのですが、日本食が恋しくなった時はそれを食べました。最初家に来た時に、ホストが嫌いな食べ物を知っていて、それは滞在中一度も出てこなかったのが留学に行こうと思う人は最初に嫌いなものを伝えておくといいかもしれません。気温は、9月はTシャツにパーカー程度で大丈夫でしたが、10月、11月になると気温が一気に下がりました。僕は冬用の服をあまり持って行ってなかったので現地で買いました。ビクトリアにはH&Mや古着屋があり、現地で安く手に入れることができます。天気はすぐに変わり天気予報はあてになりませんでした。雨もよく降るので、常に傘を持っていました。



◀ステイ先

STUDY ABROAD DATE

- 都市名：ビクトリア
 - 研修期間：2018年9/10～12/5【約3ヶ月間】
 - 宿泊形態：ホームステイ
 - 費用概算
- | | |
|---------|----------|
| ＜必要な経費＞ | |
| ・研修費 | 75,000円 |
| ・旅費 | 256,000円 |
| ・宿泊費 | 266,000円 |
| ・食費 | 50,000円 |
| ・交通費 | 21,000円 |
| ・その他 | 48,000円 |
| ＜合計＞ | 716,000円 |



思い出スナップ



▲Inner Harbour



▲パーティーにて

得たもの・学んだもの

積極的に発言して挑戦することを大切に。

この学校には様々な国の人がいるのでそれぞれの国の文化を学ぶことができました。授業では自分の国について説明したり、ほかの国と自分の国を比較したりしました。その中で、他の国の文化や、日本という国を客観的に見ることができ、海外に出ることによって日本をより知ることができました。これは日本にいたままだと、気づきにくいことだったと思います。また、挑戦することの大切さも学びました。授業ではどの生徒も積極的に発言をしていました。初めは間違っていたらどうしようという気持ちもありましたが、自分の殻を破り積極的に発言をしたり、グループディスカッションではできるだけ長い文を作って話すようにしたりと心がけました。そのおかげで授業にも積極的に臨むことができ楽しく授業ができました。日本ではできなかったことが、海外でできるようになって帰ってくることができたと思います。



▲ホストファミリーとルームメイトとの1枚



▲初めてのアイスホッケー観戦



▲友人と

後輩へのアドバイス!

後悔しないためにも事前に勉強を。

ビクトリアに来てから、もっと勉強しておくべきだったと後悔しました。特にリスニングと語彙に関しては思いました。クラス内でコミュニケーションをとるだけだと特に問題なく過ごせたのですが、ホストファミリーや上のクラスの人たちとの会話ではわからない言葉が出てきたり、会話のスピードが速くて聞き取れなかったりしました。前もってしっかり勉強してから来ると、より充実したものになると思います。また、4回生の最後に留学に行きたいけど就活や仕事の準備があって迷っている人もいます。僕は行くべきだと思います。海外での生活は刺激的で日々成長することができます。仕事を始めるとなかなか海外に3か月間住んで英語を勉強できることはないです。松山大学は勉強したい人にはほとんど勉強できるような制度やプランというのがたくさんあります。それを存分に生かして最後の大学生活を過ごすのもいいと思います。

もう一言!

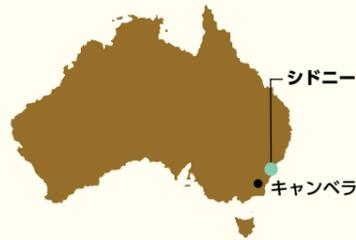
ポケットWi-Fiやエコバッグがあると便利。

持ち運び可能なWi-Fiは持って行ってよかったなと感じました。僕は3Gで1日250メガバイト使える3か月9,000円のプランを申し込みました。3GでもSNSで連絡を取り合ったり、バスの時間や場所をグーグルマップで調べたりするときはとても便利でした。留学にきてWi-Fiやシムフリーを使っていない人もいましたが、Wi-Fi環境下以外では少し不便そうでした。カナダに来てからでも空港やショッピングモールでシムフリーを買うことができるので現地で手に入れるのもいいと思います。それからエコバッグをもっていくことをお勧めします。カナダはゴミが出るのを抑えるために買い物袋を有料にしているところが多いです。そして、もらえたとしても持ち手のない袋が多く、僕は歩きで移動することが多かったので不便でした。通学カバンほかにエコバッグや小さなかばんを持っていくといいと思います。

オーストラリア

アクセス ランゲージ センター

Access Language Centre



人文学部
英語英米文学科
2年次生(研修時)
岡村 桜
Sakura Okamura



研修機関や授業

選べるコースで自分に合った勉強ができる。

私の行った語学学校は、シドニー最大の駅「セントラル駅」から徒歩5分もかからないところに位置することもあり、家が遠く交通機関を使って通学する生徒にもアクセスが容易でした。また、学校を終え少し遠いところへ遊びに行きたい時でも大変便利でした。登校初日ではリーディング、ライティング、スピーキングのテストが行われ、その翌日にクラスを分けられました。私は5段階あるうちの3番目のコースに入りましたが、アジアをはじめ、ヨーロッパ、南米からも来ている生徒が多く、様々な国籍を持つ生徒たちと楽しく英語を学ぶことができました。学校では、午前の途中に10分の休憩を挟みながら合計3時間の文法を中心とした授業をしたあと、午後にはクラスが変わり、グループワークを中心とした授業が最大2時間ありました。午前の担当の先生は、文法を教えながらも英語で会話することにも重点を置いて、文法だけでなくスピーキング力も磨くことができました。午後は選ぶコースによって授業時間が1時間か2時間か選ぶことができ、自分に合った英語の勉強ができました。また、クラスのメンバーが変わることもあり、たくさんの友達を作ることができました。



▲ホストブラザー6歳の誕生日！

衣・食・住

変わりやすい天候なので薄めの上着を。

オーストラリアの2月は真夏で、1年のうちで最も気温が高い月です。しかし日本のような蒸し暑さはなく、カラッとしていてとても過ごしやすかったです。また、天候がよく変わりやすく、晴れて暑いと感じていても少し経つと曇って肌寒くなったりする為、いつも薄めの上着を携帯していました。レストランではイギリスの食べ物も多く、フィッシュアンドチップスなども食べることができました。その他にも様々な国のレストランがあり、学校でできた友達と一緒にその国の食べ物を楽しむことができました。オーストラリアは物価が高く、最初はとても驚きました。しかし、そのおかげで衝動買いに歯止めが掛かるため、余計なものを買って後悔することはないと思います。ホームステイ先は中国人のホストマザーとオーストラリア人のホストファーザー、その息子たち2人の4人家族でした。子供たちは気さくに話しかけてくれたり、一緒に遊んだりしてあっという間に家族に解け込むことができました。また、ホストファーザー・マザーからオーストラリアの歴史や名所について教えてもらったり、英語を上達させる方法をアドバイスしてもらったりと、英語の勉強だけでなく様々なことについて学ぶことができました。

STUDY ABROAD DATE

- 都市名：シドニー
 - 研修期間：2018年2/5～3/2【26日間】
 - 研修講座・コース名：General English Communication
 - 宿泊形態：ホームステイ
 - 費用概算
- | | |
|---------------|----------|
| ＜必要な経費＞ | |
| ・研修費(滞在費含む)…… | 492,620円 |
| ・食費…… | 28,000円 |
| ・交通費…… | 20,000円 |
| ・その他…… | 5,400円 |
| ＜合計＞ | 546,020円 |
| 助成金支給額…… | 400,000円 |
| 自己負担額…… | 146,020円 |



思い出スナップ

▼夜のダーリングハーバー



▼ボンダイビーチ



▲School excursion♪

得たもの・学んだもの

伝えようとする姿勢が大切だと学んだ。

1か月間という短い間で、どのように自分の英語力を伸ばすか、ということが自分の中の課題でした。生活をしていく中で、自分から積極的に相手とコミュニケーションを取らなければ力をつけられないことを痛感し、クラスメイトをはじめ様々な人と話すことを心がけました。積極的に英語で話していくうちに、ネイティブの人々のように話すことは難しいですが、まずは伝えようとする姿勢が大切だということを知りました。日々の勉強の積み重ねは重要ですが、その学んだことを活かすためには、勇気を出して言葉にすることも必要です。1か月間の研修を通して、その重要性について深く知ることができました。また、英語でしか言葉が通じない環境の中にあることで、自分の英語力の無さも痛感し、もっと努力しようと思うようになりました。日本に帰ってきてから自分の英語をどう伸ばしていか、よく考えることができるいい機会になったと思います。



▲中国の旧正月モードのハーバードブリッジ

後輩へのアドバイス!

会話のシミュレーションをしておこう。

私は、この研修を通して、周りが英語だけという環境になったからといって自然に英語を話せるようになるには何年かかるかを実感しました。短い期間の中で英語を上達させるためには、どんな時でも英語を学ぶ姿勢を忘れないことだと思います。学校で習ったことだけでなく、日常生活でのちょっとした会話のフレーズなども十分英語の勉強になります。ネイティブの人々がどんな英語の使い方をしているのか、常にアンテナを張り巡らせ、学校以外でも英語を学ぶ姿勢を忘れないで、英語の力は格段に上がると思います。また、あらかじめ頭の中で会話のシミュレーションをしておき、どう英語で答えるか考えておくのもいいと思います。これは私がホストマザーに英語をうまくする方法を相談した時にいただいたアドバイスです。毎朝学校の先生に昨日どんなことをしたのか尋ねられるなら、あらかじめ英語でのセンテンスを考えておき練習する、といったように、頭の中であらかじめシミュレーションを

して練習しておくことで、自然に会話ができるようになると思います。

もう一言!

現地でのSIMカード購入が便利。

オーストラリアに留学する際に、私はポケットWi-Fiを持って行きました。それでも勿論便利でしたが、周りの留学生たちは現地でSIMカードを購入し使っている人が多く、便利そうでした。そちらの方が安価で済むOptusという携帯会社の店舗に行けば数分でSIMカードを入れ替えてくれます。シドニーには様々な国の人がいて、日本では見られない新鮮な光景を見ることができました。また、レストランでたまたま隣のテーブルになったり、道ですれ違ったりする時に、気軽に挨拶をしてくれることがあり、フレンドリーな人の多さに大変驚きました。レストランで挨拶してくれた人が、最終的には一緒にテーブルで何時間も話したりすることもあり、自分の中でそれが一番の衝撃で、今でも心に残っています。気を許しすぎるのは危ないと思いますが、話しかけてくれた人と会話してみるのもいい思い出になると思います。



▲フェザーデールワイルドライフにて

概要

申込み

受講許可後
(事前準備)

留学中及び
研修後の手続き

研修報告書
短期語学研修講座

研修報告書
長期英語研修講座

研修報告書
学生海外語学研修
助成制度(春季・夏季)

研修報告書
派遣留学制度

ニュージーランド

LSI オークランド校

LSI Language Studies International Auckland



人文学部
英語英米文学科
1年次生(研修時)
高橋 胡桃

Komomo Takahashi



研修機関や授業

簡単なスピーチで友達とコミュニケーションがとれる。

オークランドは、ニュージーランドの玄関口として知られており、2つの港を持つ街です。別名“City of Sails”（帆の街）とも呼ばれています。LSI オークランド校は、カフェやレストランもすぐ近くにある街中心にあり、交通の便も良いです。授業コースは午前授業のみの General20 と、週2日は午後の授業まで参加する Intensive24 と、午前・午後の両方の授業に参加する Intensive30 があります。私は Intensive30 を選びました。クラスは初級の Elementary から、Pre Intermediate、Intermediate、Upper Intermediate、上級の Advanced に分かれています。初日にパソコンを使った文法とリスニングのテストを行い、それとネイティブの先生との簡単な会話とを合わせて評価しクラス分けされます。私は真ん中の Intermediate クラスでした。午前の授業では主に文法を学び、午後はディスカッションをしましたが、私の午前クラスの先生は簡単なスピーチをさせたり友達と意見交換をさせたりと、友達とコミュニケーションをとる活動も多くしてくれました。



▲海

衣・食・住

緑が溢れる静かで住みやすい家。

私は学校からバスで50分ほどかかるところにある家にホームステイさせていただきました。65歳のホストマザーが1人と、中国から来ている27歳の女性が住んでおり、2人とも気さくで親切な方でした。朝食は自分でトーストや果物を用意して食べ、昼食は学校でお弁当を買ったり友達と近くのお店に食べに出かけたりしました。夕食はホストマザーが料理してくれます。彼女は料理が得意でミートソースパゲッティやフィッシュアンドチップスなど美味しいものをたくさん作っていただきました。家のルールは、シャワーはできるだけ21時まで、かつ5～10分で済ませることくらいで、門限は特にありませんでした。使用した食器は基本的に自分で水洗いをして食洗機に入れます。服装については、夏から秋に変わるころでしたが、まだまだ日差しが強く暑い日が続いていたので半袖シャツにズボンといったラフな格好の方を多く見ました。洗濯はホストマザーが週に1回か2回してくれました。私がお世話になった家は街から少し離れたところにあり、スーパーマーケットやコンビニもありつつ緑が溢れていて静かで住みやすいという印象でした。

STUDY ABROAD DATE

- 都市名：オークランド
- 研修期間：2018年2/12～3/9【26日間】
- 研修講座・コース名：INTENSIVE30
- 宿泊形態：ホームステイ
- 費用概算
- <必要な経費>
- ・研修費(滞在費含む)……476,000円
- ・渡航準備・査証取得費……11,000円
- ・食費……5,000円
- ・交通費……35,000円
- ・その他……48,000円
- <合計> 575,000円
- 助成金支給額……400,000円
- 自己負担額……175,000円



思い出スナップ



▲お世話になった家



▲先生とクラスメイト

休日・余暇の過ごし方

バスに乗って公園や綺麗なビーチを満喫。

放課後は家に帰って、明るいうちに近所をジョギングしたり図書館に行ったりしました。私がお世話になった家では、シャワーはなるべく21時までに済ませるようにと決まっていたので、夕食を食べる前にシャワーを済ませておくこともありました。私の担当の先生はほとんど宿題を出さない先生だったのですが、毎週金曜にある1週間分の復習テストに向けて勉強もしました。休日は、1人でバスに乗ってショッピングセンターへ行ったり、街の中心部のお土産屋さんへ行ったりしましたが、友達と一緒に羊がたくさんいる公園へ行ったり、有名なビーチへ行って綺麗な景色を見たりしたことが心に残っています。同じクラスではない人とも休日に遊びに行くことで仲を深めることができました。土日には学校主催のアクティビティがありましたが、私は友達と遊ぶことを優先したので参加しませんでした。しかし、2日や3日でニュージーランドの観光スポットを回ることができる上に、普通に個人で行くのに比べると割安なので参加する価値はあると思います。



▲学校近くの公園

得たもの・学んだもの

とにかく英語を学ぶ時間を作ることが必要。

この研修を通して、私は自分の英語力の無さを痛感しました。特に英語を話す力です。文法やリスニングのテストではクラスで1番の出来でしたが、スピーキングとなると、みんなが自分の意見をスラスラと述べるのに対して、私は思っていることを正確に伝えることも一苦労でした。しかし、先生やクラスメイト、ホストマザーが相談にのりいろいろなアドバイスをくれました。中でも、先生の言った「とにかく英語を学ぶ時間を作れ。」という言葉が印象に残っています。英語力を向上させるうえで当たり前のことですが、母国語が英語ではないその先生は、自身の英語を一から学んだ経験とともに、何事も上達したければ本気でそれに時間を費やす必要があることを教えてくださいました。また、何も知らない環境に1人で飛び込むことができた行動力と、英語を話さざるを得ない環境で過ごした充実した1か月は私に自信を与えてくれました。今では、大学在学中にTOEICで850点以上を取得すること、長期留学に挑戦するという新たな目標を持っています。



▲ニュージーランドといえば羊

後輩へのアドバイス!

出会いは今後の人生をより豊かなものにしてくれる。

海外で生活してみると、新たに知ることや学ぶことがたくさんあり、他の国の文化に触れることは、その国についてだけでなく日本についてよく知るきっかけにもなります。また、私は今回の留学を終えて、自分がこれからすべきことが明確になったように感じており、より一層英語学習に力を入れるつもりです。今、このプログラムに参加するか迷っている人はぜひ応募してみてください。ニュージーランドでの尊敬できる先生や友人との出会いは、私の今後の人生をより豊かなものにしてくれると確信しています。参加すれば、きっとあなたの大学生活を支える思い出と成長を感じられると思います。渡航前に「地球の歩き方(ニュージーランド)」という本を購入し、現地にも持っていきました。その国で使われている通貨などの基本的な情報はもちろん、地域別の観光スポットやお土産屋さんなどがかなり詳しく書かれています。不安だった空港での入国審査などについても書かれていたので参考になりました。

もう一言!

LINEアプリは電話も無料なので便利。

現地でインターネットを使うために、私は、Wi-Fiのルーターをレンタルしました。学校にいる時は学校のWi-Fiを利用できたので、それ以外でインターネットを使いたい時にルーターを使っていました。ずっと電源を入れていると電池の減りも早いので、必要な時のみ電源を入れるようにすると良いです。ニュージーランドでは、カフェやレストランで食事をするとその店のWi-Fiのパスワードを教えてもらえることもよくあります。ただ、ルーターをレンタルするとSIMカードを現地のものに交換する必要がないので、現地の友達と普通の電話はできないと思います。さらに、YouTubeなどの動画を見るとすぐに通信制限にかかってしまうので、現地ではYouTubeアプリは開かないようにしました。日本にいる家族や友人と連絡をとる際は、LINEアプリを使いました。LINEだと、電話も無料でかけられるので便利です。



▲休日に友人と

マルタ共和国

エイエム ランゲージ スタジオ

Am Language Studio



人文学部
英語英米文学科
3年次生(研修時)
松井 未優
Miyu Matsui



研修機関や授業

全員と関わる機会を与えてくれる授業。

日本人が少ないと聞いてマルタを選び、さらに少人数体制でアットホームな学校が良かったのでこの学校を選びました。ですが思っていたよりも日本人が多かったです。私は Intermediate だったのですが、クラスメイトは英語を難く話せる人が多く生徒はヨーロッパを中心に特にイタリア人が多かったです。訛りが強い先生もいるのでもし授業が理解しづらいときや先生が自分に合わないときはクラスを変更してくれます。1クラス多くて10人程度で、授業内容は午前中は教科書を使って文法を中心に4つの技能を学び、午後は6人ほどでスピーキング中心の授業でした。わからない単語や問題があっても、質問をすれば説明をしてくれますし、反対に質問はないか聞いてくれます。先生は同じ国籍の人とペアにならないように配慮してくれたり、1コマ終わるとペア替えをしたり、クラスメイト全員と関わる機会を与えてくれました。また、メンバーの移動も割と激しく、毎週月曜には新しい人が入ってきたり金曜日には卒業で減ったり、先生も思っていた以上に頻りに変わったのが驚きでした。ですがそのお陰でいろいろな英語に触れる事も出来ましたし、知り合いも増えました。



▲イムディーナ要塞

衣・食・住

全てのバスが2時間以内乗り放題で安い。

私はホームステイだったため、お屋の食事のみ負担しました。学校の中にカフェテリアがあったので、そこで購入したり、近くのカフェに行ったりしました。ですが休み時間が30分しかなかったのであまりゆっくりお昼を取ることができませんでした。バーガーやサンドイッチは平均1つ€3~4でサイズも結構大きかったです。物価は日本とあまり変わりませんがパンやパスタはとても安かったです。水は500mlを70円で買うことができます。ホームステイ先には私以外に入れ替わりで、多くのフランス人の男性やイタリア人の女性が来ました。私は個室だったため快適でしたが部屋(家自体)に暖房がなかったので夜は寒かったです。また隣人の物音も結構聞こえてきます。学校のあるスリーマは飲食・衣類店やショッピングモール、スーパーマーケット、お土産屋など結構充実しており、生活するには困らなかつたです。しかし日曜日とパブリックホリデーの日は、ほとんどの店が閉まっているので注意が必要です。また閉店時間も19時半などが多く、日本と比べると早いように感じました。ですが、バスは1回€1.5と安く、最初に乗ってから2時間以内だと全てのバスが乗り放題です。



▲ホームステイ先の朝食

休日・余暇の過ごし方

博物館や観光スポットでゆったりと過ごす。

1時半に終わるのでその後は友達とどこかに行ったり、カフェでお茶をしたり、1人で買い物にいたりして過ごしました。私は1人でゆっくり見て回りたいタイプなので、1人で出かけることも多くありました。バレッタには日本語対応の博物館もあるので結構楽しめると思います。私は歴史が好きなので The Malta Experience や戦争博物館などに行きました。博物館は英語だったので、勉強にもなりました。語学学校の学生証を提示すれば学割が利きます。また、2月10日からの3日間バレッタカーニバルが行われたので記念に見に行きました。派手な衣装やメイクをまとった参加者が練り歩くパレードは見ていてとても楽しかったです。マルタは電車がなく、徒歩かバスになるのですが、小さい国なので歩いて大抵のところへ行けます。スリーシティーズという都市から離れた街もお勧めです。静かで景色もきれいで観光スポットもあるので、ゆったりと過ごすことができます。



▲ホームステイ先の朝食

STUDY ABROAD DATE

- 都市名：スリーマ
 - 研修期間：2018年2/5~3/2【26日間】
 - 研修講座・コース名：クラスレベルIntermediateコース Intensive30
 - 宿泊形態：ホームステイ
 - 費用概算
- | | |
|------------------|----------|
| <必要な経費> | |
| ・研修費(滞在費含む)..... | 372,000円 |
| ・渡航準備・査証取得費..... | 16,000円 |
| ・食費..... | 13,000円 |
| ・交通費..... | 12,000円 |
| ・通信費..... | 9,000円 |
| ・その他..... | 93,000円 |
| <合計> | 515,000円 |
| 助成金支給額..... | 400,000円 |
| 自己負担額..... | 115,000円 |



思い出スナップ

▼スリーシティーズ散策



▲先生も一緒に学校の皆と夜ご飯

得たもの・学んだもの

今の自分に気付くことができた意味のある1ヵ月。

この研修で多くのことを学びました。初めての留学の時と違い、今回は自分より年上の方と学ぶことが多く、レベルの高さを実感しました。まだまだ何かに生かせるレベルではないと今回の研修で自分の英語力の乏しさを痛感しました。言いたいことはあるのに単語が出てこなくて会話を止めてしまったり、流れにのれず黙ってしまったりする場面もあり、どうしたら話せるようになるのか先生に相談しながら、できない自分に嫌気がさして悔しくて思わず泣いてしまった日もありました。今までこんな気持ちになることはあっても、泣くほど悔しいと感じた事はなかったので、今の自分を気付かせる私にとって大きな意味のある1ヵ月だったと思います。また、他の国の留学生は文法の間違いはありながらもスラスラと英語を話す人が非常に多かったため、会話力は非常に重要だと思いました。意思疎通が出来る友達ももっと増やそうとできるし、交流ももっと楽しむことができると思います。



▲マルサシュロックの日曜日

後輩へのアドバイス!

身の回りの持ち物には十分気をつけよう。

立ち寄ったドバイ国際空港で携帯を紛失してしまい、研修期間中はずっとマルタで買ったスマホを使っていました。安く簡単に手に入ったのですが、日本語に対応していないため全部英語表記で動作も遅く少し扱いづらかったです。未だに携帯の行方は分かっていません。みなさん、自分は大丈夫だと慢心せず、身の回りの持ち物には十分気をつけてください。盗難防止のために出した後はちゃんとチャックのついたバッグに入れるように心がけると良いと思います。また、私は学校用のバッグとは別に貴重品を入れるショルダーバッグとエコバッグも持って行きました。マルタは安く留学できることが魅力ですが、マイナス点を言うと、街中ではイタリア語やマルタ語など英語以外の言語が聞こえてくるのがほとんどで、何を言っているのか理解できないときが多かったことです。また英語のクセが強いので、綺麗な英語を学びたいか、もしくは、英語漬けの毎日を送りたいのであれば、長期なら正直なところ別の国に行くのをお勧めします。マルタは短期留学に向いていると思います。



▲バレッタカーニバル

もう一言!

キャッシュパスポートを持って行くと安心。

日本と違い色々なところでWi-Fiが飛んでいます。パスワードがもし必要だったときは店員さんに聞くと教えてもらえるので大丈夫です。私は学校や家でもWi-Fiを使ったのですが、もしルーターを持っていかうか悩んでいる人は日本からSIMフリーの携帯を持参し、現地でプリペイドSIMを購入するやりの方が費用をかなり抑えることができると思います。(私の場合3週間約1,400円) またATMも至る所におかれているため、キャッシュパスポートがあればいつでもお金を引出せます。しかし室内に設置されていない、むき出しのATMもあるので、パスワードや現金を盗まれないよう周りには気を付けた方がいいと思います。日本円を€に換えるときの銀行ですが、スリーマは昼までしか開いておらず授業のためなかなか行くことができませんでした。クレジットカードは使えますが何€からと決まっている場所もあるので、キャッシュパスポートも持っていくと安心です。私は空港で換える時間がなく銀行にもなかなか行けなかつたので持って行って正解でした。

概要

申込み

受講許可後
(事前準備)

留学中及び
研修後の手続き

研修報告書
短期語学研修講座

研修報告書
長期英語研修講座

研修報告書
学生海外語学研修
助成制度(春季・夏季)

研修報告書
派遣留学制度

フィリピン共和国

セブイングリッシュグローバルアカデミー

Cebu English Global Academy



経済学部 経済学科
1年次生(研修時)

高岡 竜也
Ryuya Takaoka



研修機関や授業

優しい先生方がマンツーマンでサポートしてくれる。

私はレギュラーマンツーマン6時間コースを受講していました。初日にテストを受けて、自分の苦手な分野は何かきちんと理解してそれに対応した授業の組み合わせでした。今まで座学での英語学習のみしていたので、自分は特にスピーキングが苦手でした。CEGAでは、独自の英語上達方法のDMEメソッドというものが、それを1日に2時間受けることでこの短期間でも英語力が上達したのが感じられました。ただ、DMEメソッドの後はかなり疲れが溜まりました。マンツーマンということで、初めはうまくしゃべれるか不安があったけれど先生方が優しくサポートしてくれたのでしっかり授業についていけました。すべての授業のなかでも私は特に発音の授業を大事にしていました。なぜかと言うと、発音を勉強することでリスニングやスピーキングなどの能力を向上させることができるからです。自分が間違った発音をしたらすぐに先生方が訂正してください、マンツーマンならではの利点も感じることができました。時々、先生の変更があり戸惑うことがあったけど、どの先生もフレンドリーなのでとても話しやすかったです。



▲先生とのマンツーマンレッスン

衣・食・住

エアコン対策や道路横断には気をつけよう。

フィリピンの気候は、年間を通して暑い日が続きます。だから、日中は半袖半ズボンで過ごしても問題ないです。ただ、だいたいのお店の中や学校の教室などはかなりエアコンが効いているので少し寒く感じることもあるかもです。あと、台風が来る回数が日本に比べて多いので注意が必要です。食事は、土日の昼食と夕食以外は、寮の屋上に用意されていたものを食べていました。その料理のほとんどが日本食だったので、かなり食べやすいものでした。土日は、友達と現地の料理を食べに行くなどしました。現地にも、マクドナルドやスターバックス、セブンイレブンなど日本人にも馴染みのあるものがありました。私の宿泊形態は寮で2人部屋を選択していました。シャワーの水圧が弱いことや、エアコンが効かないなどたまに問題があったけれど、スタッフに伝えるとすぐに対応してくれたので良かったです。フィリピンの治安は、実際には良いとは言えませんが、少し注意をしていれば生活していて身の危険を感じることはありませんでした。フィリピンでは、日本と違って交通整理があまりされてなく道路横断の際少し危険な時がありました。



▲友だちとのモール巡り

休日・余暇の過ごし方

モール巡りやきれいな海でシュノーケリング。

休日は、友達といろいろなモールを歩き回ったり、海に行くなどリフレッシュをしていました。初めての海外ということで、全てが新鮮に感じられて楽しかったです。フィリピンのモールは、日本のものに比べて大きいものがたくさんありました。何回か本当に迷ってしまって、店員さんに聞くなどして出口を探したことがありました。学校の先生方は、自分が上手く言えていない英語を使っても理解してくれていたのですが、先生以外の現地の人と話す自分の言いたいことが伝わらない時が何回もあり悔しい思いをしました。それでも、会話をする回数を重ねることによって自信を得られていったので良かったです。セブ島はリゾートで有名で、たくさんのきれいな海がありました。ただ、残念ながら、自分が行きたいところ全部を回ることができなかったです。それでも、海に行って写真をいっぱい撮ったりシュノーケリングをしたりすることができとても満足しました。日曜日には、次の日が学校だったので予習をするために地元のカフェや自習室などに行って勉強することがありました。



▲友だちとのモール巡り

STUDY ABROAD DATE

- 都市名：セブ
 - 研修期間：2018年2/5～3/16【40日間】
 - 研修講座・コース名：レギュラーマンツーマン6時間コース
 - 宿泊形態：寮
 - 費用概算
- | | |
|---------------|----------|
| ＜必要な経費＞ | |
| ・研修費(滞在費含む)…… | 365,000円 |
| ・渡航準備・査証取得費…… | 18,000円 |
| ・食費…… | 10,000円 |
| ・交通費…… | 3,000円 |
| ・その他…… | 5,000円 |
| ＜合計＞ | 401,000円 |
| 助成金支給額…… | 300,000円 |
| 自己負担額…… | 101,000円 |



▼現地の料理



▲セブ島のビーチ

得たもの・学んだもの

英語力の向上と自分の意見をはっきりと言う。

私がこの研修で得たものは、英語力の向上と自分の意見をはっきりと言うことです。今回の留学では、スピーキングとリスニングに重きを置いていたのでマンツーマンのクラスを受講しました。その結果、両方のスキルを伸ばすだけでなくその他のスキルも一緒に磨くことができました。スピーキングに関しては、今まで英語のみを使ってこんなにたくさん会話をしたことはなかったのでとてもいい経験になりました。先生と話している時に、最初は聞き取るのが難しかったけれど段々慣れていくうちにリスニング力も上がり、聞き取れる言葉が多くなっていることを感じるようになりました。先生に積極的に質問するように意識しました。そして、自分の意見を持つこと、相手にそれを伝えることの大切さにも気づきました。留学初期段階では、自分の意見を言うことに対して抵抗が少しありましたが、慣れていくうちに自分から積極的に発言することができました。そうすることで、さらに質の高い会話ができ有意義に授業を受けることができました。



▲日本食のごはん

後輩へのアドバイス!

視野を広げて人生の選択肢をもっと広げよう。

今留学を考えている人がいるなら絶対に行ったほうがいいです。もちろん英語力の向上にもつながるのですが、それ以外にもたくさんのことを得ることができました。今まで自分は一度も海外に行ったことがなかったので、少し不安でホームシックになることもありましたが、留学に行くことで自分自身の成長を感じることができました。この留学をきっかけとして、自分の視野が広がったことが分かりました。誰でも、日本にずっと居続けると日本のことしか見えなくなります。それが悪いわけではないのですが、視野を広げることでこれからの人生の選択肢がかなり広がります。だから、他国に留学することによって、その地域独自の文化や伝統、食べ物、人柄に触れることが大事だと思います。本校では、多くの助成金を支給していただくことができる上に、単位まで獲得できるので、この機会を是非、生かしてほしいと思います。これからの人生にも大きく役立つものなので、ぜひ参加してみてください。

もう一言!

自分の身は自分で守ることを意識しておこう。

もし英語力の向上に重きを置くのなら、フィリピンの語学学校をお勧めします。なぜなら、ほかのどの国よりもスピーキングの機会が多いからです。グループレッスンだと、人前で英語をしゃべることが恥ずかしくてしゃべれない人がいると思います。逆に、マンツーマンだと自分しかいないのでしゃべるしかない状況を作ることができます。もし、上手くしゃべれなくても先生が優しく誘導してくれるので安心できます。短期の留学だからといって語学向上を諦めてはいけません。英語を不便なく使うにはもっと多くの時間があることは分かるのですが、英語に慣れるのには十分な時間です。後、留学の注意事項なんですが、海外では日本と違うところがかなりあります。なので、日本の感覚で行動していると危ないことに遭遇する可能性があります。自分の身は自分で守ることを意識して、有意義な留学生活を送ってください。



▲卒業式での写真

ドイツ

BWS ジャーマンリンギア ベルリン校

BWS Germanlingua Berlin



法学部 法学科
2年次生(研修時)
薬師神 雛世
Hinayo Yakushijin

研修機関や授業

ドイツ語の授業の後、質問は英語で受け付け。

私が通った学校は、BWS ジャーマンリンギアです。この学校は、ベルリンの中央のミッテ区に位置しており、周りにも飲食店やスーパー、ドラッグストアなどのお店が沢山あります。また、交通の面でも、バスやトラム、Uバーン、Sバーンのすべての交通機関が通っており、便利です。学校の私のクラスはかなり少人数のクラスで、二週間に一度、クラスのメンバーが変わり、先生は日ごとに3人の先生が指導してくれました。入学初日にドイツ語を用いて自己紹介をし合い、その日以降は、学校独自の教材を用いて、日常表現を中心に、ドイツ語の文法を学んでいきました。全てドイツ語で授業が行われ、先生が説明が終わった後、わからないところ、質問などは英語で受け付けてくれます。そのため、ドイツ語を学ぶにおいて、英語を話し、理解する力は必要不可欠です。ライティングやリスニングだけでなく、コミュニケーションの授業では、ルームメイトの韓国人、アフリカ人、イングランド人などと、各国の文化やしきたりなどを伝え合うこともしました。スクールに通うことで、ドイツだけでなく、他国のこともたくさん知ることができました。

衣・食・住

お水は炭酸水が多いので気を付けよう。

ドイツの暮らしの基本は、日本と大きく違うところはあまり見当たりませんでした。私がホームステイでなく、学校所有のアパートで過ごしたいということもあると思いますが、暮らしにおいて、とても困ったことはありませんでした。気温は、マイナス10度などと、日本では味わったことのない寒さでしたが、過ごしていくうちに慣れました。ただドイツの生活で困ったことは、食べることです。まず、お水。日本でお水を買うとなると、普通の飲料水を購入できると思います。しかし、ドイツで売ってある、ほとんどの種類のお水は炭酸水で、炭酸なしというものを選ばなければなりません。ドイツの水道水は飲めるらしいですが、気を付けたほうがいいです。食べ物、やはりソーセージの美味しさはピカイチでした。ホットドッグもとてもおいしかったです。また、私の行ったベルリンの名物である、Currywurst (カレーブルスト) は、とてもおいしく何度も食べました。今回はいけませんが、カレーブルスト博物館もあり、是非機会があれば行ってみたいです。



▲BWSのクラスメイト

STUDY ABROAD DATE

- 都市名：ベルリン
 - 研修期間：2018年2/6～3/2【25日間】
 - 研修講座・コース名：Standard Course A1
 - 宿泊形態：寮
 - 費用概算
- | | |
|---------------|-----------------|
| ＜必要な経費＞ | |
| ・研修費(滞在費含む)…… | 454,000円 |
| ・渡航準備・査証取得費…… | 16,000円 |
| ・食費…… | 23,000円 |
| ・交通費…… | 3,000円 |
| ・通信費…… | 24,000円 |
| ・その他…… | 35,000円 |
| ＜合計＞ | 555,000円 |
| 助成金支給額…… | 400,000円 |
| 自己負担額…… | 155,000円 |

休日・余暇の過ごし方

土日に観光やショッピングをして楽しんだ。

休日は、土曜日と日曜日で、基本的に観光したり、ショッピングをしたりしました。ドイツでは、スーパーやショッピングモールは日曜日が定休日のため、観光は日曜日に行きました。ブランデンブルク門やベルリン大聖堂、DDRドイツ歴史博物館、ユダヤ人博物館、テレビ塔などに行きました。私が一番感動したのは、ベルリン大聖堂です。ベルリン大聖堂は私が過ごした学生寮の近くにあり、徒歩で行きました。学校に行く途中でも外観は見えていて、その外観にすでに感激していたのですが、中に入ってみると鳥肌が立つくらいの大聖堂に驚きを感じました。私が生まれてきて一度も見たい景色でした。壁や天井の彫刻も絵で見るような細かい作りになっていました。また、ユダヤ人博物館では、ヒトラー政権の標的となったユダヤ人の歴史を学ぶことができました。ドイツ留学を決意するきっかけとなった理由の一つでもあったユダヤ人の歴史について、目で耳で感覚で、感じることができました。ドイツの負の歴史も知るべきだと思います。もう少し時間があれば、ポーランドのアウシュビッツ収容所にも行きたかったです。



思い出スナップ



▲ブランデンブルク門



▲ベルリン大聖堂にて

得たもの・学んだもの

何事も何とかなることと伝えることの難しさ。

この1か月のドイツ留学で学んだことは、何事も何とかなること、言葉の壁を越えて意思疎通を取ることの難しさです。まず、何事も何とかなることについて。私は、ドイツまでの交通手段でドーハを経由して飛行機で行く予定でした。しかし、いきなり羽田からドーハまでの飛行機が機材の不具合で欠航になり、丸一日留学期間がずれてしまいました。しかし、いざトラブルが起こると冷静に判断でき、大学やサポートセンターなど、伝えるべきところに瞬時に連絡し、パニックになることなく、空港の方の誘導で適切な行動をすることができました。私は、すぐに冷静な判断が日常でできなくなることがありましたが、いざ大変な事件になったときは冷静な判断をすることができました。どのようなことも何とかなる、と思えるようになりました。もう一つは、現地言葉がうまく伝わらないときに、ジェスチャーなどで自分の気持ちを伝えることの難しさを学びました。



▲ユダヤ人博物館での写真



▲クラスメイトです



▲アンペルマンショップにて

後輩へのアドバイス!

いろいろな発見を求め観光などを楽しもう。

留学をするにあたり一番のアドバイスは、基本的なことですが、荷物です。留学は旅行と違い、生活をするわけですから、かなり荷物を持っていきたくありません。しかし、同じ世界ですから、日用品などは現地でも不自由なく購入し、使えます。だから、あまり重いものや過度の服などは必要ありません。たくさん荷物を持って行ってしまうと、移動や空港の荷物の重量検査の時にかなり大変です。帰国の時も同じで、お土産をたくさん買いがちですが、なるべく軽いものを購入すること。もし、かなり重くなるようだと、事前に日本に送ることをお勧めします。後は、授業はもちろんですが、観光やショッピングなど、いろいろなことを経験することをお勧めします。せっかくの機会ですから、観光はもちろんいろいろなところに行くに必ずいろいろな発見があると思います。

もう一言!

インターネットはポケットWi-Fiが必需。

インターネットの接続についてですが、私が経由したドーハはeチケットの番号を入力するだけで、空港で無制限にインターネットを利用することができ、不自由はありませんでした。また、飛行機の機内では、15分間のみ利用することができました。ドイツのテューゲン空港では、時間制限はありますが、インターネットを利用することができました。ドイツの町では、様々なところにWi-Fiは飛んでいます。かなり遅かったり、うまく接続できないことが多くありました。ですから、ポケットWi-Fiは必需になると思います。食事についてですが、はじめは現地の食べ物がなかなか合わず、食べられませんでした。たくさん調べたり、実際に行ってみることで、なにかは自分に合うものを見つけられると思います。お寿司などの日本食も現地にはありますが、日本のお寿司とは味が違うことが多いので気を付けたほうがいいです。

概要

申込み

受講許可後
(事前準備)

研修後の手続き
留学中及び

研修報告書
短期語学研修講座

研修報告書
長期英語研修講座

研修報告書
学生海外語学研修
助成制度(春季・夏季)

研修報告書
派遣留学制度

韓国

大邱大学

Daegu University



経営学部 経営学科
2年次生(研修時)

神森 海南充

Minami Kanmori



研修機関や授業

レベルに合わせた1冊の教科書にそって勉強。

私は大邱大学の冬季短期課程に参加しました。初日にクラス分けのテストがあり、そのレベルに応じてクラスが決まります。大体1クラス10~15人程度で、私は中級クラスになりベトナム人12人・モンゴル人3人のクラスで日本人は私1人でした。また中級クラスの人ほどのクラスの子も大邱大学に正規留学している子が短期課程にも参加している形で、短期課程だけに参加していた人はほとんどおらず、自分のクラスも私だけが短期留学していました。ですが、この環境が韓国語を上達させる上で私にとっては良い環境でした。授業はレベルに合わせた1冊の教科書にそって勉強していきます。全体的に授業は書くことよりも話すことの方が多かったように感じました。どのクラスに関わらず、授業はすべて韓国語で行われますが、先生がイラストや簡単な表現で説明してくれるので、分かりやすかったです。座学は午前中に終わって、1週間に2・3回午後から文化授業がありました。大邱市内ツアーや慶州旅行、伝統的な遊びに映画鑑賞ができ、自由参加ですが、どの文化授業もお金がかからず、いろんな人と友達になれるので、ぜひ参加してみてください！



▲留学生みんなで慶州旅行

衣・食・住

学校内に充実した施設があり、生活に便利。

私は学校の寮に入っていました。寮は一人部屋と二人部屋が選べて、一人部屋には冷蔵庫とテレビがついてとても快適でした。食事は、学校内に学食が7つほどあり、300円~500円程度で食べることができます。学内には学食だけでなく、パン屋やカフェ、レストランなどもありました。また、24時間営業のコンビニや安い飲食店が学校近くにあって、食事困ることはなく、水とお湯も寮の各階にあるウォーターサーバーが使い、各階にある調理室で電子レンジやガス、冷蔵庫も自由に使えました。スーパーに行くには、大学が田舎にあったので10分ほどバスに乗らなければなりませんでした。大邱大学は本当に学校内になんでもあり、印刷屋、銀行(ここでは外貨両替も可能)、薬局、写真館、ちょっとしたスーパー、化粧品店、無料ジムなど充実していたので、生活する上で困ることはなかったです。洗濯は寮の地下にある洗濯室で1回洗剤・洗濯・乾燥機それぞれ50円ずつですることができ、私は4日に1回洗濯していました。服も街で安く買え、どこのお店でも日本の商品が意外と買えるので、日本からあれこれ持っていく必要はなく、現地でも十分に調達できると思います！

修了式で担任の先生と

STUDY ABROAD DATE

- 都市名：キョンサン
 - 研修期間：2018年2/5~2/23【19日間】
 - 研修講座・コース名：冬季短期課程
 - 宿泊形態：寮
 - 費用概算
- | | |
|----------------------|-----------------|
| <必要な経費> | |
| ・研修費(滞在費含む)..... | 159,000円 |
| ・渡航準備・査証取得費..... | 10,000円 |
| ・食費..... | 30,000円 |
| ・交通費..... | 21,000円 |
| ・通信費..... | 15,000円 |
| ・その他..... | 79,000円 |
| <合計> | 314,000円 |
| 助成金支給額..... | 184,569円 |
| 自己負担額..... | 129,431円 |

休日・余暇の過ごし方

地下鉄に乗って、買い物や観光地を周遊。

週末は留学に行ってから知り合った日本の友達と地下鉄に乗って、大邱市内に買い物に行ったり、有名な観光地を回ったりしました。研修期間中にはソルラルという旧正月があって、4日間授業が休みの連休もあったので、それを利用して、友達と高速鉄道KTXに乗ってソウルに旅行にも行きました。大邱からソウルまではおおよそ2時間程度で行くことができ、交通費もとても安いので手軽に旅行に行くことができました。旧正月中は観光地のお店も開いていないと聞いていたのですが、ソウルは思っていたより、ソルラル当日もお店が開いていて、普段と変わらず観光できたように思います。また私は、松山大学に留学をしていた韓国人の友達が韓国にいたので、その友達に会いに、釜山にも行きました。釜山では有名な国際市場に行って現地の人と話さず方言に触れたり、甘川洞文化村という町中にアートが点在している村を観光しました。韓国は地下鉄がどこに行っても通っている上に、交通費も日本と比べて、とても安いので気軽に韓国国内を旅行できます。そのため、韓国に留学に行く人は週末の休みを使ってぜひいろんなところに出かけて見ることをおすすめします！



▲ソウルの景福宮で韓服体験



思い出スナップ

▼クラスメイトと一緒に



▲釜山の甘川洞文化村にて星の王子様と

得たもの・学んだもの

勇気を出して自ら積極的に行動することが大切。

留学して学んだことは、自分から積極的に行動をすることの大切さです。私はクラスに日本人1人だったので、韓国語でしかクラスの人とコミュニケーションをとる方法がありませんでした。最初は、通じなかったらどうしようという思いや下手だから恥ずかしいという思いで、声をかけられませんでした。このままではいけないと思い、勇気を出してクラスのいろいろな人にジェスチャーを加えながら会話を試みました。そのおかげか、最後には、クラスの人とも仲良くなれ、韓国語を話すことにも慣れました。やはり、勇気を出して自ら積極的に行動することは本当に大切です。もし、私も勇気を出してクラスの人に話しかけていなかったら、友達にもなれず、韓国語を話す機会もこんなになかったと思います。短期留学において、授業をただ受けるだけでは、言語の実力はあまり上達しません。恥ずかしがらず積極的にその言語を使って行動してみてください！帰って来た時には自分の実力が上がったことを実感できると思います！



▲ソウルの景福宮で韓服体験

後輩へのアドバイス!

日本語が通じない環境で実力を上げよう。

私が韓国に留学する人に伝えたいことは、ぜひソウルの学校ではなく地方の学校にも行ってほしいということです！韓国留学する人は大体の人がソウルの学校に行きますが、地方の学校もとても面白いです。確かに、留学に来る日本人はソウルの大学に比べて少ないです。また、ソウルのように都会ではないので、日本語が通じないところばかりだったり、方言があったりと困ることもあると思います。しかし、韓国語を勉強することにおいて、日本語が通じない環境は本当に成長します！私もお店に行った時や公共交通機関を使う時、英語も日本語も通じないことがたくさんありました。ましてや方言もあったので、バスで運転手さんに方言で話しかけられた時には困惑しました。ですが、逆にこのような状況が韓国語を話したり聞いたりする勉強になり、韓国語の実力を上げることができたように思います。そのため、韓国留学する際にはぜひ地方の学校も視野に入れてみてください！

もう一言!

キャッシュパスポートは携帯で確認できて便利。

韓国はカード社会です。スーパーはもちろん、市場や小さなお店、100円という小さな額でもカードが使えます。サインもほとんど必要ないことが多いので簡単に支払でき、現金を持ち歩くよりも便利です。私は学校で作ったキャッシュパスポートと自分のVISAのクレジットカードを持って行っていました。たまにマスターカードが使えないお店もあったので、2つぐらい違う会社のカードを持っていくといいと思います。また、キャッシュパスポートはクレジットカードとしてだけでなく、ATMでお金もおろせ、いくら使ったか、手数料がいくらかかったか簡単に携帯ですぐ確認できるとも便利なので、作ることをおすすめします！私は、キャッシュパスポートからグローバルATMを使ってお金をおろすより、クレジット機能を使って支払ったほうがお金をおろしたり、両替するよりも手数料がかからないように思いました。ですが、現金でしか支払できないところもあったりするので多少の現金は必要だと思っています。



▲韓国のすごく“ユニノリ”

イギリス

ウィンブルドン スクール オブ イングリッシュ

Wimbledon School of English



ロンドン

ウィンブルドン

法学部 法学科
2年次生(研修時)
飛鷹 里奈

Rina Hidaka



研修機関や授業

先生に前向きなアドバイスがもらえる。

私の研修校は初日にクラス分けテストがあり、文法と先生との1対1のスピーキングのテストの成績によってクラスが分けられます。私が入学した週は15人のクラスメイトがいてタイ、中国、フランス、クロアチア、サウジアラビア、トルコなど様々な国から来ていました。しかし、毎週金曜日には誰かが卒業して月曜日に新入生が入ってくるシステムだったので短い間しか一緒にいられないクラスメイトもいました。また、私が卒業する時にはアジアの国から来た人がたくさんいました。授業内容は、1・3時間目は文法で、2時間目はリスニング、リーディング、ライティングが主な授業でした。スピーキングはどの時間にも自分の意見をみんなの前やペアやグループになって発表する場が設けられていました。単に教科書に沿って授業を進めていくだけではなく、ゲームをしながら文法や単語を覚えたり、洋楽を聴いてリスニングの練習をしたりと楽しく英語の勉強をすることができました。課題は毎日出され、毎週金曜日には復習テストがありました。先生方は理解するまでしっかり教えてくださり、親切で面談の際には前向きなアドバイスをいただいていたので授業に励むことができました。



▲タワーブリッジ

衣・食・住

上着やヒートテックがあれば暖かくて便利。

イギリスの夏は寒いので、半袖を着る日がありませんでした。特に朝と夜がかなり冷え込むので上着も持っていきたくさばらないし、暖かいので持っていくことをお勧めします。食についてですが、イギリスの料理は美味しくないと言われていたものの、私が食べた料理はすべて美味しかったです。昼食は学校近くのスーパーで買って食べたり外出に行ったりしていましたが、朝と晩御飯はホストマザーが用意してくれました。料理が得意な方だったのでパリエーションが豊富で美味しく、毎日の食事を楽しみにしていました。シャワーは毎日浴びることができましたが、洗濯が週に1回だけだったので着ていく服などを工夫する必要がありました。イギリスは電車の運賃がかなり高いので、オイスターカードが必要です。通常の約半額の運賃になります。私はバスや電車を使う機会が多かったのでオイスターカードの定期券を利用していました。ウィンブルドンは治安も良く、静かで綺麗な街だったのでとても住みやすかったです。また、商業施設もたくさんあったので便利で不自由なく過ごすことができました。

▲ホストマザーと

STUDY ABROAD DATE

- 都市名：ウィンブルドン
 - 研修期間：2018年8/20～9/14【26日間】
 - 研修講座・コース名：General English
 - 宿泊形態：ホームステイ
 - 費用概算
- | | |
|---------|----------|
| ＜必要な経費＞ | |
| ・研修費 | 180,000円 |
| ・旅費 | 196,000円 |
| ・宿泊費 | 125,000円 |
| ・食費 | 25,000円 |
| ・交通費 | 21,000円 |
| ・その他 | 33,000円 |
| ＜合計＞ | 580,000円 |
| 助成金支給額 | 300,000円 |
| 自己負担額 | 280,000円 |



思い出スナップ

▼ロンドンの夕焼け



▲クラスメイトと

休日・余暇の過ごし方

アクティビティに参加したり有名な観光地巡り。

平日は学校終わりにクラスメイトと近くのカフェで話をしたり、ショッピングや休日に観光する場所の予定を立てたりしていました。ウィンブルドンに住んでいたこともあって、全英オープンの会場であるテニスコートの見学もしました。また、学校のアクティビティに参加したり、昼休みには校庭でクラスメイト以外の人にも積極的に話しかけてたくさんの友達を作ることができました。休日には主にロンドンの中心部へ観光に出かけていました。有名な観光地へは徒歩で移動できる場所もたくさんありました。イギリスはなんといっても美術館や博物館が無料で入れるところが多くてたくさん回ることができました。場所によって建物や街の雰囲気が違うので街を歩き回ったり写真を撮ったりするだけでもわくわくしてとても楽しかったです。また、ホストファミリーとはテレビ番組や映画を見たり、ホストブラザーが日本のアニメが好きだったので日本の話で盛り上がる日もあって楽しい時間を過ごすことができました。初めての海外ということもあって、実際に体験するものすべてが新鮮で、一生に一度しかない貴重な時間を過ごすことができとても充実した日々でした。



得たもの・学んだもの

自信を持って積極的に取り組む力を取得。

私は自分の意見を進んで発表することが苦手だったので、出発前から何をやるにしても積極的に行動することを一番の目標としていました。しかし現地についてみると緊張や不安が大きくなってしまい生活を始めて数日はホストファミリーとの会話が続かなかったり、学校でも自分の意見に自信がなくて自分から発言することができませんでした。私はこのままではここに来た意味がないと思い、うまくコミュニケーションが取れないことをホストマザーに思い切って相談をしました。ホストマザーは、「私はあなたの発言したことを決して馬鹿にしないし、間違っていれば直してあげるから間違いなんか恐れずに堂々と話さない。」とアドバイスをしてくれました。その言葉がきっかけで、学校でも積極的に自分の意見を発表したり友達に話しかけることができるようになり、ホストファミリーとの会話も増え、スピーキング力はもちろん、自分に自信をもって何事にも積極的に取り組む力を身に付けることができました。



▲全英オープン会場のエントランス

後輩へのアドバイス!

自分の国のことをもっと知っておくのが大切。

イギリスには日本に関心がある人が多いように思いました。ホストファミリーやクラスメイト、学校の授業でも日本についてたくさん質問されましたが、思うように答えられなかったことも多くて少し恥ずかしい思いをしたことがありました。だから、現地に行く前にも程度日本についての知識を入れていくべきだと思います。例えば、日本の歴史や、成人式などの伝統的な行事、国民の休日や法律などを調べて英語で説明できるようにしておくといいと思います。ほとんどのクラスメイトは、自分の国についてしっかりと説明できてかなり圧倒されました。今回の経験から外国に興味を持つことも大事ですが、それ以上に自分の国のことをもっと知っておくべきだと身にしみて感じました。また、自分の国について話をするのが、会話を広げるきっかけになるとも思ったのでかなり役に立つと思います。

もう一言!

オイスターカードの残高はこまめに確認しよう。

イギリスはFree Wi-Fiがある場所がたくさんあるので、日本から特にネットに関する物を準備しなくても生活はできると思いますが、ネットの接続状態が悪くなると例えば道を調べなければならぬなどには不便だと思うので、私はポケットWi-Fiを借りて持っていきました。安く借りられるところもあるので調べてみるといいと思います。また、通学や観光には電車やバスを利用しなければならぬと思いますが、イギリスは工事などで一部の路線が利用できなくなったりすることが時々あります。交通状況をよく確認することも大事だと思いました。さらにイギリスには日本の鉄道のように乗り越し清算のシステムがありません。残高が足りていないと罰金をとられることがあるみたいなので、オイスターカードを利用する際には残高をこまめに確認する必要があります。これはあまり知られていませんが、カードの残高を確認するアプリもあるので入れておくとわざわざ駅に行って確認する必要がなくなり、現地でもかなり役に立ちました。



▲ポートベロロード

アメリカ

CEL サンタモニカ校

CEL Language Centers



人文学部
英語英米文学科
4年次生(研修時)
寺尾 澄愛
Sumie Terao



研修機関や授業

ゲーム形式で進むので英会話に没頭できる。

授業は、1日3時間(8:45-12:00、15分休憩あり)週5日の形態を取り、文法・単語・リスニング・スピーキング・リーディング全ての技能のレッスンを毎授業行いました。その為、万遍なく英語スキルを伸ばすことができました。授業中は、常にグループワークやペアワークを行うことにより自然に会話をする機会が増え、また、ゲーム形式で進むレッスンは時間を忘れるほど英会話に没頭して楽しみました。受講生はアジアからヨーロッパ、南米等様々な国籍の生徒が在籍する一方で、夏休み期間中の研修に伴い、日本人留学生の割合がかなり大きかったように思います。しかし、校内では“You can speak only English”という校則に法り、授業時間以外もしっかり英会話に勤しみました。クラス名を“マイアミ”や“ホノルル”などアメリカの地名をあてるユニークなところやスタッフの寛容さに居心地の良さも感じました。本校がオリジナルで提供する観光ツアーは毎週計画されており、ドジャースの試合観戦やドルフィンウォッチング、サーフィン体験等を破格の費用で参加でき、クラスメイト以外の友達を作るチャンスにもなりました。



▲ドライブ中車窓から見たグランドキャニオン

衣・食・住

日焼け止めやサングラスが必須アイテム。

夏季のため気温が高いと予想して半袖半ズボンばかりを持参しましたが、来てみるとそれほど暑くはなく過ごしやすい気候でした。ただ、朝方や夕暮れ時、室内や交通機関の車内の冷房の効きすぎにより、半袖ではかなり寒く感じるためカーディガン等の羽織物が必需品でした。また、日差しが強すぎるため日焼け止めやサングラスも必須アイテムで、サングラスを持参し忘れて私は現地で調達しました。何もかもがビッグサイズのアメリカでは何を頼んでも一人では食べきれない量のため、いつも友人と分け合って食事をしていました。また、ジューシー過ぎるあまり渡米後2日で出来たこともないニキビが大量に発生したり、腹痛を起こす等のハプニングがありましたが、ヘルシーな食事に切り替えることで解決することができました。ホームステイ先のお部屋はとても快適で、不安でいっぱいだった心を落ち着かせてくれるほど居心地のいい場所でした。お部屋にはお風呂とお手洗いが併設されており、プライベートをしっかりと保障される一方、朝食や夕食を共にすることで現地の暮らしを体験でき、英会話の上達にもつながりました。

STUDY ABROAD DATE

- 都市名：ロサンゼルス
 - 研修期間：2018年8/13～9/14【33日間】
 - 研修講座・コース名：General English Intensive
 - 宿泊形態：ホームステイ
 - 費用概算
- | | |
|----------------------|-----------------|
| <必要な経費> | |
| ・研修費 | 180,000円 |
| ・旅費 | 244,000円 |
| ・宿泊費 | 177,000円 |
| ・食費 | 40,000円 |
| ・交通費 | 30,000円 |
| ・その他 | 94,000円 |
| <合計> | 765,000円 |
| 助成金支給額 | 300,000円 |
| 自己負担額 | 465,000円 |

休日・余暇の過ごし方

友人と観光やスポーツ観戦などを楽しむ。

語学学校の授業が午前中で終わるため、午後からは友人とよく観光に出かけました。ビーチへ行って高波に揺られたり、ダウンタウンを散策したりと、観光スポットが多すぎて尽きることはありませんでした。中でもディズニーランドとユニバーサルスタジオに行ったことは忘れられない思い出です。日本とは違ったアトラクションがたくさんあり、ピザやハンバーガー、ドリンクすら特大で、1日中はしゃぎまわっていました。また、野球やアメリカンフットボールのシーズン開幕と重なったこともあり、スポーツ観戦をする機会も得られました。時には車で弾丸キャンオンドライブやラスベガス観光をしたこともあります。ただ、平日によく遊びに出かけるため休日は家でホストファミリーとゆっくり過ごすことも多かったです。ホストファミリーには8歳の娘さんがおり、毎週金曜日の夜は映画鑑賞会が行われ、一緒に映画を見て夜更かしをしたり、土曜日にはコストコにお買い物に行ったりとホストファミリーの温かさに癒されていました。何も予定がない日には、家の近くのカフェに行き、一杯のコーヒーを飲みながら飛び交う英語に耳を澄ましリスニング練習をすることもしばしばでした。



思い出スナップ

▼市内を走るバス



▼友人とドジャースの観戦



▲HOLLYWOOD Signと共に

得たもの・学んだもの

できないことを気にせず、どんどん行動。

個人での留学が初めてだったため、最初はとても不安で自信がなく、日本人に頼ってしまうことがほとんどでした。英語をもっと使える環境に自分を置くために留学を決意したにもかかわらず、日本語を使ってばかりの現実に嫌気がさしていました。そんなある時、思い立って学校が独自でプロデュースする野球観戦に一人で参加することにしました。すると、一人で行こうとしていたもう一人のドイツ人女性と一緒に観戦しようとしてくれたのです。その時初めて、勇気を出して行動してよかったと思いました。英語がうまく話せないことを気にする間もなく観戦を楽しむことができ、それがきっかけでその後もディズニーランドに行ったり、ビーチで遊んだりと放課後を共にする関係になりました。できない自分に自信を無くしてしまうのではなく、できないことを気にせず、どんどん行動していくことが大事だと学びました。行動に移すことで、自分の環境は大きく変えられるということを身をもって体験し、さらに成長したいという向上心につなげることもできました。



▲老舗 Pink's の Hot Dog

後輩へのアドバイス!

様々な情報が載った本があればすぐ解決。

私は留学準備の段階で、ダイヤモンド社出版の『地球の歩き方 アメリカ西海岸』を購入し、簡単に目を通すようにしました。その甲斐あってか、入国審査手続きをスムーズに行うことができました。本書には旅行の準備方法から滞在先のことなど、様々な情報が載っています。公共機関の乗り方、交通ルール、紙幣・コインの区別の仕方まで知ることができます。もちろん、地図やお勧めの観光地、レストラン等も載っているため、行先に迷った際は本書を開けば問題はすぐ解決できます。アメリカについてからの1週間は毎日この本を持ち歩き、学校終わりのプチ観光ガイド役になってくれていました。本書を購入してよかったと思ったことは、バスの路線図が細かく記されていることです。アメリカはバスの種類が多く、よく混乱していたためとても助かりました。

もう一言!

通信障害の少ないLINEやSkypeが便利。

アメリカで生活していて一番困ったことは、交通機関の遅延です。普段きっちりくるバスがたまに20分も30分も遅れてきたり、遅延の知らせを受けて路線変更したにもかかわらずそのバスも遅延、結果授業に遅れてしまうということがよくありました。30分余裕を持たせても遅刻することが分かってからは、1時間余裕をもって家を出るようにしました。Wi-Fiは普及が進んでおり、基本的にどこでもインターネットにつながる環境だと思います。しかし、境目で毎回接続しなおすのが面倒くさい為、私はポケットWi-Fiをレンタルしました。レンタルする方が、どこでも接続状況を気にすることなく使えるので便利だと思います。また、家族や友人との連絡は、国際電話に繋げるのではなく、LINEやSkypeを常に使っていました。通信障害もほとんどなく、料金も発生しないためお財布にも優しいと思います。ただ、ネット通信量をよく使うので、電話をする際は、家や学校、カフェのWi-Fiを使わせてもらうのがお勧めです。



▲大好きなホストファミリーと

概要

申込み

受講許可後
(事前準備)

留学中及び
研修後の手続き

研修報告書
短期語学研修講座

研修報告書
長期英語研修講座

研修報告書
学生海外語学研修
助成制度(春季・夏季)

研修報告書
派遣留学制度

カナダ

ユーロセンタース トロント校

EUROCENTRES TORONTO



経済学部 経済学科
2年次生(研修時)

土井 美波

Minami Doi



STUDY ABROAD DATE

- 都市名：トロント
- 研修期間：2018年8/20～9/14【26日間】
- 研修講座・コース名：インテンシブコース(25)
- 宿泊形態：ホームステイ
- 費用概算
- <必要な経費>
- ・研修費……………171,000円
- ・旅費……………241,000円
- ・宿泊費……………112,000円
- ・食費……………35,000円
- ・交通費……………35,000円
- ・その他……………22,000円
- <合計>……………616,000円
- 助成金支給額……………300,000円
- 自己負担額……………316,000円



思い出スナップ

▼トロントの街並み



▼カナダ国会議事堂



▲ユーロセンタースのみんなと

研修機関や授業

テキストは買わず、配布されたプリントで授業。

初回のスピーキング、リスニング、گرامマー、ライティングの4つのテストを受けて、クラス分けが行われました。授業は午前のコアクラスと午後の自分で選択できるエレクトティブクラスに分けられ、スピーキング、ライティング、リーディング、گرامマーを体系的に学ぶことができました。テキストは買わず、先生が必要に応じてプリントを配るといった形式で授業が進められました。授業のメインはやはりスピーキングで、あるトピックが与えられそれに関して討論するものが多かったように思います。そのトピックはというと日本語で説明するのが難しいテーマが多かったため、なかなか話についていけずかなり苦戦しました。また、留学生の発言力もとても大きくてそれに押されてしまうことも多々ありましたが、できるだけ積極的に発言するように心がけました。当校の先生はとても優しく、生徒との距離が近いのでわからないところは理解できるまで丁寧に教えてくれました。この学校は日本人のコミュニティができていほど本当に日本人が多かったです。私のクラスは半分以上が日本人でした。また、生徒の国籍は日本人に次いでブラジル、メキシコ、スペインが多く国際色豊かでした。



▲大好きな“Tim Hortons”

衣・食・住

トロントの交通機関は分かりやすく便利。

トロントの気候は、日本ほど蒸し暑くなく気温もそれほど高くないので、とても過ごしやすかったです。主に半袖、または七分袖の上からカーディガンを羽織って過ごしていました。朝と夜は冷えるので、カーディガンは欠かせませんでした。私のホストファミリーはフィリピン系の家庭で、皆さん親切でとても良くしてくれました。食事は、朝と夜の2回用意してもらっていました。朝は自分でパンをトーストし、夜はホストマザーの手料理をいただきました。基本的にどれもおいしく、白ごはんが2日に1回くらいのペースで出てきたのは個人的に嬉しかったです。ホストファミリーのルールはあってないようなもので、お願いすれば柔軟に対応してくれました。洗濯は週一回のみでしたが、シャワーに関しては使用してよい時間帯のみで特に制限はありませんでした。ホストファミリーの家から学校までは約40分で、ダウンタウンへのアクセスがしやすい好立地な家でした。毎日、ストリートカー(路面電車)と地下鉄を乗り継いで学校へ通いました。トロントの交通機関は、地下鉄も南北と東西を走る2本のみで分かりやすく、ストリートカーやバスも張り巡らされているので、とても便利でした。

休日・余暇の過ごし方

トロント観光や週末ツアー旅行に参加。

放課後や休日は、せっかくトロントに来て何もしないのはもったいないので、いつも友人とトロントのいたるところへ出かけました。定番のCNタワー、ナイアガラの滝はもちろんトロントアイランドや、カサロマ、ワンダーランド、ディステイラリー地区や、トロントから足を延ばして、ケベックシティやモントリオール、オタワまで、予定を立てては色んな所へ行きました。また、この時期のトロントは年間を通して夏が短いということで様々なイベントが行われており、CNEやトロント国際映画祭の会場にも行ったりしました。1番心に残っているのは、上記3都市の週末ツアー旅行で、トロントとはまた違った、古くて趣のある建物を見たり、カナダにいなながらフランス語圏の文化に触れることができたりととてもいい経験になりました。さらに、ホストファーザーにハーバーフロントで行われたコンサートに連れて行ってもらった、彼の趣味である卓球をコミュニティーセンターまで行って一緒にしたこともあり、この一か月でトロントは回りつくしたと思います。私にとって、授業はとても苦痛に感じていたので、放課後や週末に出かけることを励みに頑張りました。

得たもの・学んだもの

母国日本の良さについて改めて気づいた。

研修を通して、本当にたくさんのことを学ぶことができました。1つはできない自分を受け入れることの大切さです。当初、振り分けられたクラスで同じレベルのはずなのに会話に入れないどころか先生や留学生の会話が全く理解できませんでした。間違えること、わからないことはとても恥ずかしいことだと思い込んでいたものもあります。そのことで悩み、アドバイザーの方に相談したところ「それは日本人によくあることで、誰もが経験すること。できない自分を受け入れその後どれだけ自分の殻を破れるかが大事だ」と言われました。これを達成できたか正直なところわかりませんが、とても大事なことを教わったように思い研修期間中はずっと心に留めていました。2つ目は、自分の生まれた国はとても素晴らしい国だということです。異文化の中で1か月生活してみてもそれまで気づかなかった日本の良さについて改めて気づくことができました。これは一度母国を出てみないと分からないと思います。現地の日本人とも話す機会がありましたが皆口をそろえてそう言っていました。



▲友人とトロントアイランドにて

後輩へのアドバイス!

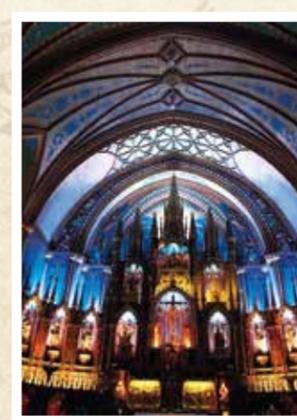
留学しないとできないことに挑戦しよう。

私は今回の留学で留学前にきちんと準備をするべきだったと実感しました。たとえば、まず英単語や文法はしっかり頭に入れてから来てください。私は今回、圧倒的ボキャブラリー不足を痛感しました。言いたいことはあるのにそれを伝える言葉が全然出てこなくてもどかしいことが何度もありました。言葉を一つでも多く知っていることは英語で会話するのにとても強みになると思います。次に、日本についての予備知識を入れておいてください。先生や留学生から日本のことをよく聞かれます。私は、日本での日々の習慣や伝統文化、日本食、法律のことまで聞かれました。うまく答えられなくて悔しい思いをしたこともあるのでぜひ日本のことはしっかり調べてから行ってください。そして最後に、留学したからには色々なところに足を延ばして行ってみてください。私は今回、もうトロントに来ることはないだろうと思うくらいの気持ちでトロント各所を巡り、色々な人に出会い、色々な経験ができました。ぜひ留学しないとできないことをたくさん挑戦してみてください。

もう一言!

ポケットWi-Fiを持っていくのがおすすめ。

トロントのWi-Fi環境は日本と比べると決して良いとは言えません。学校にもお店にもフリーWi-Fiはありますが、回線が込み合っているのかあまりつながりませんでした。これから留学を考えている人はぜひポケットWi-Fiを持っていくことをおすすめします。私は持って行きましたが、友人はWi-Fiを持っていないで待ち合わせの時間に遅れても連絡できない等の不便な思いをしたことがありました。ですが、ホストファミリーの家ではWi-Fi環境が整っていたため快適にインターネットを使うことができました。また、日本の友人、家族とは主にLINEで連絡を取り合っていました。私が研修したときのトロントは夏の後半だったため、気温が変わりやすく肌寒い日が多かったです。私はカーディガンで何とか過ごしましたが、長袖や厚手のパーカー、冬用のニットなどを持って行った方が良かったなと感じました。最後に、夏季休暇で研修地を選ぶならぜひトロントに行ってください。研修地として、そして初めての海外にトロントを選んで本当に良かったと思います。



▲ノートルダム大聖堂

概要

申込み

受講許可後(事前準備)

留学中及び研修後の手続き

研修報告書 短期語学研修講座

研修報告書 長期英語研修講座

研修報告書 学生海外語学研修助成制度(春季・夏季)

研修報告書 派遣留学制度

オーストラリア

LSI ブリスベン校

Language Studies International Brisbane



経営学部 経営学科
3年次生(研修時)

今村 若葉

Wakaba Imamura



STUDY ABROAD DATE

- 都市名：ブリスベン
 - 研修期間：2018年8/19～9/15【28日間】
 - 研修講座・コース名：General 20
 - 宿泊形態：ホームステイ
 - 費用概算
- | | |
|----------------------|-----------------|
| <必要な経費> | |
| ・研修費 | 143,280円 |
| ・旅費 | 167,390円 |
| ・宿泊費 | 125,620円 |
| ・食費 | 30,261円 |
| ・交通費 | 26,790円 |
| ・その他 | 37,760円 |
| <合計> | 531,101円 |
| 助成金支給額 | 300,000円 |
| 自己負担額 | 231,101円 |



思い出スナップ



▲タイ人の友人と



▲South bank

研修機関や授業

どの先生も分かりやすく丁寧に教えてくれる。

私が通った語学学校はブリスベンの中でも中心部に近かったので、ホームステイ先からの交通手段がいくつもあり、とてもいい立地でした。授業は午前9時から午後3時30分まで行われ、午前中に20分休憩とお昼に50分休憩を挟みます。私は午前中だけのコースを選択したので授業は午後12時40分まででした。授業は主にテキストを使って行われ午前は文法、午後はスピーキングが中心に行われました。先生によって授業内容が大きく異なりますがどの先生もわかりやすく丁寧に教えてくれます。学校に通っている生徒も様々な国籍の人で、英語を勉強する意識が高い人が多かったのが、簡単な内容も様々な例を挙げながら深いところまで学ぶことができました。ペアワークで違う国の人とペアになると自分とは違う意見を得られたり、その人の国のことがわかったり、授業外で話すきっかけにもなったのでとても楽しかったです。私がオーストラリアに行った時期は日本人が多い時期で、どうしても日本人同士だと日本語を使ってしまいがちでしたが、学校では英語を使うようにしていました。週に2回ほどアクティビティがあり、クラスが違う人とも仲良くなることができました。



▲ホストマザーからの誕生日プレゼント

衣・食・住

洗濯の回数とお風呂の時間に注意。

私は4週間ホームステイをしていました。ホームステイ先はホストマザーだけの一人暮らしの家庭でしたがよく留学生を受け入れているようで、家には留学生が住める部屋が2部屋ありました。最初の1週間は同じ学校に通うタイ人が同じホームステイ先に一緒に住んでいましたが、残りの3週間はホームステイ先には私一人でした。ホストマザーはとても親切でマザーの飼っている犬とよく公園に行きました。公園には近所の人たちも犬を連れてきており、犬を遊ばせている間おしゃべりを楽しんでいました。私もあまりしゃべりませんが近所の人も親切だったので、私の名前を覚えてくれて日本のこと、学校のことなどを話しました。学校以外でもこうして英語を使うことができとてもいい機会でした。8月、9月はオーストラリアではちょうど冬と春だったので少し薄めのコートやジャケットが必要なくらい寒かったです。また、オーストラリアはあまり雨が降らないため洗濯は週に1回、お風呂は10分程度と日本とは違うので少し注意が必要でした。お風呂は特にホームステイ先によって事情が違うようで同じ語学学校の人の中には5分しか入れないという人もいました。

休日・余暇の過ごし方

カフェごとに違うコーヒーを楽しむ。

休日は、語学学校の友達とブリスベンに隣接しているゴールドコーストや市内の公園や博物館、美術館などに行きました。ゴールドコーストでは、有名であるビーチ、遊園地へ行きました。ブリスベンの博物館と美術館は無料で入ることができ、日本とは違う文化を感じることができました。日本では見ることでできない美しいものを見ることができ、とてもいい経験になりました。また、私は授業が午前中だけだったので午後は図書館や観光スポットに行ったりしていました。図書館には、会話をする会が設けられており、数回参加しましたが学校以外でも英語を勉強している人と会話することができました。他にもホストマザーの勧めで映画を見に行ったこともありましたが、映画の内容すべてを理解することはできませんでしたが、勉強にもいい思い出にもなりました。私はコーヒーが好きでオーストラリアにはたくさんのカフェがあると留学前に調べていたので、よくカフェに行きました。オーストラリアではアイスコーヒーはただの冷たいコーヒーではなく冷たいコーヒーの上にアイスとホイップクリームが乗っているお店が多く、お店ごとに少しずつ違うのでいろんなカフェに行きました。

得たもの・学んだもの

自分から行動することで英語が身についた。

私はこの研修で英語力を向上できたのはもちろんのこと、積極的に自分から行動できるようになりました。生活するなかで様々な人と話すことで留学前より自分から行動できるようになり、それにより英語が身につきました。また、様々な人と話すことでブリスベンの文化をより知ることができ、ブリスベンのことが好きになりました。私が一番すごいと思ったブリスベンの習慣は、ブリスベンの人々のバスの乗り方です。ブリスベンでは、バスに乗るときに挨拶をします。朝なら、Good morning、昼や夕方なら Good afternoon と挨拶をします。するとバスの運転手さんが How are you? や Good day などと挨拶を返してくれます。そして降りる時は、後ろのドアから Thank you か運転手に向けて手を振るのがバスの乗り方でした。ただの挨拶といえそうですが、一人で日本から来た私にとっては不安でいっぱいだった気持ちを和らげてくれました。それと同時にとても優しい気持ちになりました。



▲ホストマザーと

後輩へのアドバイス!

Yes か No ははっきりとした意見を述べよう。

私が留学中に最も大切だと思ったことは、自分の意見をはっきりということだと思います。日本でははっきりというよりも少し遠い言い回しの方が好まれますが、海外では Yes か No かはっきりとした意見の方が好まれます。あまりはっきりとした意見でないと相手に否定的にとられます。また、会話の際に相槌や自分から積極的に質問しないと相手に自分の話に興味が無いと思われてしまいます。だから学校で学んだフレーズなどを使いながら自分の意見をはっきりと述べるのが大切だと思います。ブリスベンでは、交通機関を使う際に go カードという IC カードを使うことで少し交通費用を安くすることができました。このカードは、1週間のうちに9回以上使うことでそれ以降は半額になるというシステムだったので週末に出かけるにはとても便利でした。また、バスの種類は番号で分けられているのですがその番号がとても多く、あらかじめ自分で調べておかなければ少し迷ってしまうので、あらかじめ行きたい場所のリサーチしておく必要がありました。



▲ Art gallery

もう一言!

ブリスベンの人たちは親切な人が多い。

一人で留学するのは不安という人も多いですが、ブリスベンの人たちは、とても親切な人ばかりでした。カフェで隣の席に座った人と会話したり、店員さんと世間話をしたり、レストランでは冗談を言って場を盛り上げてくれたりと誰にでも分け隔てなく接してくれる人ばかりでした。私はブリスベンで誕生日を迎えたのですが、語学学校の友達、ホストマザー、立ち寄ったカフェの店員さん、いろんな人が私の誕生日を祝ってくれました。あんなにたくさんの人に祝ってもらったことはなかったのととても嬉しかったです。とても大切な思い出になりました。この4週間、私は自分の思いを英語で伝えられないことが多かったのですが、たくさんの人と出会い、話することができてとても楽しかったです。特に、ホストマザーとは毎晩夕食の後にたくさん話をしました。帰国の際は、空港まで見送りに来てくれて「あなたは今まで一番の留学生だったよ、また私の家に来てね」と言われて涙が止まりませんでした。これからも英語を勉強してまたホストマザーの家を訪ねたいと思います。



▲ワークショップ

概要

申込み

受講許可後(事前準備)

留学中及び研修後の手続き

研修報告書 短期語学研修講座

研修報告書 長期英語研修講座

研修報告書 学生海外語学研修助成制度(春季・夏季)

研修報告書 派遣留学制度

ドイツ

F+U ランゲージ・アカデミー ハイデルベルク校

F+U Academy of Languages Heidelberg



経済学部 経済学科
2年次生(研修時)
岡田 珠実
Tamami Okada



研修機関や授業

日本人の先生がいたので事務的な質問ができた。

授業自体は既習内容でしたが、全部ドイツ語、または英語の授業は集中力が必要で、大変だと感じました。宿題もたくさん出て、平日は宿題に追われる日も多かったです。私の語学学校は1コマ90分授業です。9時から開始なので時間に余裕がありました。また、私は午前中しか授業をとっていなかったのですが、12時15分には終わり、午後もゆっくりすることが出来ました。電子辞書は必須です。ドイツ語の文法も一通り頭に覚えていた方が絶対いいと思います。私はこの留学のために独検3級をとりましたが、それでも単語量が足りないために先生の話が半分も理解できずに苦労しました。レベルごとに何クラスかありますが、先生によって全く進度が違います。スタイルもまちまちで、私の場合は先生の夏期休暇に伴い、4週間の間に入れ替わりで3人の先生に指導してもらったので、合わせるのに苦労しました。この学校で良かったところは、日本人の先生がいるので、事務的な英語やドイツ語で伝えづらい質問も出来ました。異国の地で分からないことばかりだったのでとても助かりました。



▲カフェ

衣・食・住

晴れと曇りでは気温が違うので毎朝確認。

日本食はうどんやお湯だけでできる味噌汁などを持っていきました。外食ではシュニツェルを食べました。アツアツとても美味しかったです。ケバブは街のいたる所にあり、注文も簡単でよく利用しました。しかし、外食をすると現金でしか受け付けてもらえない店が多くすぐお金がなくなってしまいます。調理の簡単な食べ物を買って、寮で食べることも多かったです。この夏はブドウが豊作で安いという情報も手に入れました。1kgで200円ほどです。大量に買って小腹がすいたときに食べていました。スーパーも日本と食材が全く違うので、見るだけでも楽しかったです。チーズやソーセージを何種類か買って食べ比べをしました。洗濯は寮に洗濯機と乾燥機が完備されていたので全く問題なかったです。衣類は、8月の終わりには長袖を用意して着るようになりました。朝晩は肌寒く、昼になると気温があがるので、長袖、半袖どちらを着るのか、上着を持っていくか、そうでないか毎日迷っていました。また、湿度が低いので少し厚着をしていても汗はかかないです。晴れと曇りの日では全く気温が違うので毎朝確認することをお勧めします。

STUDY ABROAD DATE

- 都市名：ハイデルベルク
- 研修期間：2018年8/20～9/14【26日間】
- 研修講座・コース名：Deutsch Intensiv
- 宿泊形態：寮
- 費用概算
- <必要な経費>
- ・研修費(滞在費含む).....150,000円
- ・旅費.....170,000円
- ・食費.....20,000円
- ・交通費.....60,000円
- ・その他.....43,000円
- <合計> **443,000円**
- 助成金支給額.....300,000円
- 自己負担額.....143,000円



思い出スナップ

▼住んでいた寮



▲メルセデス・ベンツ博物館

休日・余暇の過ごし方

ウィンドウショッピングや観光・カフェ巡りへ。

学校が観光地の旧市街に立地しているため、帰り道にウィンドウショッピングを楽しみました。夏は日の入りが遅いので、8時頃まで外が明るいです。平日の放課後に隣の街に行き、お城や宮殿、博物館にも行くことが出来ました。日曜日はスーパーが閉まるため、図書館で勉強したり教会などに行きました。また、フランスのお菓子が好きだったのでカフェ巡りは生活の楽しみでした。ハイデルベルクは観光地だったので、休日にもハイデルベルク城や学生寮などに行きました。遠出はシュヴェービッシュ・ハルとシュトゥットガルトです。シュヴェービッシュ・ハルは本当に田舎で、古い町並みもとても綺麗でした。観光客が少なく、のどかで、地元の人が普通に生活しているので中世のヨーロッパにタイムスリップしたようでした。シュトゥットガルトはメルセデスベンツとボルシェのミュージアムに行きました。車にあまり興味はなかったのですが、展示の仕方がアーティストックでした。地震の少ないヨーロッパだからこそ出来る、大胆で迫力満点な展示物にとっても興奮しました。学校で開催されるアクティビティにも積極的に参加しました。

得たもの・学んだもの

自分の言いたいことが伝わったときの嬉しさ。

基本は授業時間の休み時間は英語でコミュニケーションをとります。最初は英語が苦手だと自分でも分かっていたので、あまり話しかけることが出来ませんでした。しかし、いざ話してみると何とか私の英語を理解してくれようとしてくれました。特に、中国人との会話はお互いに母語が英語でないためゆっくりな英語で分かりやすい単語が多くて話しやすかったです。単語が同じ漢字だったり、干支も共通の文化だったので盛り上がりました。中国では先生の日という休日があるということも教えてもらいました。伝えようとした内容が分かったときや、言いたいことが伝わったときの嬉しさはとても大きいです。同時に上手く伝わらないときもありました。英語の大切さを感じた部分です。また、インターネットの情報を頼りすぎないようにしようと思いました。ちょうど留学していた時期に工事が行なわれていて、日本語のウェブサイトでは運行しているはずの電車で、実際には途中の駅で止まり臨時バスになっていて驚きました。



▲シュニツェルの店

後輩へのアドバイス!

外国人との交流には英語が出来たほうが便利。

私は、交通費に大金を費やしてしまいました。ドイツでは早く電車を予約すればするほど安いです。100円単位ではなく、1,000円単位で変わってきます。私は、毎回当日に切符を購入していたため定額の支払いでした。機械の方が間違いがないですが、行先が元々決まっているのであればインフォメーションで手続きするとお金は浮くと思うと思います。夏休みや長期休暇中に留学すれば、もちろん日本人が多く安心出来ます。しかし、異国の地では、是非色々な国の人と交流してほしいです。私は授業中はトルコ人に分からないところを教えてもらいました。私は英語が全然出来ませんが、私のためにどうにかして伝えようとしてくれました。外国人との交流には英語が必須なので、英語は出来る方が絶対いいです。私は英語が苦手ですが、文法が間違っても大きな声で伝えようと努力しました。



▲学校の通学路

もう一言!

安全のため寮費はケチらないほうがいい。

この研修校での事しか言えませんが、寮の値段はケチらない方がいいです。友達の話によると、安い寮になるほど、トイレやシャワーの使い方が荒かったり、男性とのルームシェアになることがあるそうです。場所によっては、夜散歩くと危ない場所にある場合も。私の場合は女子寮で旧市街に立地していたので、安心して暮らすことが出来ました。ドイツでは、スーパーの会計が速いのでしっかり準備して臨んだ方がいいです。もたもたしていたらドンドン次の客の品物が降ってきます。また、レジ袋はくれません。日曜日には、お店がほとんど閉まるので週末に水や食料を買いためておいてください。ドイツの水道水は衛生的には問題ないですが、お腹をくだす人もいるそうです。現金は常に持っておくべきです。キャッシュカードでお金を引出す場合も24時間対応のATMだと、レートも違手数料も高いのでおすすめしません。手数料がかからない銀行のATMがありますが、土日は閉まっているので要注意です。



▲ハイデルベルクの眺め

概要

申込み

受講許可後(事前準備)

留学中及び研修後の手続き

研修報告書 短期語学研修講座

研修報告書 長期英語研修講座

研修報告書 学生海外語学研修助成制度(春季・夏季)

研修報告書 派遣留学制度

ドイツ

フライブルク大学

University of Freiburg



人文学部
英語英米文学科
4年次生(研修時)

長坂 花蓮
Karen Nagasaka



STUDY ABROAD DATE

- 都市名：フライブルク
 - 研修期間：2015年9/28～2016年7/29[約10ヶ月間]
 - 宿泊形態：寮
 - 費用概算
- | | |
|-------------|------------|
| ＜必要な経費＞ | |
| ・渡航費 | 190,750円 |
| ・授業料・滞在費 | 309,400円 |
| ・保険料(個人加入分) | 151,530円 |
| ・渡航準備・査証取得費 | 5,000円 |
| ・食費 | 400,000円 |
| ・交通費 | 24,000円 |
| ・通信費 | 38,500円 |
| ・その他 | 128,360円 |
| ＜合計＞ | 1,247,540円 |



思い出スナップ



▲日本語講座の生徒たちと



▲ドイツ海軍記念館(ラーボエ)

研修機関や授業

各講座ごとに推奨語学レベルが設けられている。

8月と9月はSLIと呼ばれるフライブルク大学の語学学校へ通った。渡航前に受けたプレシメントテストの結果から、わたしはそれぞれB1-1、B1-2のクラスで授業を受けた。後者はドイツの州や政党などについて扱ったので、より難しく、より深くドイツについて学んでいると感じた。午前中の授業以外にも、午後にはセミナーが行われる。ヨーロッパの諸問題を取り上げるものに参加したが、日本ではあまりニュースにされないような経済・政治問題などを学ぶことができた。9月のコースが終わると、大学で開講される冬学期の講義とは別に交換留学生向けの講座(SLI内)を受けられる。種類は様々だが、各講座ごとに推奨語学レベルが設けられている。わたしはドイツ語文法コース(B2-1)、文学系と環境系の講座を中心に受講していた。大学の正規講義は当然ながらすべて速いドイツ語で、残念ながらわからないことが多かったため、聴講生として参加。語学学校でも大学でも筆記試験よりもプレゼンを作る機会が多いうえ、積極的に質問をする生徒が多く、参加者によるディスカッションを重要視している印象。難しいが、それぞれの授業はやりがいを感じられるものだった。



◀ Cas Day² in フランクフルト

衣・食・住

コート等の防寒具は日本の物だと寒い。

この研修中、わたしはWGと呼ばれる、いわゆるルームシェア形式の学生寮(名称:Händel)に滞在していた。キッチン用具や掃除用具に関しては用意しなくてもよい。同居人が8人いたが、一般的には3~5人が多いようだった。キッチン、冷蔵庫、シャワー、居間を共同で使用し、各掃除・ゴミ出し、必需品の買い物(じゃがいも、トイレトペーパー、洗剤、調味料等...1か月ごとにWG経費として住人から徴収)は当番制だ。これらのルールは住むところによって異なる。ドイツ語や英語で同居人たちと意思疎通ができるので、寂しさを感じない・寮についての疑問が解消できるというメリットがあるが、夜中に騒がしいと感じることもあったので、共同生活ゆえのデメリットも。食事は学生食堂で昼食を取り、夜は寮のキッチンで作っていた。スーパーで買えない日本の調味料はフライブルク内いくつかあるアジアマーケットで購入することができる。衣服は夏服と秋服を渡航時に持って行き、急に日が短くなり寒くなる10月頃からH&Mなどで冬服を購入。特にコート等の防寒具は日本の物だと寒いと聞いたので、現地のもを購入した。親に日本から送ってもらうのも方法のひとつ。



▲黒い森地方の村

休日・余暇の過ごし方

大学周辺には飲食店が軒を並べている。

何も予定の入っていない時間は大学図書館で勉強をしたり、タンデムパートナーと会う時間を定期的に取り取っていた。タンデムでは勉強するだけでなく、お互いのところで料理を作ったり、一緒に映画を見に行ったりもした。ちなみに料金は日本より安いし、ときには日本映画(独語字幕or独語吹替)が上映されることもある。休日はレギオカルテという定期券を利用して、黒い森地方の山村や周辺地域を訪れた。日曜日は外国系飲食店以外、どこの店もだいたい閉まっているので、寮内で同居人たちと料理を作って食べることもあった。大学関係以外では市民学校の日本語講座に参加してもらい、ドイツ人の日本語学習の様子や日本語教師の教え方を直に見学したり、ときには手伝いも。参加者が夏休み中に行っていた勉強会にも助っ人として参加していた。また、スタムティッシュと呼ばれる食事が独日協会や独日学生グループで開催されていたため、月に一度参加していた。フライブルク大学の建物はだいたい街の中心部にあるものが多く、周辺ではカフェやレストラン、バーなどといった飲食店が軒を並べているので、友達と食事したり会話を楽しむ場所を探す分には困らない。

得たもの・学んだもの

良い意味で遠慮することがなくなった。

一番に思いつくことといえば、良い意味で遠慮することがなくなったということだ。最初は「遠慮=美德」という日本人精神が強かったが、WGでの複数人の同居人たちの生活、ビザ申請や住民登録等で立ち寄る役所などでは、その態度がむしろマイナスになることがある。「空気を読む」という文化は通用しないので、少し図々しいくらいの言葉や態度で接した方が丁度良いのだと学んだ。また、ドイツ国内に長期滞在したことにより、日本ではニュースでしか知らなかった難民問題やそれに対する住民の意見を実際に見聞きする機会が増えた。すると、自分の中で各問題が現実味が帯びてきて、日タイメージして考えられるようになった。母国に関することでは、日本語に興味があるが基礎を学んだことがない学生に言語を教えられるほど、自分は母国語のことをあまり知らないことに気付かされた。それが、ドイツ語を学ぶ以外に日本語や日本文化を見つめなおしてみようきっかけとなり、日本語教育に対する興味関心へと繋がったので、タンデム学習から得られたものは大きかったと思う。



▲姉妹都市ブースでの手伝い

後輩へのアドバイス!

適度な緊張感を持つことを忘れない。

よほどネイティブとの会話に慣れた学生でないかぎり、大学での成績と会話力は直結しない。実際にわたしも渡航直後は会話がまだ苦手で、情けないと思うことが何度もあった。準備期間中に、独会話を実践できる機会があれば、相手に考えを伝えることを第一に考える。知ったかぶりせず、わからないことは聞くこと。よく耳にするフレーズの数々だが、繰り返し実践することで確実に力が付くだろう。次に、外国人だけでなく、現地日本人・日本人団体とも積極的に関わるのが良い。異国で暮らす先輩として心強いアドバイスももらえるうえ、思わぬ方面での人脈が得られる場合もある。最後に、常に自分の身は自分で守る努力をすること。テロや暴動など、昨今話題に上るような事件はもちろんだが、それ以外にも日本人はスリや置き引き、特に女性はナンパに遭いやすい。楽しい留学生活を送るためにも情報に目を光らせて、適度な緊張感を持つことを忘れないでほしい。日本からは「必携ドイツ文法総まとめ」という文法書を持って行った。見た目反した情報量の多さは、まさに「必携」。

もう一言!

各施設の営業時間を事前に調べておく。

ドイツの各施設(銀行、外国人局、学生課、インターナショナルオフィス、寮のハウスマスター窓口等)は曜日によって営業時間が異なる場合があるので事前に調べておくのがベスト。特に滞在のための手続きで何度もお世話になる「外国人局」は営業時間がバラバラなうえに、毎日たくさんの方が来るので注意が必要。ちなみに水曜日以外は昼の12時で閉まってしまふ。備考としてビザ申請費用について書いておく。ドイツでは渡航後にビザを取得するが、その際フライブルク大学からもらえる「奨学金受給証明書」を提示すれば申請費用は無料になる。わたしの場合、大学間で手違いがあって奨学金と受給証明書を受取るのが遅れたため、申請日に間に合わず、当日50Euroを支払った。何かおかしい点があれば、すぐに現地インターナショナルオフィスの留学生担当者に相談すること。



▲ロンドンには飛行機で約2時間

中国

上海财经大学

Shanghai University of Finance and Economics



人文学部 社会学科
3年次生(研修時)
八塚 聖太
Shota Yatsuzuka



研修機関や授業

初級は英語で中国語の意味や用法を理解。

私はこの長期留学期間中、校内にある寮に住んでいました。1か月1,200元とかなり安いのに加え、毎日寮の中を掃除してくれるおばさんがいたので常に清潔でした。部屋は二人部屋でルームシェアなので、外国の人と同じ部屋であった私は、違う国の文化や言語を学ぶことができ、いい経験になりました。また、寮を出て10分ほど歩くと最寄りの駅、バス停にたどり着くことができるので、移動はかなり便利でした。前期の授業では、基礎からしっかりと中国語を身に付けたかったため、一番下のレベルの初級クラスを選択しました。そのクラスでは、中国語をほとんどまっさらな状態から学ぶ人が多かったため、英語で中国語の意味や用法を説明していく進め方でした。私は留学開始当初、英語も全く喋ることができなかったのですが、英語も理解しないといけない環境に身を置かれ、同時に英語もスキルアップすることができてとてもいい機会になりました。そして、後期の授業ではレベルを上げ、初級三のクラスで勉強しました。そこでは英語はほとんど使われることがなく、中国語の説明も中国語で行われました。また、前期で学んだ中国語を、後期でしっかりと記憶させることができました。



▲北京へ旅行に行った際に登った万里の長城

衣・食・住

物価は安い、衛生面には気を付けよう。

私は約一年を通して中国に住んでいたので、夏用の薄い服や冬用の厚手の服などを日本から持って行きました。ですが、中国に向かうときに衣類がかさばり、荷づめはかなり苦労しました。シーズンに合った服を現地で購入するのもありだと思います。中国は物価が安いので、食は値段をあまり気にせず選ぶことができている。また、私は学校近くの中華料理屋によく行き、様々な中華料理にチャレンジしていました。ですが、油っこいものがほとんどなので、お腹を壊すことはよくありました。また、衛生面についても信頼できないお店があるので、気を付ける必要があります。そして、一年の留学期間中は校内にある寮で生活をしていました。部屋の中のモノは、部屋によっては汚かったり、壊れていたりすることがあります。また、窓に網戸がないので、夏場は蚊が入ってきて大変でした。私は買いませんでしたが、中国のファミリーマートやスーパーに蚊が入って来ないようにするためのネットが売られているそうです。日本と違う部分が多すぎて困惑することが多々ありましたが、寮関係のことは寮にいるおばちゃんに相談すれば解決できたので助かりました。

STUDY ABROAD DATE

- 都市名：上海
 - 研修期間：2017年9/6～2018年6/29【約10ヶ月間】
 - 宿泊形態：寮
 - 費用概算
- | | |
|---------|----------|
| ＜必要な経費＞ | |
| ・研修費 | 7,000円 |
| ・旅費 | 20,000円 |
| ・宿泊費 | 163,000円 |
| ・食費 | 200,000円 |
| ・現地交通費 | 12,000円 |
| ・その他 | 135,000円 |
| ＜合計＞ | 537,000円 |

休日・余暇の過ごし方

日中友好成人式の実行委員を経験。

私は旅行、街の散歩が好きなので、時間があればバスや電車を使っているような場所に行っていました。観光地はもちろん、街から離れた路地に入って中国の生活を見ていました。一人のときもあれば、クラスメイトを誘って一緒に行くこともありました。実際に中国に行かなければできない体験ができたので、とてもよかったです。また、中国のアプリを使って映画やドラマ、アニメを見ることもありました。日本のものを見るのが多かったですが、それには中国語の字幕があり、中国語の勉強にもなっていました。さらに、日中友好成人式という催しの実行委員をさせていただきました。そこでは、上海にある日本企業に訪問させていただいたり、成人式の企画を考えたりと、貴重な経験をさせていただきました。そこでできた日本人の友達と交流を深め、一緒にご飯を食べに行ったり、卓球をしたり、麻雀をしたりして、充実した時間を過ごしました。この日中友好成人式は、約半年をかけて準備する大掛かりなものでしたが、空いた時間を有意義に使うことができたのでよかったです。加えて、休日はよく寝ていました。病気になりたくなかったので、健康面にはかなり気を使っていました。



思い出スナップ

杭州へ訪れた際に行った、世界遺産の西湖



▲クラスメイトの家でのホームパーティ



得たもの・学んだもの

異文化を理解でき、客観的に物事を見られるように。

この一年の留学で中国語はもちろん、英語も学ぶことができました。拙い英語でクラスメイトを困らせたこともよくあったと思いますが、英語が話せない私のために簡単な英語を使ってくれたり、ゆっくり話してくれたり、とても優しくかったです。また、中国の文化、生活だけでなく、多くの国のことも学ぶことができました。できるだけたくさん友達を作ろうと努力し、積極的にいろんな人に話しかけにいきました。留学当初は英語が全く使えなかったため、コミュニケーションをとるのにかなり苦労しましたが、翻訳アプリや簡単な中国語を使いながら努力しました。さらに、ルームメイトも外国人であったため、初めのころは意思疎通が難しくストレスになることも多かったのですが、異文化を理解することで考え方が少しずつ変わり、客観的に物事を見られるようになりました。留学前に想像していたもの以上に得たものが大きかったです。



▲上海で仲良くなった日本人の友達が開いてくれた送別会



▲上海で一番好きな場所

後輩へのアドバイス!

中国の動画アプリやネットはかなり役立つ。

留学に行く前に、簡単な英語を勉強しておくとお便利かと思えます。もちろん中国語も重要ですが、クラスメイトとコミュニケーションをとる上で英語は必須になります。また、授業での中国語を学ぶテキストも英語で訳されているので、英語を勉強しておいて損はありません。少し喋れるだけでも、心に余裕ができると思えますし、ミスを犯す可能性も小さくなります。また、私は中国にいた間にはYouTubeの英語のチャンネルを見て、日常で使えるような英語のフレーズを勉強していました。さらに、中国語を勉強するなら、中国の動画アプリやネットで、日本の映画やドラマを見るのがおすすめです。ほとんどの動画には中国語の字幕があり、日本語での簡単な表現を、中国語の字幕を見ることで身に付けることができます。やはり、日本語でもよく使う表現は中国語でもほぼ同じような意味のものがあるので、かなり役に立つと思えます。

もう一言!

日本語が話せる友人を見つけよう。

私は渡航直後、何か問題があったときに、日本語が話せる中国人の友人に助けられていました。また、同じ大学内で日本人の友達ができるときには、お互いに助け合っていました。留学の一番の目標は言語を学ぶことだと思うので、日本語をできるだけ使わずに生活するのがベストだと思いますが、自分と同じ国の人と母国語で会話するとかなり安心でき、ストレスも解消されていました。私の場合、留学でいろいろな部分で知らないうちに負担がかかってストレスになっていました。たまには日本語を使い、悩みや困っていることを聞いてくれる友達を見つけることは、とても重要なことだと思います。私は一年留学している間、大きな病気をしませんでした。健康面に気をつけていないと誰でも病気になり得ると思います。もし海外で病気にかかってしまうといういろいろな面倒です。ですので、語学の勉強も大事だとは思いますが、まずは自分の体を第一に考えて生活してほしいと思います。



▲シーズンによって変わる装飾がきれいで、何度も訪れた田子坊

概要

申込み

受講許可後
(事前準備)

研修中及び
研修後の手続き

研修報告書
短期語学研修講座

研修報告書
長期英語研修講座

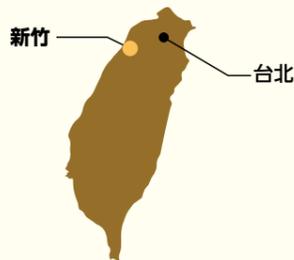
研修報告書
学生海外語学研修
助成制度(春季・夏季)

研修報告書
派遣留学制度

台湾

玄奘大学

Hsuan Chuang University



法学部 法学科
卒業生
宮田 香穂
Kaho Miyata



研修機関や授業

漢字がほぼ同じな繁体字なので理解しやすい。

玄奘大学は、台北からバスで約1時間半の新竹市にあり、周りは自然に囲まれて空気がとても綺麗な場所にあります。校内はすべてWi-Fiが飛んでおり、学生は無料で利用できます。学生証が悠遊カード(ICカード)になっていて、本の貸し出し、パソコン室・コピー機の利用、校内のカフェやコンビニでの買い物ができます。また、バスや台鉄、MRTの交通機関や公共施設の入園の際にも利用でき大変便利です。授業は、殆どがPowerPointで教科書を使う授業は限られていました。レジュメは配られないので、各自でコピーし授業に持参するという形でした。私は、主に専攻科目を履修し、中国語の授業は週に2回(約3時間)うけていました。日本人留学生が1人だった為、日本語学科の先生とマンツーマンの授業でした。専攻科目の方は、当たり前ですが全て中国語であった為、はじめは大変苦戦しました。しかし、台湾は繁体字のため、漢字がほぼ同じなので視覚で理解することが出来ました。また、授業の中に日本の事案が多々出てくるので、共通点や相違点を発見できて楽しいと思えます。日本語を学びたい学生も多く、お互いに教え合いながら交流することができました。



▲高雄の六合國際觀光夜市

衣・食・住

寮に併設する食堂の料理は安くて美味しい。

新竹は台湾の中で風の強い地域ということもあり、冬は思っていた以上に寒かったです。12月の下旬まではコートもなく過ごせましたが、それ以降は耐えられず厚手の物を購入しました。9月~10月は台風が多いので雨具は欠かせません。気温と湿度がとても高いので、室内は冷房がガンガンにかかっています。私は、屋外との温度差に体調を崩しやすいので、暑くても羽織るものは持って出かけるようにしていました。寮の中は、キッチン、冷蔵庫はなかったため、食事は寮に併設する食堂でしていました。すべての店がテイクアウト可能なので、寮に持ち帰って食べたり、教室で食べたり出来るととても便利でした。金額もリーズナブル(1日700円程)ですし、店舗数も多いので、あまり飽きることはなかったです。小籠包も1つたったの6元(約20円)で食べられ、とっても美味しいので学生に評判でした。大学寮は、手前が女子棟で奥が男子棟と分かれています。5人部屋で、2段ベッド2つと1段ベッド、共同のトイレとシャワールームがあります。トイレ事情がよくないので、はじめは共同に抵抗を感じるかもしれませんが、日用品などは食堂横の売店にすべて揃っているので安心でした。

STUDY ABROAD DATE

- 都市名：新竹
 - 研修期間：2016年9/12~2017年6/20【約10ヶ月間】
 - 宿泊形態：寮
 - 費用概算
- | | |
|-------------|----------|
| ＜必要な経費＞ | |
| ・渡航費 | 260,000円 |
| ・保険料(個人加入分) | 92,030円 |
| ・渡航準備・査証取得費 | 27,000円 |
| ・食費 | 144,000円 |
| ・交通費 | 20,000円 |
| ・通信費 | 50,880円 |
| ＜合計＞ | 593,910円 |



思い出スナップ

▼台中の友達と



▲有名店の小籠包

得たもの・学んだもの

留学で得られる財産は、人との出会い。

正直、私は語学の土着が留学生活における充実感や成長を実感するものであると思っていました。しかし、日々の生活や友達や先生との交流の中で、様々な発見や価値観を覆されるものがあり、そのような経験を通して国際的な視野で物事を見られるようになったり、私自身の変化を感じることに喜びを覚えました。留学前、留学で得られる財産は語学だけではなく、人との出会いであると言われました。私は、本当にそのことを実感しましたし、その出会いを自分の将来の取り組みにつなげていきたいと強く思いました。中国語の先生に「授業で学んだ内容も、もちろん自分の知識となるが、その授業で学んだことを教室の外で活かすことが、さらに濃い知識や体験に繋がる。机に向かうことばかりが勉強ではない。」という言葉を言われ、今までの勉強に対する姿勢、留学中の過ごし方を見つめなおすことが出来ました。これまで、客観的に見ていた国を主観的に感じ、そのうえで得た語学力、留学中の人々や言葉との出会い、経験が自信となりましたし、これからの自分自身の糧となりました。



▲黄先生の誕生日会



▲キャンパスの風景

後輩へのアドバイス!

日本への関心が高い学生。積極的に交流を。

私はほとんど語学が身につけていないまま留学にきました。中国語は発音が難しいため、初めは言いたいことが伝わらず困る場面が多々あり、伝わらないかもしれないからと中国語をしゃべらなくなりました。しかし、耳から入ってくる言葉が多ければ多いほど、自分の語彙力や発音の上達は本当に早いです。語学に自信が無いからと不安になる事は、留学において必要ないと思います。特に台湾は日本への関心が高いため、現地の学生達も積極的に交流しようとしてくれます。はじめは戸惑うこともあるかもしれませんが、とにかく内気にならず受け入れることが出来れば、スムーズに仲を深めることが出来ます。台湾料理を食べに行こうと誘ってくれたり、台湾学生ならではの流行物や文化を教えてください。インターネットや書籍では得られない情報を知ることが出来るので、逆に「日本は?」と色々質問されるので、日本のことをもっと勉強しなければと思われました。正しい日本の情報を伝えられるようにしておく会話のきっかけになるので良いかもしれません。

もう一言!

「非常に日本と近い存在」だと感じた台湾。

台湾で生活していると、時々本当に留学に来ているのか分からなくなる感覚がありました。それは本当に、日本のものが溢れ、日本のニュースや流行がすぐ耳に入ってくるからです。私が感じた台湾は「非常に日本と近い存在」です。私は留学先の場所しか見れていませんが、こんなにも日本の文化や風習を受け入れてくれていることに喜びを感じましたし、日本語を学びたいと思っている学生が多いことにも驚きました。もちろん良いところばかりではなく、嫌なところも見えてしまっていますが、同時に日本に対して同じ感情を抱きました。それは、海外にいるからこそ発見できることで、当たり前が当たり前ではなくなっていく感覚でした。自分自身、その違いを受け入れることが出来るようになっていくことも、留学生活における貴重な経験だと思います。遠い場所にあると思っていた国が、私だけではなく、話を聞いたり、実際に足を運んだ日本の家族や友人も近くに感じたと言ってくれました。それは、留学をして少しでも自分が日本と台湾の架け橋になったのではないかと思いました。



▲学祭

概要

申込み

受講許可後
(事前準備)

研修中及び
研修後の手続き

研修報告書
短期語学研修講座

研修報告書
長期英語研修講座

研修報告書
学生海外語学研修
助成制度(春季・夏季)

研修報告書
派遣留学制度

韓国

平澤大学

Pyeongtaek University



人文学部
英語英米文学科
3年次生(研修時)
香川 菜苗
Nanae Kagawa



研修機関や授業

初めは苦労した授業も
だんだん慣れてきた。

平澤は、ソウルからバスまたは車で一時間程(地下鉄で約1時間半)の場所に位置し、近年、お店や住居が増えてきた開発新都市です。観光地のような感じではなく、ソウルからもさほど遠くなくて、とても住みやすい町です。平澤大学は、平澤駅からバスで約15分くらいのところにあります。私は、アメリカ学科の学生として交換留学をしました。アメリカ学科の授業はもちろん中国語や教養科目、留学生専用授業なども履修しました。また、友達作りのきっかけとして日本語学科の授業にも聴講という形で参加しました。1コマ50分の授業で、基本的に一つの授業が、2コマ、3コマ続けて実施されます。基本的に1コマ終わるごとに休憩を挟み、再び授業を再開しますが、時々休憩がないときもあったり、1回に3コマある授業はしんどいと感じる時もありました。また、初めて授業を聞いたときは、先生が言っていることを聞き取ったり、授業の流れをつかむこと、宿題をすることにすごく苦労しましたが、だんだん慣れてきました。履修申請や授業に関すること、また留学生の寮に関することについては、平澤大学の国際交流課の方や、日本語学科の助教さんが手伝ってくださいました。



▲桜祭り in 平澤大学

衣・食・住

近くに飲食店が多いので
食生活は困らない。

平澤大学の寮は構内にあります。寮内では土足厳禁のため、一階の靴箱で室内用サンダルに履きかえて移動します。このスリッパは、現地で買うのをおすすめしますが、留学初日、入寮時間が遅い場合は、準備しておくともよいかもれません。寮では、毎日22時50分に点呼、毎週木曜日に「掃除の日」があります。寮内には、洗濯室、ジム、調理室(冷蔵庫、電子レンジ、ウォーターサーバー有、ガスコンロ、IH無)があります。洗濯機は数台あって、一回1,000ウォンで使用できます。私は、四人部屋を使用しました。部屋には、一人ずつに机、ベッド(ベッドマット有)があって、入寮時にベッドカバーも貸してもらえます。その他の毛布などは現地で買ったり、前留学生から譲り受けたものを使いました。寮では、火を使って料理できませんが、近くのマートで電子レンジでできるものを買うことができます。また、韓国では、배달(配達) 포장(テイクアウト)文化が発達しているし、学校の周りには、韓国料理店、お弁当屋、とんかつ屋、パン屋など飲食店も多いので、食生活で困ることはほとんどありませんでした。大学近所のダイソーやマートで日常必需品を購入することができます。

STUDY ABROAD DATE

- 都市名：平澤
 - 研修期間：2017年3/1～6/21【約4ヶ月間】
 - 宿泊形態：寮
 - 費用概算
- | | |
|-------------|----------|
| ＜必要な経費＞ | |
| ・渡航費 | 14,700円 |
| ・保険料(個人加入分) | 49,000円 |
| ・渡航準備・査証取得費 | 13,000円 |
| ・食費 | 100,000円 |
| ・交通費 | 25,000円 |
| ・通信費 | 20,000円 |
| ・その他 | 110,000円 |
| ＜合計＞ | 331,700円 |

休日・余暇の過ごし方

実際に生活を体験したことは
貴重な思い出。

休みの日は、基本的に友達と遊んだり、少し遠くまで旅行に行ったりしました。平澤駅周辺には、百貨店、飲食店、服屋、カラオケ、化粧品店などなど、お店が多く賑わっています。ちょっと出かけたという時や、空きコマに友達と遊びに行くときによく行きました。地下鉄一号线に乗ると、華城で有名なスウォン(所要時間約30分)や、ソウルにもいくことができるので、何度も遊びにいきました。韓国での五月の連休の際にはメントリング(チューター)活動を通して、チョンジュやカピョンに行きました。チョンジュでは、韓服を着て韓国の伝統的な街並みを歩いたり、「李成桂の故郷チョンジュ」について博物館を見学しました。カピョンでは、ペンションに泊まって、バーベキューをしたりと、普段の旅行ではできない体験をすることができました。また友達のお家に泊まって、韓国の家庭料理をいただいたり、公共交通機関でない自家用車に乗ったりと、韓国の人々の生活を実際に体験したこともすごく貴重な思い出です。友達と遊びながら、何気なくする会話が自分の韓国語の勉強にもなりました。



▲MTin ソンタン



思い出スナップ



▼大学祭



▲チャムシル

得たもの・学んだもの

「挨拶」が一番大事だと思った。

留学中、一番大事だと思ったのが「挨拶」でした。普段、普通に自国で生活していたらそんなこと気づかなかったかも知れないし、考えもしなかったかもしれません。一度知り合ってくれた誰かに、寮や授業でよく会うけどまだ話したことのない誰かに。最初は、ちょっとした挨拶だけでも緊張してなかなか勇気がでませんでした。友達が遊ぼうと誘ってくれて、いろんな心配をして、喋るのが怖くて、うまく韓国語で喋ることができませんでした。そんな状況で、いい方向に自分を変えてくれたのは、挨拶でした。一言の挨拶が、今後の人間関係や、会話を続けてくれるきっかけになりました。また、メントリング活動や、韓国での生活を通して、韓国の人々のおもてなしの心や、気持ちをちゃんと言葉と行動で示す姿勢、韓国の歴史や文化、生活についてしっかりと学ぶことができたと思います。



▲全州

後輩へのアドバイス!

行きたいと思っただけ
ひ挑戦しよう。

大 学生活でこれから自分が何をすべきなのか分からなくなった、そんな時に挑戦してみようと思ったのが今回の留学でした。元々、留学に興味はありましたが、派遣留学となると期間も長く、今後の学校生活や費用のことも考えることが多いのでなかなか踏み出せずにいました。でも、その時は、自然と留学に対する自分の強い気持ちが固まっていました。最初は、家族に反対もされましたが、どうしても後悔しなくて自分の意思を貫きました。もしかしら、そのタイミングじゃなかったら留学に踏み切れてなかったかもしれません。留学中は、決して楽しいことばかりじゃなくて、泣きくなるような時もあり、しんどい時もありました。でも、結果的に様々な思い出とたくさんの出会いと経験を通して成長することができたこの半年間は、留学前の自分の決意を決して後悔させないものにしてほしいと思います。不安や心配は何をしてもついてきます。それよりも行きたいと思った自分の気持ちを大切にぜひ挑戦してみてください。

もう一言!

生活リズムや食生活は
いつも以上に注意を。

私 は、半年間の留学だったため、韓国で携帯を購入せず、個人Wi-Fiも借りませんでした。大学構内では、Wi-Fiがどこでも繋がっていますが、場所によっては弱かったり、寮のWi-Fiは少し弱いので、一年間滞在する場合は、購入することをおすすめします。キリスト教大学のため、お酒を飲んだら寮に入れません。また、点呼の時間を過ぎると寮の出入りができなくなり、外泊届の記入がないと罰点をもらうこととなります。曜日によっては交通機関(特にバス)が満席になって予定どおり乗車できないことがあります。私も、最初は分からないことだらけでしたが、友達が教えてくれたり、手伝ってくれて寮生活や交通機関にもだんだん慣れました。留学を通して、韓国で生活をし、日常で韓国語を使い精神的にも学力的にも成長できたと思います。一度、体調を崩して熱を出したときがありましたが、海外で体調を崩すとかなりしんどいので、生活リズムや食生活にはいつも以上に気を付けてください。また、万が一に備えて、事前に薬局や病院も確認しておくことをおすすめします。



▲韓国家庭料理

韓国

平澤大学

Pyeongtaek University



ソウル

平澤

人文学部
英語英米文学科
3年次生(研修時)
山上 史歩

Shiho Yamagami



研修機関や授業

韓国語会話、読み、聞きの授業が新設。

平澤は、今非常に発展している都市で、近年の留学生の増加に伴って、私が留学した年から韓国語会話、読み、聞きが授業が新設されました。留学する前までは、簡単なレベルの授業をするのだと思っていたのですが、一年目だったのもあり、先生と私たち生徒がどのくらいのレベルの勉強をするのか決めて、大体 TOPIK 4~6 級の間のレベルで発表の技術、文章の読み方と書き方、聴き取りを勉強しました。そこで中国やベトナムから来た留学生の友達もできて楽しかったです。韓国語以外の専攻や教養の授業も履修しました。留学したの頃は、大学の講義をすべて聞き取るには韓国語の実力が不足していたため、かなり苦労しました。しかし、そこで会った韓国人の友達に行事に誘ってもらったりして、参加するのも楽しかったし、今となってはいい思い出だと思います。松山大学はコマが 90 分ですが、平澤大学は専攻科目が 180 分、教養科目が 120 分もあったため、最初は「長いなあ」ばかり考えていたのですが、すぐに慣れました。テスト期間は松山大学よりも勉強する雰囲気があったため自然と勉強に打ち込めたと思います。



▲韓国語の先生と一緒に勉強したみんな

衣・食・住

防寒具は韓国で購入することをお勧め。

韓国の冬は非常に寒いので、日本の防寒具ではなかなか乗り切るのが厳しい日もあると思います。そのため、防寒具は韓国で購入することをお勧めします。韓国に辛い物が多いと言っても、韓国にも辛い物を食べられない人はいるし、韓国人の友達が気づかせてくれたのもあり、食事で苦労することはありませんでした。ただ寮に電子レンジしかないの、自炊が思うように出来ず、食費はかなりかかると思ったほうが良いと思います。寮は思っていた以上に綺麗で、毎晩 10 時 50 分に点呼がある以外に不便なことは、ほとんどありませんでした。1 学期は日本人 4 人と、夏休みはインド人とパキスタン人と、2 学期は、もっと韓国語を使いたいと考え韓国人 3 人と一緒に暮らしました。海外に留学したのに、一日の最低 4 分の 1 を占める部屋の中で日本語を使うのはあまりにもったいないと思います。違う国の友達と一緒に暮らすことで、得ることは思った以上に多いです。部屋のことで困ったことがあったら、何でも事務室の方に話したら親切に相談に乗ってくれるので相談してみるといいと思います。



▲全州旅行

STUDY ABROAD DATE

- 都市名：平澤
- 研修期間：2017年3/2～12/21【約10ヶ月間】
- 宿泊形態：寮
- 費用概算
- <必要な経費>
- ・渡航費……………25,000円
- ・保険料(個人加入分)……………112,318円
- ・食費……………300,000円
- ・交通費……………100,000円
- ・通信費……………30,000円
- ・その他……………203,000円
- <合計>……………770,318円

休日・余暇の過ごし方

地元の金沢市と姉妹都市の全州に行ったのが一番の思い出。

韓国は日本より遥かに交通の便がよく、交通費も安いので、休日には色々な場所に遊びに行きました。平澤から 1 時間ほどで行けるソウルにも何度も行きましたが、旅行で韓国に行ってもなかなか行くことが難しいソウル以外の場所にもたくさん行きました。夏休みに広州の美術館に行ったのがきっかけで 2 学期には、地方の美術館にもたくさん行きました。美術館に行くという目的がなければ、なかなか行くこともなかっただろうと思う地方に行けたし、韓国の伝統工芸や現代美術をたくさん見れたのははすごくよかったです。チューターのような制度の一環として、様々な場所に遊びに行きました。その中で一番印象に残っているのは全州にみんなで行ったことです。平澤から全州までバスに乗って、3 時間ほどで行けるのですが、全州は私の地元の石川県にある金沢市と姉妹都市なのもあり、伝統的な建物がたくさんありました。全州はすごく気に入ったので、2 度行ったのですが、2 回とも観光客にあふれていて人気の観光地だと分かりました。そこで、韓国の伝統的な建物をしたり、韓服を着て写真を撮ったりして楽しかったです。



思い出スナップ



清州で 2 年に 1 回開かれる
▼工芸の展示会場の前



▲キリスト教のイベントで

得たもの・学んだもの

一番成長した部分は積極的に became になったこと。

私はこの留学で、10 か月間行くからには、異文化理解や海外で生活したなどというふわっとしたものではなく韓国語で何か結果を残したいと強く思っていました。その為、韓国に行ったばかりの頃は、韓国語が聴き取れなかつたり思うように話せなかつたりした時は、一人でイライラしたり落ち込んだりしたのですが、慣れてきて焦りがなくなってからのほうが、冷静になったのか、韓国語の伸びが早くなったように感じました。韓国語能力試験で 6 級を取れるくらいになってからは、韓国語をもっと話すために、自然に積極的にになり、授業でも一番発言するようになっていて、いい意味で日本人の型から外れたのが自分の一番の成長した部分だと思います。普通の授業でも、先生にいい意味で史歩は私が見た日本人とは違ふとよく言われていました。そして何より韓国の滞在中に、気を使って誰も聞いてこなかった日韓の問題について韓国人のルームメイトと一晩寝ることも忘れて話したことは、日韓問題に関するはっきりとした自分の見解を持つきっかけとなりました。



▲友達のお母さんが作って下さったおいしいご飯

後輩へのアドバイス!

留学は実力を試しに行くつもりがベスト。

私、は、入学するまでは、大学で韓国語を履修しようと考えていたのですが、落選してしまい、中国語を履修することになりました。中国語の授業では先生や友達にも恵まれ、一緒に検定を受けたり、中国語も比較的楽しくやっていたのですが、一年生の頃に参加した夏の語学研修(韓国語)で、やっぱり韓国語を勉強したいと思い、10 か月間の留学を決意しました。留学に行く決めてからの半年間は一日最低 9 時間以上韓国語を勉強して留学し、最上級の TOPIK6 級を取得しました。履修していないからといって興味のある言語の勉強をあきらめてしまわずに勉強を続けてほしいと思います。そして、履修している言語圏に留学するとしても、行く前の準備が不十分だと(私も不十分だったため苦労しました)、思った結果を残すことが出来ません。大学で学ぶものだけでなく先生に質問したりしながら、日本でしっかり準備をしてから行ってほしいと思います。留学してから勉強すればいいのではなく、留学は実力を試しに行くんだというつもりで行くのがベストだと思います。



▲東北学院大学から来た日本人留学生の皆と

もう一言!

貴重なチャンスを無駄にしないよう頑張ってください!

留学のスタイルは人それぞれだとしても、やはり語学習得のために留学する分、留学してから韓国語を勉強したいという考えで、平澤大学に留学してしまうのは、あまり望ましくないと思います。平澤大学に行く日本語学科の人達がすごく良くしてくれるのですが、日本語が上手な人が非常に多く日本人留学生も人数が少なく年々近いめすぐに仲良くなります。そこが平澤大学の良いところでもあるのですが、ほぼ日本語だけを使って生活することが出来る環境でもあります。その為韓国語を話そうと努力しなければ韓国語を話す機会はありません。私も 1 学期は思ったより韓国語を話す機会がなく悩みました。しかし韓国語だけで話す人脈を作ってしまったら、夏休みと 2 学期に 1 日 95% 以上韓国語を話して生活することは可能でした。生活に慣れてきたら、今まで自分は韓国で日本語と韓国語のどちらを多く使ったのか考えてみて、もし日本語のほうが多かったなら環境を改善する必要があるということです。留学したからには、貴重なチャンスを無駄にしないよう頑張ってください!



▲韓国人在生と行った場所

概要

申込み

受講許可後
(事前準備)

研修中及び
研修後の手続き

研修報告書
短期語学研修講座

研修報告書
長期英語研修講座

研修報告書
学生海外語学研修
助成制度(春季・夏季)

研修報告書
派遣留学制度

2019-2020
MATSUYAMA UNIVERSITY



発行日
2019年3月

発行者
松山大学国際センター事務部 国際センター課 松山市文京町4番地2 (〒790-8578)
TEL (089) 925-7111 (代表) (089) 926-7148 (ダイヤルイン)
FAX (089) 926-7151



学部 経済・経営・人文・法・薬 大学院 経済学・経営学・言語コミュニケーション・社会学・医療薬学

〒790-8578 愛媛県松山市文京町4番地2 TEL:089-925-7111 (代)
<https://www.matsuyama-u.ac.jp/>